みんなで挑戦!

Global Challenge

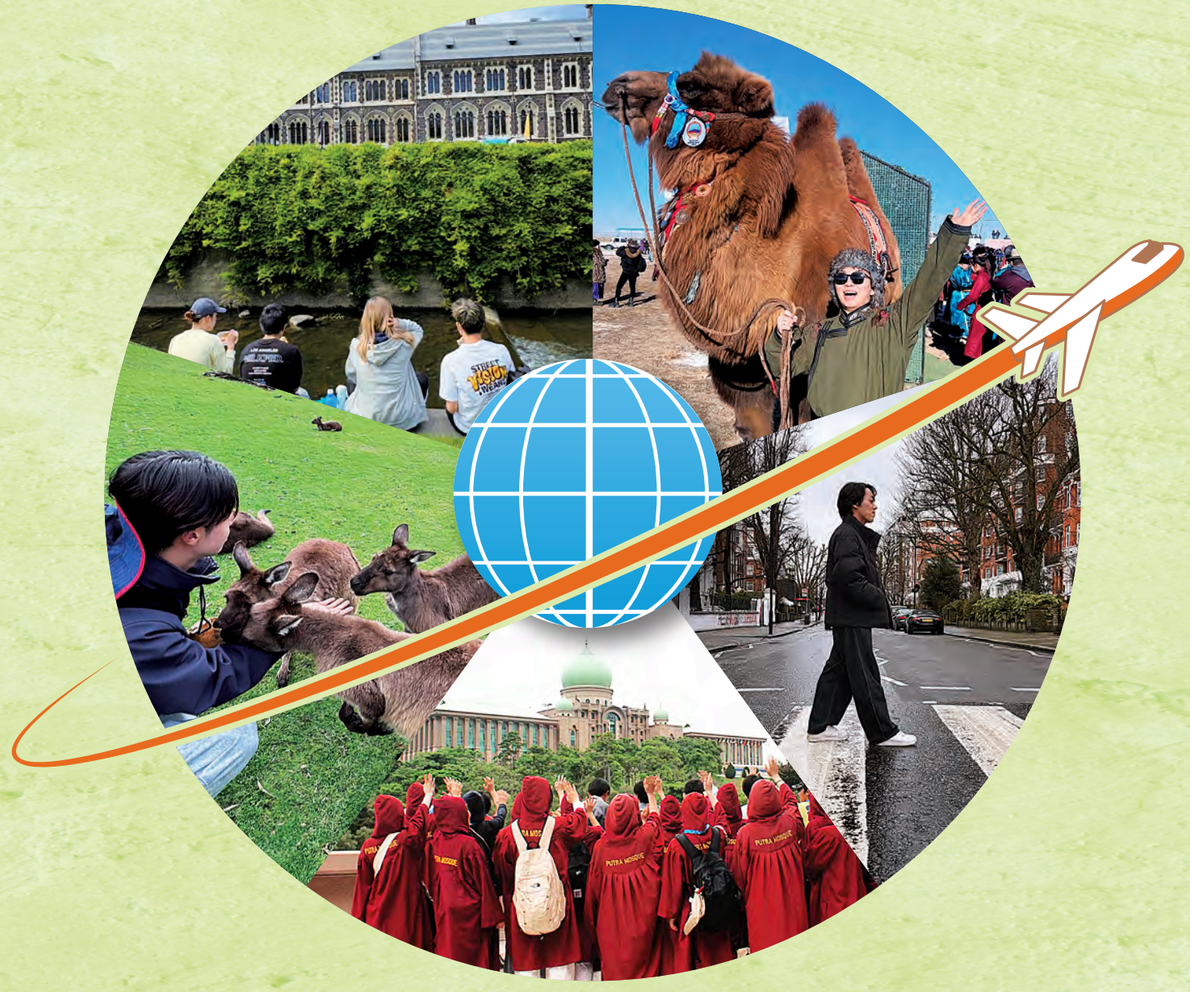
グローバルチャレンジ

Be a World Citizen

国際教育・協力プログラム

2026 募集要項

秋学期出願 Ver.



KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

発　刊: 関西学院大学　国際教育・協力センター
〒662-8501 西宮市上ケ原一番町 1-155
TEL. 0798-54-6115
HP. https://ciec.kwansei.ac.jp

発行日: 2026年9月



Global Challenge
グローバルチャレンジ

変化の激しいグローバル社会で
“Mastery for Service”を体現する世界市民として活躍するために

「国を越え、世界を知る」

グローバルチャレンジとは？

グローバルな競争社会を生き抜くために必要な

「主体性」 「タフネス」 「多様性への理解」 「チャレンジ精神」

を育むため、全学生に対して推奨する制度です。



国内
年間計1550名以上の
外国人留学生を受入

融合
国内で
留学生とともに学びたい

国際ボランティア／
フィールドスタディ
海外のフィールドで
学びたい

留学
海外の
協定大学で学びたい

年間計2000名の
関学生を海外へ派遣
海外

Be a world citizen

関西学院大学では、3つのインターナショナルプログラムを通じて「国を越え、世界を知る」機会を多く提供しています。
海外協定校への留学はもちろん、途上国での国際協力事業への参加、海外の学生とともに参加するインターンシップ、世界中から本学に集う外国人留学生と学ぶ授業など、本学独自のプログラムが充実しています。
グローバル社会で“Mastery for Service”を体現する『世界市民』として活躍するため、今チャレンジしよう。

3つのインターナショナルプログラム

本冊子内では、「グローバルチャレンジ」に該当するプログラムを3つのアイコンで分類し、情報を掲載しています。

目次

目次・注意事項 …… P.2

“キャンパス”でのプログラム
From the World to KGU キャンパスで国際交流 …… P.3
融合科目 …… P.5
CIEC提供科目 履修方法 …… P.6
MSプログラム …… P.7

“海外”への挑戦
To the WORLD from KGU 関学から世界へ …… P.8
留学情報はここで入手しよう! …… P.9
中長期留学チャレンジ奨励金・学内イベント …… P.10
募集説明会・出願・選考スケジュール …… P.11
留学の計画を立てよう! …… P.13
交換留学の計画を立てよう! …… P.15
MSプログラム・修了証プログラム …… P.17
ダブルディグリー留学・3+2プログラム …… P.18

短期留学プログラム
海外異文化体験セミナー …… P.19
春季外国語研修 …… P.20
短期海外インターンシップ …… P.25
グローバルPBL …… P.27
海外フィールドワーク …… P.27
国連セミナー …… P.28
国連・外交フィールドワーク …… P.28
アジア多文化共修セミナー …… P.29
CCC …… P.30

中期留学プログラム
英語中期留学 …… P.32
フランス語中期留学 …… P.39
スペイン語中期留学 …… P.40
中期グローバル・キャリアPBL・中期留学共通注意事項 …… P.41

中長期留学プログラム
交換留学 …… P.43
長期留学・認定留学 …… P.45

国際ボランティアプログラム
国際ボランティア …… P.46

国連・外交プログラム
国連・外交プログラム …… P.50

学部提供プログラム
学部・センター等で実施する留学プログラム …… P.52
所属学部生対象プログラム …… P.55
融合プログラム …… P.56

英語講座/奨学金・奨励金
英語無料講座 …… P.57
奨学金・奨励金 …… P.58

注意事項

- 本冊子に記載の情報は、2026年9月現在のものです。今後状況の変化により、記載内容（渡航日程・参加費など）が大きく変更になることがあります。
- 本冊子に記載されている学生の学年表記は取材時のものです。
- 本冊子の記載内容に訂正がある場合は、下記のウェブサイトにてお知らせします。
- 本冊子にて募集するプログラムについては、留学プログラム実施先国等の状況によっては、中止または、プログラム内容の変更を判断することがあります。
- 特に、米国学生ビザ面接予約が2025年5月下旬から停止される事態が生じました。2026年9月現在も不安定な状況が続いています。米国への留学（短期・中長期）について、出願期間前に状況が十分安定していない場合、募集中止の判断をする可能性があります。出願開始日前日までにkwicでお知らせします。

- 最新の情報は、**国際教育・協力センター（CIEC）**のウェブサイト等から確認してください。

CIEC ウェブサイト

あなたの挑戦を応援!
「グローバルチャレンジ 関学」
で検索

From the World to KGU

キャンパスで国際交流







年間 計1550名以上の外国人留学生が在籍!

世界中から集まる外国人留学生と共に学生生活を過ごす中で、
異なる文化的背景や価値感の相互理解を深め、国際社会の一員として学びあいます。

留学生と共に成長する交流制度

関西学院大学には世界中から様々な背景を持った留学生がそれぞれの目的に沿った期間で在籍しており、1年を通してキャンパス自体が国際交流の場となっています。
留学生と国内学生相互の学生生活が充実したものになるように、KGバディーズ、日本語パートナーやラーニング・アシスタント、日本語ボランティア等の制度を設け、学内での国際交流の機会を提供しています。
一部の活動では一定の条件を満たした方に活動証明書を発行しています。

外国人留学生

卒業を目指し学部・研究科に所属	世界各国の協定校から1学期間～1年間来日	長期休暇を利用し数週間限定のプログラムで来日
正規留学生	交換学生	短期学生

交流制度一覧

募集情報はkwicをチェック

短期型

数日

留学生の来日直後の手続きをサポート

OST（オリエンテーションサポートチーム）

交換学生

オリエンテーションサポートチームの役割は、交換学生の来日直後に発生する諸手続き（主に市役所での手続きなど）をサポートすることです。4～5日の短い活動ですが、留学生サポートを通じて交流もでき、活動後も長く続く友情を築くきっかけになります。

募集・活動カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動					活動期間						活動期間	
募集			募集						募集			

臨時・毎月

留学生が受ける授業で、日本語学習をサポート

日本語授業ボランティア

正規留学生　交換学生

留学生が受講する日本語の授業の中で、留学生の会話の練習相手や発表に対するコメント・質問役となることで、学習効果を高めることが日本語授業ボランティアの役割です。
L.A.（ラーニング・アシスタント）とは違い業務報酬はありませんが、活動は1回の授業で、完結するため、留学生サポートや国際交流に挑戦してみたい方のはじめの一歩に最適です。

募集・活動カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動	活動期間					活動期間						
募集	前月21日ごろ、次月のボランティア募集。											

3週間

短期学生とともに協働学修に取り組む

日本語パートナー

短期学生

世界各国の協定校から来学する短期留学生とともに、プロジェクト型学修に取り組み、留学生の日本語学習を支援します。異文化理解・多文化共生について実践的に学ぶ3週間の密度の濃い活動で、固い友情が育まれることでしょう。

募集・活動カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動				活動期間						活動期間		
募集		募集						募集				

中期型

1学期

留学生が受講する授業の進行サポート

L.A.（ラーニング・アシスタント）

正規留学生　交換学生

日本語教育センターのL.A.（ラーニング・アシスタント）の役割は、留学生対象の授業に参加しディベートやグループ活動などを行い、授業担当者や留学生のサポートをすることです。業務報酬が支払われますが、単なるアルバイト業務ではなく、教育活動の一環として位置づけられています。

募集・活動カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動	活動期間					活動期間						
募集	学期開始約1ヵ月前および学期開始後約3週間ごろに募集											

1学期

留学生と友人になる

KG バディーズ

正規留学生　交換学生

国内学生と留学生が友人（バディ）となり、グループ活動を通して異文化交流を行いながら、留学生の新生活や日本語学習をサポートする制度です。一般学生と同じく卒業を目指して在学する「正規留学生」や、各国の協定校から期間限定で在学する「交換学生」が来日した学期にマッチングを行って活動します。

募集・活動カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動	活動期間						活動期間					
募集				募集					募集			

長期型

最長2年

留学生が住む国際寮で生活サポート

RA（レジデント・アシスタント）

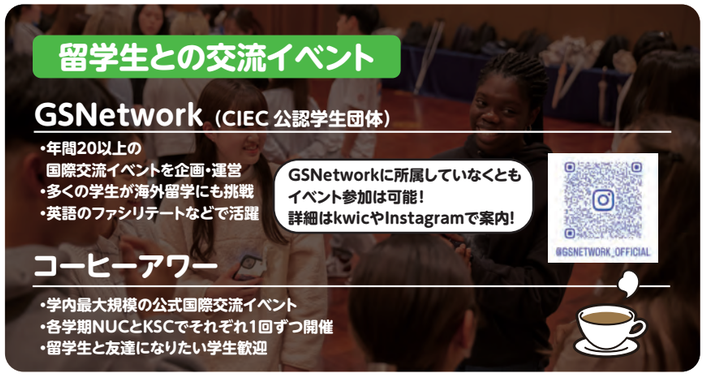
正規留学生　交換学生　短期学生

留学生と国内学生が混住する寮で生活を共にしながら、生活サポートや交流促進を行う学生リーダーです。日本にいながらにして常に多国籍な環境に身を置くことで、語学力はもちろん、高い異文化対応力を身に付けることができます。留学生のサポートがしたい方、留学生とのイベントを企画・運営してみたい方等におすすめです!

募集・活動カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動	活動開始（最長2年）				活動開始（最長2年）							
募集			募集					募集				

RA経験者コメント　日本にいながら海外で生活しているような刺激的な毎日で、様々なカルチャーショックに出会いました。そうした毎日の中で、課題解決する力も身に付きました。留学から帰ってきた方や、留学に行けないけど国際交流したい方におすすめです!





※NUC…西宮上ケ原キャンパス　※KSC…神戸三田キャンパス

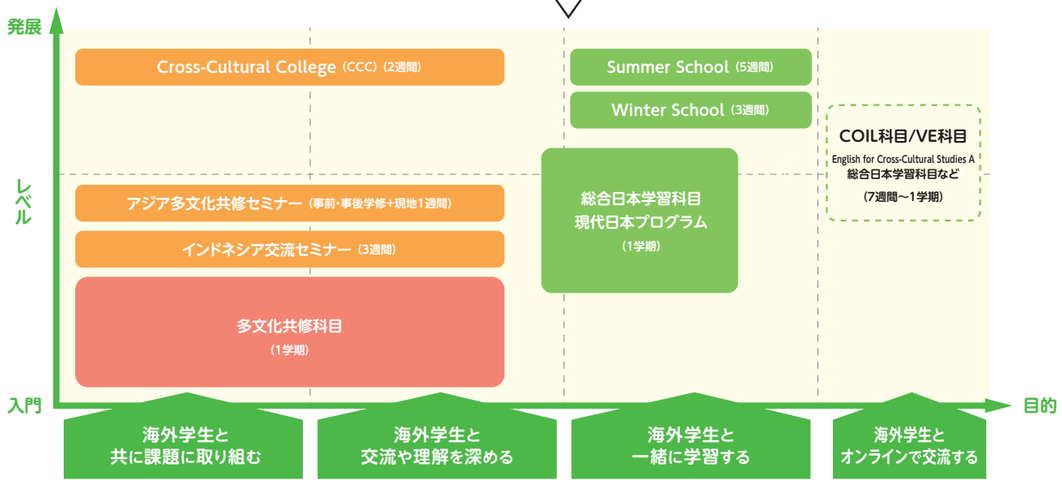
キャンパスが世界になる

留学生と学ぶ融合科目

グローバルチャレンジ 融合

関西学院大学では世界各国から年間1550名以上の留学生を受け入れており、
キャンパス内にいながら海外の学生と共に学ぶことができる「融合科目」を多数開講しています。

留学生と、日本を英語で学ぶ **総合日本学習科目**	交換学生 1学期の間ともに学ぶ **現代日本プログラム** 短期学生 夏休み・春休みの集中講義科目 **Summer School / Winter School**
留学生と、文化を超えて学ぶ **多文化共修科目**	交換学生 正規留学生 1学期の間ともに学ぶ **様々なテーマで毎学期開講** インドネシア交流セミナー 詳細は「募集要項 春学期出願Ver.」で! Cross-Cultural College 詳細はP.30 アジア多文化共修セミナー 詳細はP.29
留学生と、社会に挑む **協働プログラム**	融合科目リストはこちら



※上記の他、学部開講の融合科目もあります。

Pick Up

●多文化共修科目

A.申込のみ

留学生と一緒に、文化や考え方の違いを知りながら、話して、聞いて、協力する授業です。専門知識や高い語学力は不要。はじめてでも安心して参加できる学びです。

3分でわかる!
授業紹介動画

先輩インタビュー



Profile

Australia / Murdoch University WAGER Andrew Malcolm
オーストラリア / マードック大学
ウェージャー・アンドリュー・マルコムさん

● 多文化共修科目を受講して良かったことは何ですか?

日本の学生と留学生が共に学ぶ共修授業は、日本の文化や歴史・言語について深く学ぶことができました。特に私は日本映画に興味があり、テーマが映画だった授業回は力が入りました。履修者全員と共に学び、グループ活動やディスカッションを多く行うことによって、日本語力アップの実地体験が多くでき、物事を多角的に見るスキルを習得できたので、非常に良かったです。履修者の多くは日本の女子学生だったため、日本と海外の「恋バナ」の違いについてディスカッションをした回は盛り上がりましたし、楽しい思い出です。

● 関西学院大学での経験は、今後の進路選択にどのような影響を与えそうですか?

日本語力の向上や異文化理解の深まりは、将来国際的な環境で働くうえで大きなアドバンテージになると思っています。また共修授業を通して自分のモノにした「多様な意見に耳を傾け、相手を尊重する」力は、今後の学業や将来就く職場でのチームワークにおいて活かしたいと思います。
グローバルチャレンジすることは、人生を変える素晴らしい機会です。一歩踏み出す勇気を持ち、自分自身の成長を楽しんでください!挑戦する価値は間違いなくあります。

●総合日本学習科目

B.申込+スコア

すべて英語開講で、受講には、英語のスコアの提出と事前申請が必要です。文化・ビジネス・社会・国際関係・言語などのテーマに沿って日本のことを英語で学ぶことができます。
これから中長期の留学を考えている方、留学で培った英語力を維持したい方におすすめです。
（テーマ例：食文化、映画、ポップカルチャー、心理、ビジネス、法制度 etc）

授業を通してステップアップ!

国際教育・協力センター（CIEC）・日本語教育センターでは、グローバル化の進む社会で求められる異文化の相互理解を深めるための科目や、留学生たちとともに多文化環境下において学ぶことができる科目を幅広く開講しています。

1. 提供科目一覧

▼科目一覧はCIECのウェブサイトで確認してください
https://ciec.kwansei.ac.jp/page/cieccourselist.html

履修案内や履修者の声はこちら

2. 履修方法

▼CIEC提供科目には、履修方法別で以下3種類があります。

スコア提出はウェブサイトから!

A. 申込のみ　事前申込のみの科目

B. 申込+スコア　英語スコアの提出+事前申込が必要な科目

TOEIC®	TOEFL ITP®	TOEFL iBT®	IELTS	英検
680点	530点	71点	5.5	準1級

C. 履修登録　履修登録期間に登録できる科目

※科目ごとの履修方法は、左記ウェブサイトで入手できる科目一覧の「履修方法」列を確認してください。

Pick Up

英語スコア対策科目 A.申込のみ

交換留学や中期留学等、1セメスター以上の留学に挑戦する際には一定水準以上の所定のスコアが求められます。
中長期留学を目指す方におすすめの、留学に必要な英語スコア取得を目標とした新設科目です。

●留学のためのIELTS

First Step ： IELTS5.0以下、未受験者の方がIELTS5.0を目指すための科目です。
Regular ： IELTS5.0以上の方が、IELTS5.5～6.0を目指すための科目です。
Advanced ： IELTS5.5以上の方が、IELTS6.0～6.5を目指すための科目です。（春学期のみ開講）

●中期留学のためのTOEIC® L&R

TOEIC® L&R500点以下、未受験者の方が、TOEIC® L&R500点以上を目指すための科目です。

海外大学からの教員による特別科目【英語開講】

本学では毎年、海外の大学から教員を招へいし、現地の文化や社会を多角的に学べる特別授業を開講しています。
秋学期にはカナダおよびインドから招へいした教員がそれぞれの専門分野を活かした科目を提供します。
異なる文化や価値観にふれながら、国際的な視野を広げたい学生におすすめの科目です。

●Jennifer Hosek先生 A.申込のみ
・Topics in Canadian Studies C（短編映画と文学から学ぶカナダ文化）
・Topics in Canadian Studies D（映画とドキュメンタリーから学ぶカナダのビジネスと社会）

●Debendra Sahu先生 B.申込+スコア
・総合日本学習科目（国際政治における日本）
・総合日本学習科目（日本とインドの関係）


ホセック・ジェニファ 先生
（クイーンズ大学教授）


サフ・デベンドラ 先生
（O.P.ジンダル・グローバル大学准教授）

日本社会における多文化共生 / 言語マイノリティについて学ぶ科目

2025年度入学生より対象の日本語教育センター提供 複数分野専攻制プログラム（MS）「ことばの教育と多文化共生」の対象科目です。

●日本社会と言語マイノリティ A.申込のみ
国際化が進む日本において「多様性が尊重される社会」を実現するために、ことばや文化の差異がもたらす豊かさと課題について学びます。

●日本語教育基礎／日本語教育基礎演習 A.申込のみ
「外国語としてみた日本語とはどのようなものか」、「日本語を教えるとはどういうことか」という視点から日本語や日本語によるコミュニケーションについて考える科目です。
日本語教育の基礎的な知識を得るとともに、多文化共生社会における自己のあり方について考えることができます。

さらにステップアップ 複数分野専攻制 MS

複数分野専攻制…MS(Multidisciplinary Studies)所属学部以外の学部やセンター等から提供されたプログラムのもと学部の枠を越えた学問領域を学ぶことによって、幅広い知見と深い専門性を養う制度

グローバルチャレンジ 融合

日本語教育センター提供
「ことばの教育と多文化共生」
副専攻プログラム



少子化が進むいま、日本では外国にルーツをもつ人とともに働き、暮らす場面がどんどん増えています。
しかし、単に「受け入れる」だけでは本当の共生とは言えません。
互いに理解し合い、安心して暮らせる社会をどうつくるか―その答えを、ことばや文化の学びから考えるのがこのプログラムです。
このプログラムでは、日本社会における多様性や言語マイノリティをめぐる課題を出発点に、それを支える「ことば」や「ことばの教育」のあり方を、多角的に学び、講義による知識の習得や留学生との協働学修を通して、異なる背景をもつ人々と共に考える力を育てます。
留学先や学内での留学生との交流に限らず、日常から社会に出た後まで、多様な人々と関わるあらゆる場面で活かせる視点と力を身につけることを目指します。前ページの科目をより体系的に学ぶため、ぜひ挑戦してください。

プログラムのポイント

- 修了者には卒業時に関学公式の修了証を授与!
- 留学生と一緒に学ぶ授業で、リアルな多文化体験ができる!
- 日本語教育や外国人支援など、社会に役立つテーマを学べる!
- 自分の専門+国際的な視点を身につけられる!



こんな方におすすめ

- ☑ 国際交流や異文化理解に関心がある。
- ☑ 将来、教育・国際協力・地域共生などに関わりたい。
- ☑ 人と関わるのが好きで、社会をより良くしたい。

MSの詳細はこちら!
(kwic学生キャビネット)

- 複数分野専攻制(MS)の募集要項・複数分野専攻願などはこちらから確認してください。



プログラム提供科目(コア科目)と修了要件

授業紹介動画

- 必修(2単位)
  「日本社会と言語マイノリティ」
- 選択必修①(いずれか2単位)
  「日本語教育基礎」
  「多文化共修科目(言語マイノリティ支援入門)」
- 選択必修②(対象科目のうち12単位)

上記必修および選択必修科目(16単位) ＋ 各学部・センターが開講の対象科目(16単位)

合計32単位で修了

※MSコース履修者はプログラムコア科目を優先的に受講可能

申込について

履修申込は**学部1学年次秋学期**と**学部2学年次春学期**の2回のみ。
学部2学年次秋学期以降は申込できません。

- 対象者　：学部1・2年生
- 提出書類：複数分野専攻願
  (所定用紙をkwicからダウンロードの上、所定Formで送信)

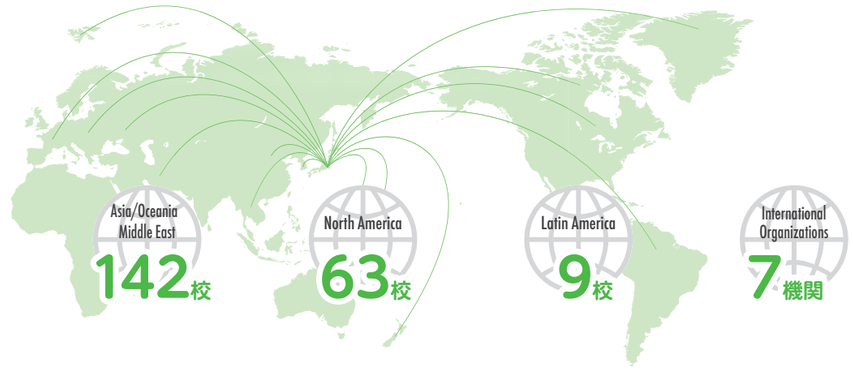
申込時期	第1期 (学部1年次11月)	第2期 (学部2年次5月)
許可者発表	例年1月	例年7月
プログラム開始	学部2年次春学期	学部2年次秋学期
定員	15名	
申込方法	オンライン ※kwic学生キャビネット参照	
選考形態	書類選考(「複数分野専攻願」、成績) ※英語能力を証明する書類は不要	

※募集説明会を各学期に実施します。日程等はkwicのお知らせを確認ください。

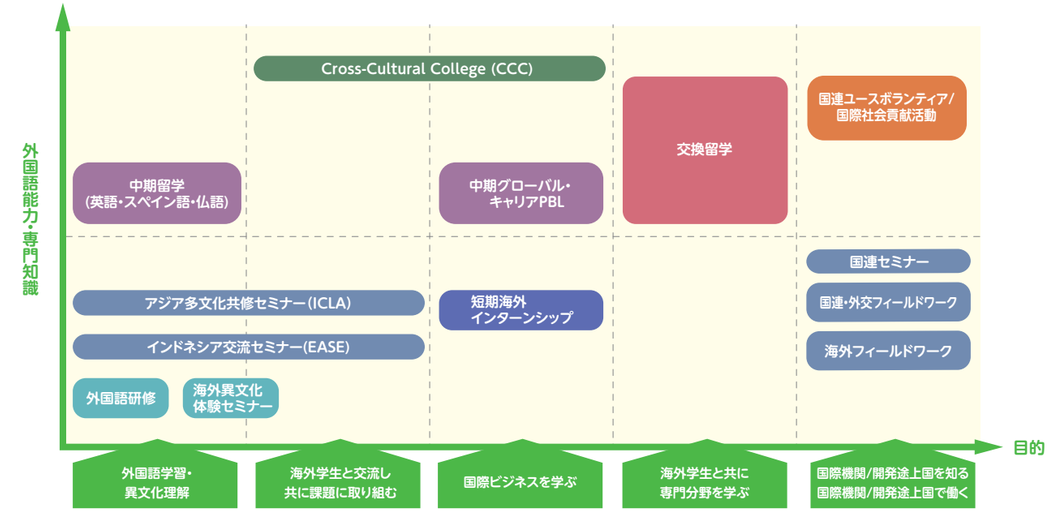
To the WORLD 関学から世界へ from KGU

60ヵ国・地域 320を超える大学・国際機関

関西学院大学の協定大学はどの大学も一定の基準を満たしている質の高い大学です。
世界大学ランキングでベスト100位以内にランクインしている大学や、リベラルアーツカレッジの分野で評価の高い大学等、
様々な大学と協定を締結しています。



関学だから、必ず見つかる
～多彩なCIEC主催プログラム～



留学情報はここで入手しよう!

1 国際教育・協力センター(CIEC)

国際教育・協力センター(CIEC:Center for International Education and Cooperation)では、さまざまな国際教育プログラムを提供しています。CIECの主な役割は、①留学・国際プログラムに関する情報提供、②留学のサポート、③外国人留学生や交換学生のサポートです。CIECは、関学生のみなさんが「世界市民」としてグローバル社会で活躍することを願っています。CIECが提供する多種多様なプログラムを活用し、世界市民としての一歩を踏み出してください!

CIECはどこにあるの?

●西宮上ケ原キャンパス
NUC G号館1階
●開室時間:月～金曜日　8:50～11:30
12:30～16:50

●神戸三田キャンパス
KSC Ⅷ(8)号館1階事務室
●開室時間:月～金曜日　8:50～11:30
12:30～16:50

※ただし、祝日・休校日を除く。夏季休暇中は、学部事務室開室時間と同じ。



情報収集

ウェブサイト

募集要項+αの情報が充実!
募集要項には載っていない留学プログラムの詳細を掲載しています。
留学プログラムに参加するにあたり、本要項と併せて必ずご確認ください。

URL:https://ciec.kwansei.ac.jp

CIECのウェブサイトでは、様々な情報が確認できます!
- 留学のモデルケース
- 留学×教職
- 留学×就職
- 海外渡航・留学中の危機管理
- 学内施設の利用
- 提供科目
- 留学に関するFAQ

kwic 学生キャビネット

学生キャビネット>国際教育・協力センター(CIEC):海外への留学
各種留学プログラムの詳細情報を掲載しています。
留学プログラムに参加するにあたり、本要項と併せて必ずご確認ください。

関学生の留学風景や留学のお得情報を配信中!
Instagram (@kwansei_ciec)
LINE 友だち追加

各留学プログラムのガイダンス動画を公開中!
YouTube

2 留学の窓口(個別相談)

本学では、留学に関する個別相談ができる場(留学の窓口)を設けています。留学の窓口では、本学の留学アドバイザーが、様々なプログラムの紹介、プログラム別の出願条件、情報収集の仕方や、必要な事前準備など、留学に関するご相談に個別に対応します。皆さんの不安を解消し、一緒に留学計画を考える場が留学の窓口です。お気軽にご相談ください。



皆さんが過ごしている大学生活の中に「留学」というキーワードはありますか?
留学は語学の習得や異文化理解を深めることはもちろん、そこで培った経験や出会いがその後の将来の可能性を大きく広げてくれます。ですが、留学したいと思っていても、不安が先行してなかなかその一歩が踏み出せない方もいると思います。少しでも「留学」に興味があるという方は、お気軽にご相談にお越し下さい。皆さんが安心して有意義な留学を実現できるよう応援します。

留学アドバイザー 常次智子

こんな方におすすめ
- ☑ 留学に興味はあるけれど、何から始めて良いかわからない。
- ☑ 留学に向けてどんな準備をしたらいいんだろう。
- ☑ プログラムが多すぎてどうやって選べば良いか分からない。

「留学の窓口」
予約はこちらから
- ●面談可能時間:約30分
- ●面談場所:NUC G号館内面談室/オンライン
(予約された方に個別案内します。)
- ●予約方法:CIECのウェブサイトの相談窓口カレンダーから相談予約可能時間を選び、メールで予約してください。
1～2日以内に予約完了メールをお送りします。

中長期留学チャレンジ奨励金



中長期留学への参加を奨励することを目的に設置する支給型の奨励金です。
以下対象プログラムの参加者全員が給付対象となります。P.58奨学金・奨励金も併せてご参照ください。
※学業成績・語学力などの選考はありません。
※参加決定後、所定の手続きを行うことで奨励金を支給します。
※本奨励金は、学内留学奨学金との併給が可能です(外部奨学金との併給については、当該奨学金規定による)。
※複数の中長期留学プログラムに参加する場合、各プログラムごとに本奨励金を受給することができます。

プログラム	中長期留学チャレンジ奨励金	
交換留学・認定留学(1年)	アジア	10万円
	アジア以外	20万円
交換留学・認定留学(1学期)	アジア	5万円
	アジア以外	10万円

プログラム	中長期留学チャレンジ奨励金
長期留学(1年)	25万円
長期留学(1学期)	12.5万円
中期留学・中期グローバル・キャリアPBL	10万円
国際社会貢献活動	5万円
ダブルディグリー留学	15万円

※アジアとは、外務省が定めるアジアに属する国・地域をいう。

学内イベント

これら以外にも、CIECではさまざまなイベントを随時企画しています。
イベント内容についてはCIECのウェブサイト、kwic、各SNS(Instagram、LINE)などで案内しますので、積極的に参加してください!

PICK UP!!

少しでも留学に興味のある方は是非参加してください!

予約不要・入退場自由

留学フェアに参加しよう!

留学から帰国したばかりの留学経験者や、CIECのプログラム担当者と対面で相談ができ、留学についてより詳しく情報を得られるチャンスです! 春学期と秋学期にそれぞれ1回実施します。留学プログラムに迷っている方、留学と就職活動で迷っている方、授業などの関係で長期留学が難しい方、留学にあまり関心が無い方…そんな皆さんにこそ役立つ情報が盛りだくさん!今すぐ出願したくなる「留学」を見つけませんか?
留学に迷っている方、留学をためらっている方必見! 全学年対象! 保証人のご参加も大歓迎です!

出会おう、まだ見ぬ世界! まだ見ぬ自分!

メインイベント
◆ 日 時:　9月26日(土) 10時～16時30分(予定)
◆ 場 所:　西宮上ケ原キャンパス
G号館1・2階(詳細はウェブサイトをチェック)
～交換留学生と交流する機会もあります～

個別相談
◆ 日 時:　9月29日(火) 16時～18時(予定)
◆ 場 所:　西宮上ケ原キャンパス
G号館2階(フジタ・グローバルラウンジ)
◆ 日 時:　9月29日(火) 16時～18時(予定)
◆ 場 所:　神戸三田キャンパス
(アカデミックコモンズ1階 シアター)





募集説明会・出願・選考スケジュール

1 募集説明会の教室・Zoomリンク　**2** 関学生限定YouTubeチャンネル

NUC 西宮上ケ原キャンパス　KSC 神戸三田キャンパス　※ はオンラインにて実施

短期プログラム

春季外国語研修（P.20〜24）

出願期間 9月30日（水）〜10月13日（火）　選考 選考なし（申込多数の場合は抽選）　参加者発表 10月16日（金）

9月下旬、関学生限定YouTubeチャンネルにて以下の動画を公開!
◆外国語研修ガイダンス:概要・プログラム選択のポイントについて　◆プログラム別説明（全12大学）

海外異文化体験セミナー（台湾・ハワイ）（P.19）

台湾 ハワイ　出願期間 10月7日（水）〜10月13日（火）　選考 選考なし（申込多数の場合は抽選）　参加者発表 10月15日（木）

日時		内容
9月30日（水）	12:50〜13:20（昼休み）	台湾
10月1日（木）		ハワイ
KSC 10月6日（火）	12:50〜13:20（昼休み）	台湾

※KSCの説明会のみ対面で実施します。教室は上記QRコードから確認してください。

短期海外インターンシップ（アメリカ・オーストラリア・ベトナム・マレーシア）（P.25〜26）

出願期間 10月7日（水）〜10月18日（日）　選考 書類選考　参加者発表 10月20日（火）

日程	時間	内容
KSC 10月5日（月）	12:35〜13:25（昼休み）	プログラム説明（アメリカ・オーストラリア・ベトナム・マレーシア）
NUC 10月6日（火）		プログラム説明（アメリカ）
NUC 10月7日（水）		プログラム説明（オーストラリア・ベトナム）
NUC 10月8日（木）		プログラム説明（オーストラリア・マレーシア）

※対面で実施します。教室は上記QRコードから確認してください。

海外フィールドワーク（マレーシア）（P.27）

出願期間 オンライン入力期間: 10月2日（金）〜10月8日（木）23:59 / 書類提出: 10月2日（金）〜10月13日（火）14:00　選考 書類選考結果発表10月16日（金） 面接選考10月17日（土）　参加者発表 10月22日（木）

	日時	
NUC	10月1日（木）	12:40〜13:25（昼休み）
KSC	10月2日（金）	12:40〜13:25（昼休み）

※対面で実施します。教室は上記QRコードから確認してください。

国連・外交フィールドワーク（ネパール）（P.28）

出願期間 9月7日（月）〜10月1日（木）10:00　選考 書類選考　参加者発表 10月6日（火）

日時	
9月17日（木）	13:00〜14:00

※全てオンライン（Zoom）で実施

アジア多文化共修セミナー（ICLA）（P.29）

出願期間 10月1日（木）〜10月7日（水）　選考 書類選考結果発表10月9日（金） 面接選考10月14日（水）、15日（木）　参加者発表 10月16日（金）

日時	
10月1日（木）	12:40〜13:25（昼休み）

※全てオンライン（Zoom）で実施

Cross-Cultural College（CCC） / Global Career Seminar in Canada（GCSC）・Field Study in Canadian Business（FSCB）（P.30〜31）

GCSC FSCB　出願期間 9月29日（火）〜10月5日（月）　面接選考 10月10日（土）　参加者発表 10月13日（火）

Global Career Seminar in Canada（GCSC）・Field Study in Canadian Business（FSCB）

日時	
9月24日（木）	12:50〜13:20（昼休み）

※全てオンライン（Zoom）で実施

中長期プログラム

中期留学（P.32〜42）

春学期募集　出願期間 10月15日（木）〜11月3日（火）　選考 書類選考の上、申込多数の場合は抽選　参加者発表 11月6日（金）

秋学期募集　出願期間 12月15日（火）〜2027年1月12日（火）　選考 書類選考の上、申込多数の場合は抽選　参加者発表 1月15日（金）

中期留学について知る

◆中期留学ガイダンス:　9月下旬頃 掲載予定
中期留学概要・出願方法・注意事項等説明（出願予定者は視聴必須）
※英語中期留学においては、出願までに必要な英語スコアを取得すること。
◆行先別説明会:各大学プログラムの詳細を説明　10月1日（木）頃 掲載予定

右記QRコードより視聴（kwic→関学生限定YouTubeチャンネル）

◆帰国報告会:帰国したばかりの先輩学生が、留学先のリアルを発表。渡航先選びの参考にしよう!

【春学期帰国報告会（2026年度参加者）】
オンライン実施　12:40〜13:20（昼休み） zoomにて実施予定　詳細はkwicに掲載予定

日程	国	大学
10月7日（水）	カナダ	トロント大学・ゲルフ大学
10月8日（木）	カナダ	クイーンズ大学・マウントアリソン大学
10月9日（金）	オーストラリア	クイーンズランド大学

【秋学期帰国報告会（2026年度参加者）】
オンライン実施　17:00〜18:00 zoomにて実施予定　詳細はkwicに掲載予定

日程	国	大学
12月17日（木）	カナダ	クイーンズ大学・マウントアリソン大学
12月18日（金）	オーストラリア・ニュージーランド	クイーンズランド大学・ワイカト大学
1月 7日（木）	カナダ	トロント大学・ゲルフ大学
1月 8日（金）	イギリス・アメリカ	レスター大学・ハワイ大学（4ヵ月）
1月12日（火）	フランス・スペイン	リヨン第2大学・アリカンテ大学
3月18日（木）	イギリス・アメリカ	オックスフォード大学・ハワイ大学マノア校（7ヵ月）

右記QRコードより視聴（kwic→学生キャビネット）

中期グローバル・キャリアPBL（P.41）

出願期間 12月1日（火）〜12月15日（火）　選考 書類選考の上、申込多数の場合は抽選 ※出願までに必要な英語スコアを取得すること。　参加者発表 12月21日（月）

◆概要について知る 中期グローバル・キャリアPBLの概要・プログラム選択のポイントについては関学生限定のCIEC YouTubeチャンネルにて公開中です。
◆中期グローバル・キャリアPBLガイダンス　11月4日（水）頃 掲載予定
◆中期グローバル・キャリアPBL募集説明会　11月11日（水）頃 掲載予定

右記QRコードより視聴（kwic→関学生限定YouTubeチャンネル →中期グローバル・キャリアPBL）

交換留学（P.43〜44）

出願期間 オンライン入力期間: 10月16日（金）〜10月22日（木） / 書類提出: 10月20日（火）〜10月22日（木）　選考 学業成績、面接、外国語運用能力試験スコアにより選考　推薦者発表 12月15日（火）

募集説明会		出願手続き説明会	大学選択のための情報収集セミナー	オンライン入力期間	出願	選考	推薦者発表	追加募集	推薦者説明会 ※参加必須
第2期募集	NUC KSC 7月2日（木） 7月10日（金） 9月29日（火） 12:45〜13:20（昼休み）	10月1日（木） 10月5日（月） 12:45〜13:20（昼休み）	9月30日（水） 10月2日（金） 12:45〜13:20（昼休み）	10月16日（金）〜10月22日（木）	10月20日（火）〜10月22日（木）	<CIEC> 面接試験（適正審査）:11月7日（土） ※予備日 :11月8日（日） ◆英語以外の言語受験者 外国語筆記試験:11月7日（土） ※予備日 :11月8日（日） 外国語面接試験:11月7日（土）〜11月13日（金） <学部推薦> 11月中 ※選考内容は各学部により異なります	12月15日（火）	推薦者発表後に、追加募集を予定しています。追加募集は、第1次募集に出願し、面接選考に進んだものの、推薦者とならなかった方が対象です。	NUC 1月27日（水）

※場所等の詳細はkwic、インスタグラムでお知らせします。

長期留学（学部科目履修型）（P.45）

出願期間 オンライン入力期間: 2026年12月22日（火）〜2027年1月7日（木） / 書類提出: 2027年1月6日（水）〜1月7日（木）　選考 学部で審査　参加者発表 2月17日（水）

	日時	
第2期募集	10月7日（水）、12月17日（木）	12:45〜13:20（昼休み）

※認定留学の募集説明会は実施していません。
詳しくは国際教育・協力センター（CIEC）までお問い合わせください。
※オンラインにて実施予定

国際ボランティア（P.46〜49）

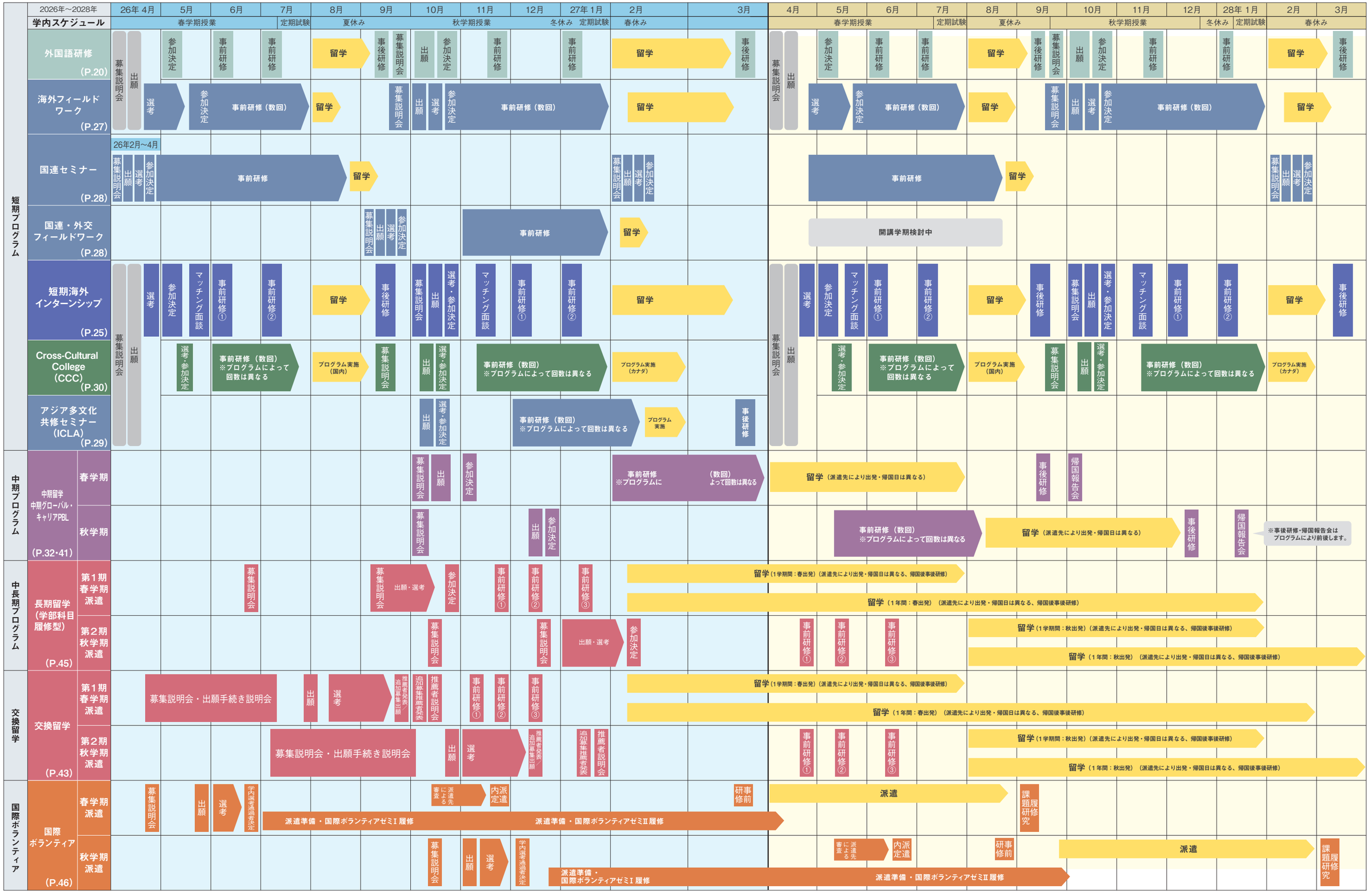
出願期間 オンライン入力期間: 11月2日（月）〜11月12日（木）23:59 / 書類提出: 11月2日（月）〜11月16日（月）16:00　選考 書類選考結果発表11月20日（金） 面接選考11月28日（土）　参加者発表 12月3日（木）

	日時	
NUC	10月19日（月）	12:40〜13:25（昼休み）
KSC	10月20日（火）	12:40〜13:25（昼休み）

※対面で実施します。教室は上記QRコードから確認してください。

留学の計画を立てよう！ ～ロードマップ～

国際教育・協力センター（CIEC）提供プログラムのほとんどが、留学に行く約4ヵ月～1年前から出願が始まります。
4年間の大学生活をどう過ごすかしっかり計画を立てて、早めに留学の準備に取り掛かりましょう!



記載内容は、2026年9月現在のものです。最新の情報は、国際教育・協力センター（CIEC）のウェブサイト等から確認してください。

※交換留学の計画はP.15～16ページも併せて確認してください。

交換留学の計画を立てよう!

2年生春学期出発（1～4月）または2年生秋学期出発（7月～10月）のケース

※出願スケジュールは学年を問わず同じです。出願に関する注意は43ページを参照。

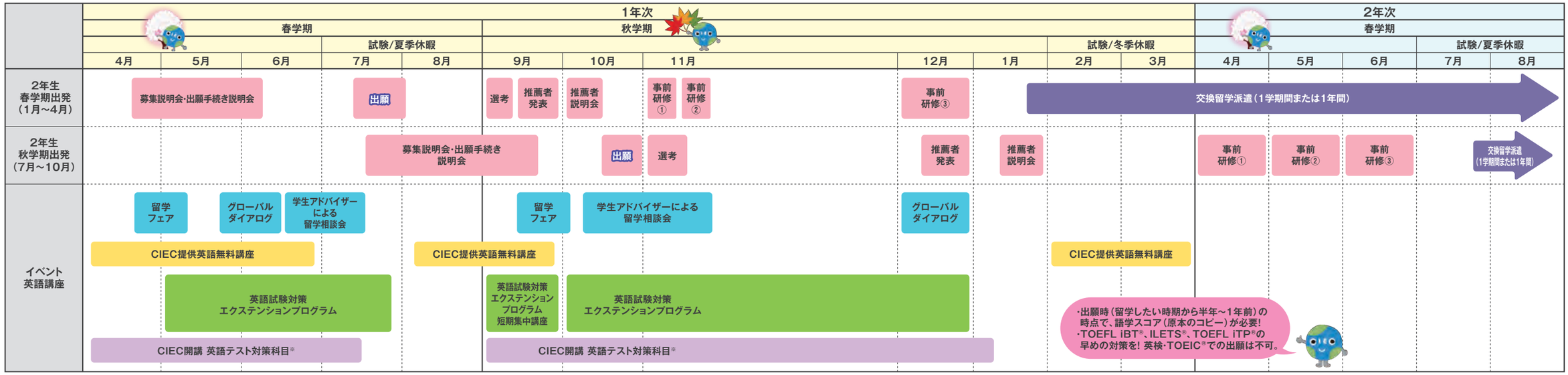
「交換留学準備コミュニティ」に参加しよう!

Slackのチャンネルにて、当コミュニティに入っていただくと･･･
- 定期的に交換留学に役立つ情報が配信される!
- 他の交換留学を目指す方と情報共有をすることができる!

※必要要件の1つです。

関心がある方は、Slackで「交換留学準備コミュニティ」を検索し、下記チャンネルに入ってみてください。

#grp-交換留学準備コミュニティ-玄関



※英語テスト対策科目は2026年4月以降新設予定の学部生対象の全学科目です。

■英語講座GUIDE

学内の各種講座・授業が一目で分かる英語講座リーフレットをCIEC事務室に設置しています。ウェブ版はkwicキャビネットから入手出来ます。学内で実施される英語能力試験についても確認ができます。

■関学の協定校

- 約60ヵ国/地域に320校以上（内約45ヵ国/地域の約200校が交換協定）の協定校があります。
- これらは関学独自の基準を満たしている質の高い協定大学です。
- 協定校はCIECウェブサイトから確認ができます。

●どうやって情報収集するの?

約200校もある大学の中から留学先を決めるのは大変です。
積極的に情報収集をして自分に合った留学先を見つけてください。

手段	内容	情報収集方法
Fact Sheet	留学期間、現地で履修可能な科目、宿舎についてなど、交換留学に関する重要な情報が書かれています。	LUNAの「全学コミュニティ」から閲覧可能。
定例報告	交換留学経験者による留学報告書です。	
募集人数表	各大学の募集人数や出願要件などが書かれています。	kwicキャビネット→「国際教育協力センター（CIEC）海外への留学」に掲載。
留学アドバイザー	留学に関する悩みを本学の留学アドバイザーに直接相談することができる制度です。	CIECウェブサイトのイベントカレンダーから個別面談可能時間を選びメールで予約。
Slack	Slackのチャンネルにて、定期的に交換出願に役立つ情報が配信されます。	Slackにて「交換留学準備コミュニティ」を検索し公式チャンネルに入ってください。

■ 出願前に確認しよう! 全プログラム共通の注意事項

以下を必ず確認のうえ、出願してください。

※プログラムの期間と重複する集中講義を履修している場合、当該プログラムの出願資格はありませんのでご注意ください。
※本募集要項に記載の内容（プログラム・スケジュール等）は2026年9月時点のものです。プログラム実施大学（機関）や派遣先国の事情等により、今後変更が生じる可能性があります。
※プログラムごとの注意事項等については、各プログラムの詳細ページを確認してください。

● 参加条件

- 各プログラムの事前研修・事後研修に全日参加できること（無断でオリエンテーション・事前研修を欠席した場合、参加が取り消されることがあります）。
- 各プログラムへの参加は、心身ともに健康状態が良好であることが前提です。現在治療中の病気だけでなく、心や身体の健康面で心配なことがあれば、主治医等に留学が可能であることを確認し、指導を受けてください。
- 毎年度大学で実施している定期健康診断を受けること、留学先に応じた予防接種を受けておくことが必要です。
- プログラム実施前には事前研修への出席（対面）や渡航手続き、および自身で留学先大学への出願（交換・長期・認定留学の場合のみ）を進めることが求められます。出願時・プログラム参加前の学期に休学中の場合には、上記が可能な場合に限り出願が可能です。出願前に国際教育・協力センター（CIEC）まで相談してください。ただし、国際ボランティアプログラムについては、出願時の学期および次学期に、事前研修としての科目履修が必須のため、出願からプログラム参加までのすべての期間において、休学中あるいは休学予定の学生は出願することはできません。
- 休学中のプログラム参加は不可です。

● プログラムの中止・参加決定後の辞退

- 参加人数が最少催行人数に満たない場合は、プログラムを中止する可能性があります。
- プログラムは実施先の都合や、国際情勢等により中止されることがあります。また渡航日程・プログラム詳細は変更されることがあります。
- 参加決定後の辞退はできません。
- 参加費を徴収するプログラムについて、やむを得ず辞退する場合は、その理由に関わらず以下の通り参加費用の一部または全額のキャンセル料金が発生します。
  ◎プログラム費用：プログラム実施機関のキャンセルポリシーに基づく。 ◎航空券：航空会社のキャンセルポリシーに基づく。 ◎その他：プログラムに付随して発生する費用は関連する事業者等のキャンセルポリシーに基づく。
- 本要項に記載の渡航日程については、変更が生じる可能性があります。悪天候や機材調整等によるフライトの早発・遅延・欠航等のため、出発日の前倒し、帰国日の遅延が生じることもあります。プログラム前後のスケジュールには余裕をもたせて参加計画を立ててください。

交換留学のためのチェックリスト（できたものに✓を入れましょう）

■イベント参加関連

	留学フェアに参加した
	学生アドバイザーの相談会に参加した
	協定大学の交流会に参加した
	グローバルダイアログに参加した
	留学アドバイザーによる個別留学相談を活用した

■準備関連

	英語資格試験対策講座に申込んだ
	英語力をつけるための授業履修を登録した
	英語/言語資格試験の受験日を確認し、設定した
	英語/言語資格試験に申込んだ
	資格試験を受験し、スコア/資格を受け取った
	ゼミ、教職、就活スケジュールを確認した
	卒業要件を確認した（特に3,4年生）

■情報収集関連

	スラックで交換留学準備コミュニティに入った
	交換留学の定例報告を読んだ
	興味のある協定校のFact Sheetを確認した
	興味のある協定校の大学ウェブサイトを調べた
	興味のある協定校の履修内容を調べた
	興味のある国の学生ビザ情報を調べた
	興味のある国について調べた

■出願関連

	募集説明会に参加した
	出願手続き説明会に参加した
	出願資格と協定校の出願条件を確認した
	出願方法を確認した
	出願に必要な書類を確認した

● 渡航時期・日程

- 留学プログラムに参加するために、補講・試験日に平常評価として実施する試験、定期試験、中間試験及び追試験を受験できない場合は、個別に成績評価を行いますので、了解のもとで出願してください。なお、個別に成績評価を受ける場合には申請が必要です。kwic等で大学から案内される申請方法を確認の上、所定の手続きを行ってください。

● 複数プログラムの併願

- 原則として、同時期に実施する複数プログラムの併願は認められませんが、以下の組み合わせに関しては併願が可能です。
  ◎国連ユースボランティア、国際社会貢献活動 ◎中期留学、中期グローバル・キャリアPBL ◎交換留学、ダブルディグリー留学（対象学部生のみ） ※その他プログラムとの併願については、必ず事前にCIEC事務室まで相談してください。

● 奨学金

- 奨学金が支給されるプログラムに限り、支給方法等の詳細を参加決定後に案内します。
- 奨学金の種類、金額はp.58を参照してください。
- 各学部生対象の奨学金については、在学中に1回のみ受給可能です。国際教育・協力センター（CIEC）が提供する奨学金とは1回の留学において重複受給できません。

● パスポート

- 海外で実施されるすべてのプログラムにおいて、パスポートコピーの提出が必要です。有効なパスポートを所持していない場合には、各都道府県の旅券事務所で交付の申請手続きを行ってください。※自宅生以外で大学近辺で暮らしている場合、現在住んでいる兵庫県で居所申請をすることができます。通常のパスポート申請よりも必要書類が多いため、各自治体のウェブサイトで手続き方法を確認してください。※外国籍学生の場合はビザ取得方法等が異なる為、出願前に相談してください。

● 参加費

- 為替相場や航空運賃の変動などにより、追加徴収または返金をする場合があります。参加費の最終的な精算はプログラム終了後に行います。
- プログラムの参加費には原則ビザやパスポート取得費用、その他個人的な費用は含まれません。

● 単位の取り扱い

- 単位の取り扱いが学部・学年によって異なる場合がありますので、所属学部の履修心得で確認してください。

● 安全と危機管理・健康管理

- 有意義な海外生活を送るためにも、留学出発までに必ず「安全と危機管理・健康管理」に関するCIECウェブサイトを確認してください。

● 出願方法

STEP1
提出書類の準備
※JPEG形式にすること

▼

STEP2
オンライン出願（パソコンのみ）

▼

STEP3
提出書類のアップロード

▼

STEP4
完了

出願期間はプログラムごとに異なります。期日は厳守のため必ず確認して下さい。

PICK-UP
特色のある国際教育プログラム

ガクチカに差がつく!
”留学+α”の修了証プログラム!

～体系的な知識を身につけ、『世界市民』を目指そう!～

修了証プログラムとは?

- **主専攻の学びに“プラスα”を広げられる制度**
  自分の興味や可能性に合わせて、学びの幅をもう一歩先へ広げることができます。
- **学部や分野の枠をこえた履修が可能**
  学びの世界を広げながら、自分だけの強みや興味を伸ばしていけます。
- **積み重ねた学びは修了証として形に残る**
  自分が大学時代に育んだ力を示す、わかりやすい証明になります。
- **興味・関心を深めたい人、将来に活かせる力を身につけたい人に最適**
  大学生活での学びをさらに豊かにし、自分の可能性を広げるきっかけになります。

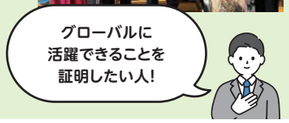
Certificate Program(CP)

Cross-Cultural College(CCC) P.30

企業が抱える課題解決に取り組む実践科目を中心に、多文化共生や国際関係をオールイングリッシュで学び、多国籍な場面で活躍できるグローバル人材を育成する

CPではカナダの学生とビジネス課題に取り組み、実践的な英語力とグローバルに活躍できるスキルを証明できる修了証とオープンバッジを提供しています。グローバルに挑戦するキャリアを輝かせるために、他の学生と差をつける+αの経験がしたい方にお勧めです!





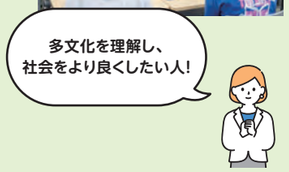
副専攻プログラム(MS)

ことばの教育と多文化共生 P.7

講義や留学生との協働学修などを通じて、異なる背景をもつ人々と共に考える力を育てる

留学生との共修や言語支援などの実践を通して、多様な人と協働する力や、自分の考えをことばで伝える力を育てます。本プログラム修了者には、ことばや文化の違いを踏まえ、多様な人と協働する力を身につけたことを証明できる修了証を提供します。
日本語や日本社会をマイノリティの視点から学び、相手の立場を考えたコミュニケーション力を培ってきたことを、就職活動などでアピールできます。





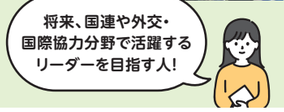
副専攻プログラム(MS)

国連・外交プログラム P.50

国連や国際課題、SDGsに関する科目履修や海外派遣プログラム参加を通じて、グローバル社会で活躍する力を養う

学部を越えた熱い志をもつ学生たちと共に学びたい、国際課題に対してアクションを起こしたい、卒業後の進路をグローバルに切り開きたい方々は、ぜひ本プログラムに出願してみてください。
その先により充実した大学生活と、入学時から何倍も成長した自分が待っています。





超上級者向け

さらなる高みを目指すなら、海外大学で学位取得に挑戦!

ダブルディグリー留学

本学から海外大学に 1年半～2年半留学し、両大学の学位を取得!

関西学院大学に在籍しながら海外の大学に留学し、それぞれの大学で修得した単位の一部を両大学が相互に単位認定することで、両大学の学位を取得できる制度です。現在は社会学部、商学部、国際学部、言語コミュニケーション文化研究科を対象に実施しています。
将来、海外の大学院への進学や、外資系企業・グローバル企業、国際的な機関への就職など、国際社会の第一線で活躍したい方に特におすすめしたい制度です。



学生体験談

綾田 暦　国際学部　オーストラリア / クイーンズランド大学(留学当時 3年)





●なぜ留学しようと思いましたか?
高校2年生の夏休みに2週間、イギリスへ短期留学に行ったのがきっかけです。現地の大学にお邪魔させていただいたのですが、そのイギリスの大学の学生の姿に憧れて、海外大学に通いたいと思うようになりました。しかし、金銭面や英語力の面で高校生の間では準備が足りず、どうしようかと考えていた時にダブルディグリーに出会いました。初めの2年は関学で、卒業まで残りの2年を協定大学で過ごすことで、初めの2年間で留学に向けて準備をする時間がゆっくり取れますし、金銭面も直接海外大学へ進学するより安価です。その上、関学から留学するので留学中も大学にサポートもしてもらえるという安心感もありました。

●留学を実現するまでに、どのような準備をしましたか?
私は一般入試で関学に入学したので、高校生の間は関学入学を見据え、受験勉強に勤しんでいました。大学入学後は日本での大学生活を楽しむ傍ら、3年次からのUQへの入学を見据えて、関学でGPAを高く保つこと、そしてIELTS6.5以上取得のための勉強を日々がんばりました。特に私は20年間日本で生まれ育ったため、根本的な英語力を上げるため、IELTSに向けた勉強に限らず、日常の英会話も練習しました。また、関学では英語開講の授業を積極的に取ったり、UQでの専攻を見据えて授業履修を学部の職員の方と考えたり、言語教育研究センターの英語でのレポートの書き方やプレゼンの仕方を学べる授業を履修したりと、UQで必要となる知識を逆算しながら履修登録を行いました。

●1日もしくはプログラム全体のスケジュールを教えてください。
●7:00 起床　●8:00 支度、お弁当の準備　●9:00 学校到着、予習復習を少し　●10:00 授業　●12:00 友達と食堂で昼ごはん　●13:00 授業　●14:00 授業後、図書館で少し勉強　●16:00 帰宅　●17:00 ブリスベンの川沿いをランニング　●18:00 晩ごはんつくる　●20:00 ゆっくりタイム　●23:00 就寝

●これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージ
「留学する目的がないから留学をしていいのかわからない」と悩む人がたまにいますが、目的はなくていいと私は思っています。留学自体海外の大学で勉強することが立派な目的ですし、日本での大学とアルバイトのリピート生活から一度抜け出して、自分の憧れてた海外で勉強してみる。その「やってみたい」を「やっている」毎日があなたの人生にとってかけがえのない宝物になるはずです。関学は「やってみたい」から実現までの道のりは長いかもしれませんが、あなたの人生を大きく変える出会いや学びがたくさん待っています。関学ではダブルディグリーに限らず、そのような機会をたくさん提供されているので、そのチャンスを見逃さず、ぜひ挑戦してみてほしいです。

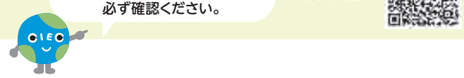
3+2プログラム（早期卒業+海外大学院修士課程特別推薦）

本学を3年で早期卒業し、海外大学院に進学。最短5年で学士号と修士号を取得!

関西学院大学を3年で早期卒業し、海外協定大学大学院の2年間の修士課程に進学することができる特別推薦制度。学部(学士課程)および大学院(修士課程)の在学期間の合計が最短5年で、関西学院大学の学士学位と、海外協定大学大学院の修士学位の取得を目指します。
2026年度から、オーストラリアの名門大学 クイーンズランド大学大学院(Faculty of Business, Economics and Law)とのプログラムについて、経済学部、商学部、人間福祉学部、国際学部にて募集を開始します。



※本学卒業(3月)から協定大学への進学(7月)まで約半年のギャップ・イヤーが発生します。



募集関連スケジュールはP.11〜12「募集説明会・出願・選考スケジュール」をチェック!

1-1

海外で“異文化”を体験する

海外異文化体験セミナー

Intercultural Studies Seminar

グローバルチャレンジ 留学

詳細はWebをチェック!

海外協定校での研修や現地諸施設の訪問・調査などを通して、異文化を理解し、海外での新たな視点や価値観を得ることを目的とした、海外留学初級者向けのプログラムです。英語に自信がない、海外に行ったことがない、留学経験がないという方にお勧めです。
※過去に海外異文化体験セミナーを履修済の方は、再履修することはできません。

募集要項(共通)

参加資格	・学部生(2027年3月卒業見込者は、本プログラムの単位を卒業に必要な要件に含めることはできません) ・海外渡航経験が浅い、または海外初挑戦の方 ・今後、中長期留学プログラムへの参加に関心のある方 ※国際学部生は、本プログラムに参加しても卒業要件を満たすことはできません
外国語要件	なし
選考方法	なし(申込多数の場合は抽選)
科目・単位数	グローバルスタディーズ科目「海外異文化体験セミナー」1単位(認定評価)　※同一名称科目の既履修者は参加不可
事前学習	出発前に1〜2日間実施。派遣先国での学びを深めるため、事前に派遣先国について学習します。
事後学習	帰国後1日間実施。派遣先国での学びをグループごとに発表し、共有します。

台湾 Taiwan

プログラム実施期間 2027 2/14-2/19 出発日 2/14 帰国日 2/20

募集要項

実施場所	台湾 台中市
募集人数	21名
滞在形式	ホテル
参加費(概算)	約27万円
奨学金	短期留学奨学金(3万円)
留学期間	7日間

プログラム

台湾では、国連が掲げる持続可能な開発目標「SDGs」に対応し、独自の取り組みが進められています。本セミナーでは、台湾の協定大学である東海大学を訪問し、日本と台湾の歴史的・文化的つながりを学びながら、フィールドワークも交えつつ、台湾でのSDGsの取り組みについて学びます。日本語を学ぶ現地学生との交流を通して、グローバルな視点と実践力を養います。

初心者でも安心 × 実践で学ぶ台湾SDGs

- **世界評価の高い大学で学ぶ**
  東海大学は台湾トップ8の私立総合大学。SDGsランキング(2025)でゴール11「住み続けられるまちづくりを」で世界33位。
- **日本語で受講・交流可能**
  授業は日本語で実施。日本語専攻の現地学生と安心して交流できる。
- **現地学生と協働でフィールド調査**
  台中市街での調査を現地学生と協働グループで実施。共に考え、学びを深める。
- **引率教員同行で安心**
  現地でも本学の教員がサポートし、初めての海外でも安心。

学生体験談

山下 結大朗
法学部　台湾 / 東海大学(留学当時 2年)

●留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください。
とにかく東海大学の学生さんがフレンドリーで1週間があっという間でした。なかでも印象的だったのは台中でのフィールドワークです。私達の班では、宮原武熊の1日と鈴蘭通りというテーマで台中市中区を回りましたが、異国であるにも関わらず日本とどこか似た雰囲気も感じられ情緒あふれる空気感に魅了されました。東海大学の日本語学科に所属するメンバーが解説をしながら回ってくれたのですが、日本語で詳しく説明してくれたのが、とても印象に残っています。フィールドワーク以外でも、東海大学の班のメンバーが観光名所だけでなく、ローカルなお店や夜市にもたくさん連れていってくださり、学内だけではできないコミュニケーションを密に取ることができました。このプログラムでの一期一会の出会いはこれからの財産です。

●これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージを!!
海外にまだ行ったことがない人は、ぜひ関学で過ごす4年間のうちにチャレンジしてみてください!このプログラムは1週間という短期間なので、なかなか海外に行く勇気が出ないという人でも安心して1歩を踏み出せます!東海大学の学生や先生はとてもフレンドリーで日本語も話せるので言語の壁を感じている人でも安心です。「あのとき行っておけばよかった」と後悔しないように、初海外の方もぜひ気軽にチャレンジしてみてください!



ハワイ Hawaii

プログラム実施期間 2027 3/2-3/8 出発日 3/2 帰国日 3/10

募集要項

実施場所	アメリカ　ハワイ　ホノルル市
募集人数	20名(最少催行人数10名)
滞在形式	ホテル
参加費(概算)	約66万円
奨学金	短期留学奨学金(8万円)
留学期間	9日間
実施機関	(株)JTB

プログラム

ハワイでのボランティアを通じて、「実践英会話・異文化交流・イベントサポート」を体験します。異文化交流の楽しさや難しさを実感しながら、自身の成長や将来を考える機会となります。また、観光では見えにくいハワイ独自の歴史や文化、アロハスピリットにも触れることができます。

簡単な英会話×国際体験で成長するハワイプログラム

- **ボランティアツーリズムを体験**
  ボランティアであっても参加者自身に学びや成長といったメリットがある仕組。「経験を得る・成長につながる・視野が広がる・新たな興味を発見する」など気づきのプログラム。
- **国際イベントにボランティアで参加**
  Honolulu Festival※で運営を体験。多文化交流の最前線に関われる。
- **簡単な英語を使って実践コミュニケーション**
  ハワイ大学マノア校での英語研修でボランティア英語を学べる。
- **添乗員同行で安心**
  出発から帰国までサポートがあり、初めての海外でも安心。
  ※Honolulu Festivalとは、環太平洋地域の国・地域が集い、文化交流・教育・環境保全を目的に開催される国際イベント。

学生体験談

宗光 美奈
法学部　アメリカ / ハワイ大学(留学当時 2年)

●留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください。
私はこの留学生活を通じて、積極的に挑戦することで自分の可能性を広げられると学びました。事前研修で学んだ通り、ハワイには日本人観光客が多く、レストランに日本語のメニューがあることなどから、想像以上に日本との関わりが深いと感じました。また、参加したイベントではハワイに移住されたご夫婦や、現地で働く日本人の方々とお話しすることができ、同じ日本人でも様々な経験を通して海外での暮らしを選択された方がいると知りました。この経験は、自分の生き方や考え方について視野を広げる良い機会になったと感じています。

●留学での経験は、今後の就職・進路選択にどんな影響を与えると思いますか?
この留学は海外経験が無かった私にとって、ボランティア活動だけでなく、買い物やホテルでの生活といった日常的なことも全てが挑戦でした。また、フェスティバルの期間中は嵐による暴風雨で様々な予定変更があり、楽しみにしていたイベントが中止になるという少し悔しい経験もしました。しかし、そのような状況だからこそ学べたことや楽しめたことがあり、沢山の貴重な経験ができたと感じています。この経験から、私は今後予定通りにいかない状況に直面しても、その状況を活かして自ら挑戦し、成長につなげる意識を持って行動したいと考えています。



募集関連スケジュールはP.11〜12「募集説明会・出願・選考スケジュール」をチェック!

1-2

短期間で集中的に外国語を学ぶ

春季外国語研修

Short-term Language Studies Program

グローバルチャレンジ 留学

詳細はWebをチェック!

春休み(2〜3月)を利用して、海外の協定校で英語・スペイン語・朝鮮語などの言語を2〜5週間で集中的に学習する短期の語学研修プログラムです。

こんな人におすすめ!

- 長期休暇を有効に活用して言語を学びたい!
- いきなり半年以上の留学は不安…まずは短期で試したい!
- 海外初挑戦!留学初挑戦!
- 部活や実習があって長期間の留学ができない…
- 交換留学に向けて語学力を伸ばしたい!

■ 参加資格
学部生
※2027年3月卒業見込者は卒業式の日程を確認した上で出願してください。
　卒業式に参加できない場合は予め学部へ連絡してください。
※学部生だけで定員に満たない場合のみ、大学院生の参加も可能です。

■ 外国語要件
なし
※一部、語学要件が設けられているプログラムがあります。

■ 選考方法
選考なし
※申込者多数の場合、抽選を行います。

■ 奨学金
短期留学奨学金(アジア:3万円、アジア以外:8万円)

■ 単位数・単位認定
研修で修了した科目は各自が単位認定手続きをすることにより、2026年秋学期必修科目以外の単位として認定されます(学部生のみ)。認定単位数は、各プログラムの授業時間により2〜4単位です。ただし、単位認定の手続きは2027年5月以降に行うことになるため、当該学期に卒業する方は単位が認定されず、進級・卒業判定の単位とすることもできません。なお、GPA等については、単位認定後、即時に反映されます。
※国際学部生は入学年度により科目取扱が異なります。
　詳細は「国際学部留学の手引き」を参照すること。

学生体験談

清田 優妃　国際学部　カナダ / トロント大学(留学当時 1年)

●なぜ留学しようと思ったのか?
長期の留学に行く前に外国を知るステップとして短期間で参加しようと思ったからです。

●留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください。
私が最も印象に残っているのは、英語のアクセントの違いです。留学中はホストファミリーと一緒に過ごしていましたが、私のホストファミリーは南アフリカ出身で、これまで学校で聞いてきた英語とは全く異なるアクセントであったため、最初はほとんど聞き取ることができませんでした。最初は、まともにコミュニケーションが取れないことに不安や絶望感を感じていましたが、毎日聞いているうちに少しずつ耳が慣れていきました。海外に行った経験がなかった私は、国によってこれほど英語の発音やアクセントが異なることを知らず、大きな衝撃を受けました。一方で、私たちが話すいわゆる「ジャパニーズイングリッシュ」も、他国の人にとっては聞き取りにくいことがあるのではないかと考えるようになりました。この経験から、さまざまな英語に触れ、それぞれの特徴を理解しながら、多くの人に伝わりやすい英語を身につけられるよう意識して努力しています。

●1日もしくはプログラム全体のスケジュールを教えてください。
学校は朝8時頃に始まるため、1時間ほどかかる通学時間を考慮して、毎朝6時半には家を出ていました。授業はだいたい13時前に終わり、その後は昼食を食べに行く人もいれば、ラウンジに残ってネイティブの先生や様々な国籍の学生と会話を楽しむ人もいました。放課後には、関学生のみのアクティビティに加え、トロント大学が企画するイベントもあり、毎日さまざまな経験をすることができました。中でも特に参加者からの評価が高かったのはスケートイベントです。トロントのシンボル的なモニュメントの前で、みんなでスケートを楽しんだことは、今でも非常に印象に残っています。

●留学での経験は、今後の就職・進路選択にどんな影響を与えると思いますか?
英語力の向上は就職で有利になると一般的によく言われています。しかし、私が留学を通して得られたものはそれだけではなく、チャレンジすることの大切さを伝えられるのではないかと思います。初めての海外だったため、身内や知り合いが誰もいない環境で、出発前はかなり緊張していましたが、それと同時に気合と覚悟も持っていました。最後までトラブルなく、満足して帰国できたことには大きな意義があったと思います。また、現地で行ったプレゼンテーションの内容や、他の学生のプレゼンテーションから学んだことなども含め、さまざまな面で自分の成長につながったと感じています。

●これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージを!!
世界の情勢が頻繁に変化しており、海外に行くことに不安を感じる人も少なくないと思います。そのような中で、この外国語研修は短期間で、比較的安全な環境のもと海外経験ができるプログラムだと思います。私のように海外へ行くのが初めてで緊張している人にとっても、この外国語研修はぴったりだと感じました。仲間と助け合いながら1ヵ月間を過ごすことで絆も深まり、今でも一緒にご飯に行く仲になっています。この研修を通して今までの自分とは違う一面を見つけることもできました。新しい自分を見つけたいと思っている人には、ぜひ参加してほしいと思います。



派遣先一覧

英語研修

国・地域	大学名	出発日～帰国日	募集人数	参加費（概算）	滞在形式	食事	クラス編成
アイルランド	ダブリン・シティ大学	出発日 2/19 帰国日 3/22（32日間）	25名	約104万円	ホームステイ	平日 朝夕 土日祝 朝昼夕	混合
イギリス	レスター大学	出発日 1/29 帰国日 3/1（32日間）	30名	約106万円	寮	なし	混合
マレーシア	マラヤ大学	2027年2月中旬～3週間 ※プログラム実施期間は決まり次第、CIECウェブサイト（外国語研修）で公開します。	25名	約59万円	ホテル	平日 朝昼	混合
インドネシア	サティヤ・ワチャナ・キリスト教大学	出発日 2/13 帰国日 2/28（16日間）	10名	約45万円	ホームステイ	朝昼夕	関学生
オーストラリア	アデレード大学	出発日 2/19 帰国日 3/14（24日間）	30名	約86万円	ホームステイ	朝昼夕	関学生
	西オーストラリア大学	出発日 2/5 帰国日 3/14（38日間）	30名	約109万円	ホームステイ	平日 朝夕 土日祝 朝昼夕	混合
ニュージーランド	オタゴ大学	出発日 2/16 帰国日 3/14（27日間）	25名	約81万円	ホームステイ	朝昼夕	混合
アメリカ	セントラル・ワシントン大学	出発日 2/7 帰国日 2/28（22日間）	13名	約98万円	寮	なし	混合
カナダ	クイーンズ大学	出発日 2/6 帰国日 3/7（30日間）	15名	約115万円	ホームステイ	朝昼夕	混合
	トロント大学	出発日 2/6 帰国日 3/7（30日間）	30名	約97万円	ホームステイ	朝夕	混合

スペイン語研修

国・地域	大学名	出発日～帰国日	募集人数	参加費（概算）	滞在形式	食事	クラス編成
スペイン	アリカンテ大学	出発日 1/29 帰国日 3/2（33日間）	10名	約83万円	ホームステイ	朝昼夕	混合

朝鮮語研修

国・地域	大学名	出発日～帰国日	募集人数	参加費（概算）	滞在形式	食事	クラス編成
韓国	建国大学	出発日 2/1 帰国日 2/17（17日間）	25名	約45万円	寮	なし	混合

■上記情報は2026年8月現在のものです。今後変更する可能性があります。

●クラス編成の「混合」は、他国の学生や日本の他大学生との混合クラス、「関学生」は関学生だけのクラスです。
●日本の大学の休み期間に実施するプログラムのため、混合クラスでも、日本からの学生のみ、関学生のみのクラスになることがあります。
●レベル別クラスがあるプログラムであっても、参加者のレベルに大きな差がない場合、全員同じレベルになることがあります。
●ホームステイのプログラムは、他国の学生、日本からの学生（関学生を含む）と同じ家に滞在することがあります。
●寮・ホテルのプログラムは、他国の学生、日本からの学生（関学生を含む）と同じ部屋になることがあります。

プログラム選択のポイント

①行先で選ぶ

どこの国・地域に行ってみたいか考えてみましょう。北米、アジア、ヨーロッパ、オセアニアなど、異なる文化を持つ様々な地域のプログラムがあります。同じ国であっても、大学の所在地が都市か郊外かで雰囲気が全く異なります。どのような環境で留学生活を送りたいか考えてみましょう。

②滞在形式で選ぶ

ホームステイでは現地の一般家庭の生活文化を体験でき、寮では共同生活を体験したり、プログラムによっては他の留学生と交流を図ることもできます。留学中にどのような生活スタイルを体験したいか考えてみましょう。

③期間で選ぶ

外国語研修では、プログラムによって2週間と短いものから、5週間の長いプログラムまであります。どれくらいの期間学習したいか考えてみましょう。

④プログラムの特徴で選ぶ

授業内容やクラス構成、参加費用やアクティビティの内容など、いくつかの視点からプログラムを比較してみましょう。例えば、現地学生と交流機会がある、滞在国についてしっかり学べる、授業が易しく初心者でも安心、多数のアクティビティがプログラムに組まれているなどがあります。

英語研修プログラム　Dublin City University

ダブリン・シティ大学

アイルランド
ダブリン市

大学創立年 1989年 / 学生数 約12,000名 / 2027 プログラム実施期間 2/22－3/19（出発日 2/19 帰国日 3/22）

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
25名	約104万円	1日 約 4時間 週 約20時間	あり	ホームステイ	平日 朝夕 土日祝 朝昼夕	

ダブリン・シティ大学ランゲージサービス（アイルランド政府認定校:ACELS）が実施する約4週間の「General English」を受講します。

おすすめのポイント!




アイルランド国内トップレベルの施設が備わった大学で英語やアイリッシュ文化を学ぶことができる!

●スピーキング・リスニング・ライティング・文法・発音等に重点を置いた授業です。
●コミュニケーション能力の向上に焦点を当てた授業が実施されます。
●都心部にありながら自然に囲まれたキャンパスで、ヨーロッパの街並みを感じながら学習することができます。

英語研修プログラム　University of Leicester

レスター大学

イギリス
イングランド　レスター市

大学創立年 1921年 / 学生数 約20,150名 / 2027 プログラム実施期間 2/1－2/26（出発日 1/29 帰国日 3/1）

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
30名	約106万円	週 約15時間	あり	寮	なし	

レスター大学が日本の学生向けに実施する約4週間の「4-week English and British Culture Programme」を受講します。

おすすめのポイント!




バディと一緒に様々な課外活動に参加できる!
イギリス文化を感じながら落ち着いた環境で学びたい人におすすめ!

●英語4技能に加え、コミュニケーション能力の強化に重点を置いています。
●英語だけでなくイギリスの文化・歴史・政治・文学等についての授業も行われます。
●授業の一環として現地の小学校を訪問し、日本語・日本文化を紹介する機会が予定されています。
●プログラムの一環として、リサーチ&プレゼンテーションが含まれています。
※本プログラムの申込には以下いずれかの英語要件を満たす必要があります。
TOEIC® L&R:300/IELTS:3.5/TOEFL iBT®:2.5/6または40/120

英語研修プログラム　University of Malaya

マラヤ大学

マレーシア
クアラルンプール市

大学創立年 1905年 / 学生数 約17,580名 / 2027 プログラム実施期間 2月中旬～（3週間）

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
25名	約59万円	1日 約 4時間 週 約20時間	あり	ホテル	平日 朝昼	

マラヤ大学人文社会学部が実施する3週間のプログラムを受講します。

おすすめのポイント!




Buddyと寝食を共にし、1日中英語に触れることで異文化理解を深めることができる!
東南アジアの文化を満喫しよう!

●午前は英語4技能の総合的な向上を目指し、午後は英語の実践（朗読・英語劇・ディベート大会など）や、マレーシア文化理解を目的とした実習が予定されています。
●マラヤ大学の学生が留学生活をサポートしてくれるBuddy Programがあります。
●週末は様々なアクティビティ、フィールドトリップがあります。
※プログラム実施期間は、決まり次第、CIECのウェブサイト（外国語研修）に掲載します。

英語研修プログラム　Satya Wacana Christian University

サティヤ・ワチャナ・キリスト教大学

インドネシア
中部ジャワ州
サラティガ市

大学創立年 1956年 / 学生数 約10,000名 / 2027 プログラム実施期間 2/15－2/26（出発日 2/13 帰国日 2/28）

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
10名	約45万円	1日 約 5時間 週 約25時間	あり	ホームステイ	朝昼夕	

サティヤ・ワチャナ・キリスト教大学が関学生のために実施する約2週間「Intensive English Language Program」を受講します。

おすすめのポイント!




短期集中型のプログラム!
インドネシアの文化や自然、生活を満喫できる!

●英語4技能の向上を目指します。
●週末にはフィールドトリップが用意されているほか、英語を使ったアクティビティ（伝統のダンスや調理実習）があります。
●留学期間が約2週間と、他の英語研修と比較して短めのプログラムです。

英語研修プログラム　Adelaide University

アデレード大学

オーストラリア
南オーストラリア州　アデレード市

大学創立年	学生数	2027 プログラム実施期間
1874年	約65,000名	2/22－3/12 出発日 2/19　帰国日 3/14

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
30名	約86万円	1日 約 4時間 週 約20時間	あり ※参加人数による	ホームステイ	朝昼夕	

アデレード大学が関学生のために実施する約3週間の「3 Week Beginners English + Australian Cultural Activities Study Tour Program」を受講します。

- 英語初級者向けプログラムです。
- 英語4技能の総合的な向上を目的としたプログラムです。
- 授業に加え、野外活動、アクティビティを通じての学びがバランス良く組み込まれています。

おすすめのポイント!




オーストラリアの名門「Group of Eight」の1つ!
美しいキャンパス、アデレードの街並み、海岸を満喫できる!

英語研修プログラム　University of Western Australia

西オーストラリア大学

西オーストラリア州
パース市

大学創立年	学生数	2027 プログラム実施期間
1911年	約24,000名	2/8－3/12 出発日 2/5　帰国日 3/14

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
30名	約109万円	1日 約 4時間 週 約20時間	あり	ホームステイ	平日 朝夕 土日祝 朝昼夕	

西オーストラリア大学Centre for International Language Teachingが提供する約5週間の「Language and Communication Essentials」を受講します。

- 英語4技能の総合的な向上を目的とした学習を行います。
- 毎週水曜日には日本文化交流クラス「Kaiwa Class」に参加して現地学生と交流することができます（別キャンパス）。
- 1週目はオーストラリア文化を体験する授業や、フィールドワークがあります。
- 本プログラムはクレアモントキャンパスで行われます。

おすすめのポイント!




オーストラリアの名門「Group of Eight」の1つ!
「Kaiwa Class」で現地学生と交流できる!

英語研修プログラム　University of Otago

オタゴ大学

ニュージーランド
ダニーデン市

大学創立年	学生数	2027 プログラム実施期間
1869年	約20,000名	2/19－3/12 出発日 2/16　帰国日 3/14

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
25名	約81万円	1日 約4～5時間 週 約23時間	あり	ホームステイ	朝昼夕	

オタゴ大学ランゲージセンターが実施する約3週間の「General English」を受講します。

- 初級から上級までのレベルに分けられ、英語4技能をバランスよく学びます。
- 世界で最も美しいといわれる大学（キャンパス）で学ぶことができます。
- 質の高い英語授業で、英語の流暢さと正確さを向上させることに重点を置いています。

おすすめのポイント!




ニュージーランドの豊かな自然と文化の両方を満喫できる!

英語研修プログラム　Central Washington University

セントラル・ワシントン大学

アメリカ
ワシントン州　エレンズバーグ市

大学創立年	学生数	2027 プログラム実施期間
1891年	約10,500名	2/8－2/26 出発日 2/7　帰国日 2/28

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
13名	約98万円	1日 約3～4時間 週 約14～17時間	あり	寮	なし	

セントラル・ワシントン大学国際センターが実施する約3週間の「WorldCat Institute」を受講します。

- コミュニケーションスキルの開発に焦点を当てた実践的な授業を受けます。
- 授業に加え、課外活動を通じてアメリカの文化や習慣も学びます。また、現地学生や地域の方との交流の機会があります。
- フィールドトリップやアクティビティがあります。

おすすめのポイント!




緑豊かなキャンパスで学びながら、自然と文化の両方を体験できる!

英語研修プログラム　Queen's University

クイーンズ大学

オンタリオ州
キングストン市

大学創立年	学生数	2027 プログラム実施期間
1841年	約23,000名	2/8－3/5 出発日 2/6　帰国日 3/7

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
15名	約115万円	1日 約3～6時間 週 約21時間	あり	ホームステイ	朝昼夕	

クイーンズ大学School of Englishが実施する約4週間の「Canadian English Experience」プログラムを受講します。

- テーマに基づいた内容と言語の総合学習を通じて、英語4技能の向上を図ります。特に、コミュニケーションに重点をおいています。
- English Only Ruleが掲げられています。
- トロント・オタワ・モントリオールを訪れる週末のフィールドトリップがあります。

おすすめのポイント!




会話を重視した授業で、英語を話す機会が多い!
フィールドトリップでは有名な観光地を巡り、カナダの文化に触れることができる!

英語研修プログラム　University of Toronto

トロント大学

カナダ
オンタリオ州　トロント市

大学創立年	学生数	2027 プログラム実施期間
1827年	約91,000名	2/8－3/5 出発日 2/6　帰国日 3/7

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
30名	約97万円	1日 約 4時間 週 約20時間	あり	ホームステイ	朝夕	

トロント大学School of Continuing Studiesが実施する約4週間の「English for Effective Communication」を受講します。

- 1クラス18名を上限とした小規模なクラス構成です。
- スピーキングに重点を置き、多様な場面に対応できるスピーキング力を身につけることが目標です。
- 講師から個別に英語学習のフィードバックがあります。
- 様々なフィールドトリップやアクティビティがあります。

おすすめのポイント!




カナダの都会を満喫できる!
講師の的確なフィードバックで語学力も向上!

スペイン語研修プログラム　Universidad de Alicante

アリカンテ大学

スペイン
バレンシア州　アリカンテ県

大学創立年	学生数	2027 プログラム実施期間
1979年	約32,000名	2/1－2/26 出発日 1/29　帰国日 3/2

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
10名	約83万円	1日 約 3時間 週 約15時間	あり	ホームステイ	朝昼夕	

アリカンテ大学語学教育センターが実施する約4週間の「インテンシブ ランゲージコース」を受講します。

- 文法・会話・聴解・読解のスペイン語4技能を効率よく総合的に学ぶプログラムです。
- 受講者は年齢層も幅広く、社会人やシニア層の方、そして様々な国籍の学生がともに学んでいます。
- 1クラス15名を上限とした小規模なクラスです。

※授業は全てスペイン語で行われます。

おすすめのポイント!




授業もホームステイも満足度がとても高いプログラム。
美しいビーチと歴史的建造物が多くある最高の環境のもとで勉強できる!

朝鮮語研修プログラム　konkuk University

建国大学

韓国
ソウル特別市

大学創立年	学生数	2027 プログラム実施期間
1931年	約25,000名	2/2－2/16 出発日 2/1　帰国日 2/17

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
25名	約45万円	1日 約2～4時間 週 平均14時間	あり	寮	なし	

建国大学国際課が実施する約15日間の「international winter school 2」を受講します。

- 朝鮮語の学習だけでなく韓国文化体験を組み合わせた実践的なプログラムです。
- 講義で学んだ内容を、フィールドトリップや文化体験と連携させて学ぶ構成となっています。
- 希望者を対象としたBuddy Programでは、現地の学生との交流を通じて、コミュニケーションや文化理解を深めることができます。

おすすめのポイント!




どの授業も、丁寧で分かりやすい!
語学だけでなく、韓国の文化もしっかり学べる!

募集関連スケジュールはP.11～12「募集説明会・出願・選考スケジュール」をチェック!

1-3 短期海外インターンシップ

海外の日系企業等でビジネス現場を体験する

Short-term Business Internship Program

グローバルチャレンジ 国際ボランティア/フィールドスタディ

詳細はWebをチェック!

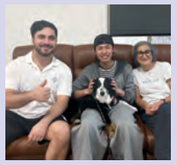
短期海外インターンシップは、夏休み・春休みを利用して、主に海外の日系企業でインターンシップを行う短期プログラムです。
英語を駆使して働くことよりも「海外で働くこと」を経験することに重きをおいたプログラムで、将来の進路やキャリアを考える際、自分に向いている職種・業界など、自分を見つめ直すきっかけにもなります。これから就活を始める方はもちろん、進学を考える方にもキャリア設計を考えていくのに必要な視点を養えるという点でおすすめのプログラムです。
「事前・事後研修等」の日程は、右上の欄からウェブサイトで確認可能です。全日程出席の必要がありますので、ご了承ください。

募集要項（共通事項）

参加資格	1.学部生（2027年3月卒業見込者は、本プログラムの単位を卒業に必要な要件に含めることはできません）。 2.本プログラムである事前・事後研修に全日程参加できること。
外国語要件	TOEIC®450点以上の英語力があることが望ましい。
選考方法	書類選考（選考の結果、定員を超えた場合は抽選）
奨学金	井谷憲次奨学金（オーストラリア・アメリカ:8万円/ベトナム・マレーシア:3万円）
科目・単位数	グローバルスタディーズ科目「短期海外インターンシップ」4単位 ※単位の取り扱いが学部・学年によって異なる場合がありますので、所属学部の履修心得で確認してください。

学生体験談

廣川 遼　経済学部　オーストラリア（留学当時 2年）



●なぜ留学しようと思いましたか?
私が留学しようと思った理由は、将来海外で働くことに興味があり、実際に海外で生活をしてみたいと思ったからです。旅行ではなく、1ヵ月間ホームステイをすることで、現地の人の生活や文化をより身近に感じられると思いました。また、オーストラリアは多民族国家であり、さまざまな文化や価値観に触れられることにも魅力を感じました。英語でコミュニケーションを取る環境に身を置き、自分の英語力を高めるとともに、海外で働くための視野を広げ、将来の進路を考えるきっかけにしたいと思い、留学を決意しました。

●留学を実現するまでに、どのような準備をしましたか?
留学に向けて、語学試験のための勉強だけではなく、現地の人と積極的に会話ができる英語力を身につけることを意識しました。特に、日本語を瞬時に英語へ変換する練習を繰り返し、会話の中で自然に英語が出てくるよう取り組みました。また、現地での生活をより充実させるために、観光地や行ってみたい場所を事前にリサーチしてリストアップしました。さらに、「ストリートで50人に話しかける」など具体的な目標を立て、普段の生活ではできない経験に積極的に挑戦し、多くのことを吸収しようという気持ちで留学に臨みました。

●留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください
留学を通して最も印象に残ったのは、人との距離感の違いです。オーストラリアでは初対面でも壁をつくらず気軽に話しかけてくれる人が多く、とても居心地の良さを感じました。また、日本では「生きるために働く」というより「働くために生きる」という考え方を感じる一方で、オーストラリアでは仕事と生活のバランスを大切にする人が多く、心に余裕を持って生活する姿が印象的でした。そうした価値観に触れたことで、私自身も人の目を気にしすぎず、自分の考えや意思をはっきり伝えられるようになりました。さらに、バレンタインデーに街中で男性が女性へ花束を贈る光景を見て、日本にはない文化の素敵さを実感しました。

●1日もしくはプログラム全体のスケジュールを教えてください。
平日は6時に起床し、ホストマザーと朝食を食べた後、7時30分頃に家を出発しました。電車とバスを利用して約1時間かけて職場へ向かい、9時から子どもたちと外遊びや学習活動、昼食、キリスト教の学びや遊びのサポートなどを行いました。昼休憩には休憩室にベッドがあり、昼寝ができる環境が整っていたことが日本との違いとして印象的でした。18時半頃に帰宅し、ホストマザーと夕食を食べながら日本とオーストラリアの文化について話す時間が毎日の楽しみでした。木曜日はショッピングデーで、お店が夜遅くまで営業しているため、同じプログラムの友人と買い物や食事を楽しみ、充実した時間を過ごしました。

●留学での経験は、今後の就職・進路選択にどんな影響を与えると思いますか?
現地では言葉が完璧に通じない中でも、相手へのリスペクトと好意を持って接し、自分から積極的にコミュニケーションを取ることで信頼を得ることができ、さまざまな仕事を任せてもらえました。この経験を通して、自分の意見を相手に伝える力や、相手を理解しようとする姿勢が身についたと感じています。また、人の目を気にしすぎず、自分らしく行動できるようになったことは、今後どのような環境で働く上でも大きな強みになると思います。将来は、留学で培った主体性と相手を尊重する姿勢を生かし、多様な価値観を持つ人と信頼関係を築きながら活躍できる社会人を目指したいです。

●特に成長したと感じられる点（主体性・タフネス・多様性への理解・チャレンジ精神）のいずれか1つを選択し、その理由を教えてください
特に成長したと感じる点はチャレンジ精神です。留学前は失敗や周囲の目を気にして一歩踏み出せないこともありました。しかし、現地では英語が完璧でなくても自分から積極的に話しかけ、「ストリートで50人に声をかける」という目標にも挑戦しました。その経験を通して、失敗を恐れるよりもまず行動することの大切さを実感し、新しい環境でも前向きに挑戦できるようになりました。

●これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージを!!
留学は本当にあっという間に終わってしまいます。だからこそ、「これだけはやり切る!」という目標を持って過ごすことをおすすめします。僕は自分の意思を伝え続けたことで新しい仕事を任せてもらえたり、現地の学生とサッカーを通して交流できたりと、多くのチャンスをつかむことができました。待っているだけでは何も始まりません。ぜひ主体的に行動して、自分からたくさんの経験をつかんできてください!

アメリカ The United States of America

プログラム実施期間 2027 2/3-2/27 出発日 2/3 帰国日 2/28

アメリカ・ロサンゼルスで実施する約3週間のインターンシッププログラムです。日系企業の進出が中国に次いで世界で2番目に多いアメリカ、その中でも特に日系企業が多いロサンゼルスでインターンシップを行います。

募集要項

実施場所	アメリカ　ロサンゼルス
募集人数	20名
滞在形式	ホームステイまたはホテル
参加費（概算）	104万円
食事	朝・夕または朝のみ（滞在形式により異なります）
留学期間	約3週間
実施機関	Lighthouse Career eX Corp.





プログラム

・合同ビジネス研修（4日間）
インターンシップを行う前に、他大学の学生と合同でビジネス研修に参加します。全国の同世代の学生とキャリアについて話し合う貴重な機会です。

・インターンシップ（約3週間）
以下の2つのコースに分かれ、日系企業でインターンシップを行います。（参加決定後のマッチング面談で希望を確認し、希望したコースで参加していただきます）。

グローバルキャリアプログラム（GCP）
主に現地日系企業でのインターンシップです。事務所内での電話対応から、社員同行の下でのお客様訪問までビジネスの前線での幅広い業務が経験できます。

マーケティング型ビジネス体験プログラム（PBL）
ロサンゼルスの日系企業が抱える課題を、消費者へのアンケートや競合調査などの実践的なマーケティング調査から解決し、現役のビジネスパーソンに対し事業提案をする実践型プログラムです。

※休日は職種により異なります。

オーストラリア Australia

プログラム実施期間 2027 2/6-2/26 出発日 2/5 帰国日 2/27

オーストラリア・シドニーで実施する約3週間のインターンシッププログラムです。多民族・文化国オーストラリアで働く日本人の姿や、日系企業のあり方を実際に見るために、オーストラリアでのインターンシップを行います。

募集要項

実施場所	オーストラリア　シドニー
募集人数	22名
滞在形式	ホームステイ
参加費（概算）	79万円
食事	朝・夕
留学期間	約3週間
実施機関	ライトハウス・キャリアエンカレッジ（株）
現地プログラム	現地日系企業でインターンシップを行います（教育、不動産、旅行、食品、人材、メディア系等）。参加決定後にマッチング面談を行い、配属企業を決定します。 土日祝日は基本的に休日となりますが、職種により曜日が異なる可能性があります。 ※休日は職種により異なります。

プログラム

・事前研修（ONLINE:1月9日（土））
現地に渡航する前に、自宅からONLINEで参加します。企業でのインターンシップの前に、「働く」ことについて見つめなおすことで、現地での研修をより有意義なものにします。
キャリアフォーラム:世界で活躍する若手日本人から海外での就職や生活について学びます。

・インターンシップ（約3週間）
参加決定後に実施する、マッチング面談での希望を基に配属された企業でインターンシップを行います。研修を通じて、「海外で働くこと」を体験します。





ベトナム Vietnam

プログラム実施期間 2027 2/13-3/12 出発日 2/12 帰国日 3/13

ベトナム・ホーチミンで実施する約4週間のインターンシッププログラムです。ベトナムは近年著しい経済成長を遂げ、30代以下の人口が6割という若い力を持つ国であり、日本企業の進出も著しい国です。そんなベトナムで働く日本人の姿や、日系企業のあり方を実際に見るために、ベトナムの日系企業でインターンシップを行います。

募集要項

実施場所	ベトナム　ホーチミン
募集人数	12名
滞在形式	ホテル
参加費（概算）	55万円
食事	朝
留学期間	約4週間
実施機関	ライトハウス・キャリアエンカレッジ（株）
現地プログラム	現地日系企業でインターンシップを行います（教育、不動産、旅行、IT、小売り、人材、メディア系等）。参加決定後にマッチング面談を行い、配属企業を決定します。 ※休日は職種により異なります。

プログラム

・事前研修（ONLINE:1月9日（土））
現地に渡航する前に、自宅からONLINEで参加します。企業でのインターンシップの前に、「働く」ことについて見つめなおすことで、現地での研修をより有意義なものにします。
キャリアフォーラム:世界で活躍する若手日本人から海外での就職や生活について学びます。

・インターンシップ（約4週間）
参加決定後に実施する、マッチング面談での希望を基に配属された企業でインターンシップを行います。研修を通じて、「海外で働くこと」を体験します。





マレーシア Malaysia

プログラム実施期間 2027 2/13-3/5 出発日 2/12 帰国日 3/6

マレーシア・クアラルンプールで実施する約3週間のインターンシッププログラムです。多国籍な環境のマレーシアでは、研修先はローカル企業が多く英語を使う機会が比較的多いのが特徴です。また、イスラム教国家のため、日本ではなかなか触れることができない文化を学ぶことができます。

募集要項

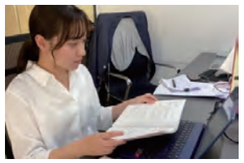
実施場所	マレーシア　クアラルンプール
募集人数	12名
滞在形式	ホテル
参加費（概算）	60万円
食事	なし
留学期間	約3週間
実施機関	ライトハウス・キャリアエンカレッジ（株）
現地プログラム	現地日系企業でインターンシップを行います（職種例:営業、接客、事務、広報、IT、日本語教師等）。参加決定後にマッチング面談を行い、配置企業を決定します。 土日祝日は基本的に休日となりますが、職種により曜日が異なる可能性があります。 ※休日は職種により異なります。

プログラム

・事前研修（ONLINE:1月9日（土））
現地に渡航する前に、自宅からONLINEで参加します。企業でのインターンシップの前に、「働く」ことについて見つめなおすことで、現地での研修をより有意義なものにします。
キャリアフォーラム:世界で活躍する若手日本人から海外での就職や生活について学びます。

・インターンシップ（約3週間）
参加決定後に実施する、マッチング面談での希望を基に配属された企業でインターンシップを行います。研修を通じて、「海外で働くこと」を体験します。





1-3 グローバルPBL

Global PBL

現地および上智大学の学生と「課題解決型」の共同学習をする

詳細はkwicをチェック!

現地の同世代の学生との交流・ディスカッションや共同学習を通して、タイ北部の地域課題について実践的な学びを得ることを目的とした、課題解決型学習のプログラムです。少数山岳民族を含む多文化共生地域である北部タイの国境地帯を主なフィールドとします。現地における現状と取り組みを実地研修で学ぶこと、そして強靭で持続可能な社会構築への示唆を得ることを狙いとします。なお、本プログラムは上智大学主催のプログラムであり、上智大学の学生も参加します。

2026年度グローバルPBLは催行未定です。
詳細が決まり次第、kwic（右上QRコード参照）にてお知らせいたします。

募集関連スケジュールはP.11〜12「募集説明会・出願・選考スケジュール」をチェック!

1-4 海外フィールドワーク

Overseas Fieldwork

開発途上国の現状を知る

グローバルチャレンジ 国際ボランティア/フィールドスタディ

報告書

開発途上国の現場における導入的学びのためのプログラムです。特に本学が提供している「国連ユースボランティア」および「国際社会貢献活動」など、将来的に中長期の海外ボランティアプログラム参加を検討している方向けの短期研修プログラムです。担当教員による指導のもと、開発途上国における経済・歴史・教育・文化などの現状について理解を深めます。2026年度秋学期はマレーシアで実施します。

マレーシア Malaysia

プログラム実施期間 2027 2/15-2/24 出発日 2/14 帰国日 2/25

募集要項

実施場所	マレーシア　ペラ州カンパー市
募集人数	15名程度
滞在形式	寮など
参加資格	1.学部生（2027年3月卒業見込者は出願不可） 2.英語で行われる講演などを理解できる語学力を有する者 ※英語応力を証明できる書類を提出できることが望ましい。 3.本プログラムの準備のための事前研修に全日程参加できること
参加費（概算）	36万円（1マレーシアリンギット=42円換算）
奨学金	短期留学奨学金3万円
科目・単位数	グローバルスタディーズ科目「海外フィールドワーク」2単位
授業担当者	鈴木 薫　国際教育・協力センター教授
プログラム概要	多文化・多民族国家における人々の生活の在り方へ調査を行います 1.講義　トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学（以下UTAR）にて講義 2.調査　農家、日系企業、警察所、学校、孤児院等を訪問し、インタビューを実施 3.交流　UTARの学生との交流と現地農村ホームステイ体験 4.総括　学びの総括として、UTARにて最終プレゼンテーション・グループワークを実施

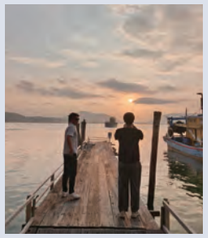
学生体験談

ファンヘースト 拓海
国際学部　マレーシア（参加時期 2年）

●留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください

得た学びは、「多文化共生は存在している」と「自分が持っていた固定概念」である。多文化共生はマレーシアでの日常生活から当たり前のように存在していた。違う民族・宗教が互いをリスペクトし合いまた配慮しているから、共生できていると私は感じた。次に、各訪問先を訪れて私は気づかぬうちに多くの事に対して固定概念を持っていた事に気づかされた。しかし、実際に現地を訪れたり他の文化に触れ合ってからでないと固定概念について気づく事はできないとも思った。全ての出来事が印象的であり、学びがあった。

●留学での経験は、今後の就職・進路選択にどんな影響を与えると思いますか?



今回のフィールドワークは、今後の私のキャリア形成に大きな影響を与えたと考えている。現地での学びを通して、多くの物事に対する固定観念が薄れ、自分の視野が大きく広がった。その結果、帰国後はこれまで以上にさまざまなことへ挑戦しようとする姿勢を持てるようになった。現在、私は将来の進路を選択する重要な時期にあるが、日本国内にとどまらず、東南アジアをはじめとする海外にも目を向け、チャンスがあれば積極的に挑戦したいと考えている。このような考え方の変化も、本フィールドワークを通じて得られた大きな成果である。

1-5 国連セミナー

UN Seminar

ニューヨークの国連本部を訪問

国連セミナーは、国連、国際機関、政府系機関など国際的な舞台での活躍を希望する学生へのプログラムです。ニューヨークの国連本部を訪問し、現役の国連職員等による講義・ディスカッションを通じて、国際公共政策の分野におけるキャリア展開や、国際課題に対する国家、国際機関、政府機関等の役割などについて理解を深めます。

こんな人におすすめ

- 将来、国連・国際機関・NGO・外交分野で働きたい方
- 大学院「国連システム政策専攻」で学びたいと考えている方
- 国連ユースボランティア、国際社会貢献活動の参加を検討している方/参加した方
- SDGsを始めとした国際社会における課題及びその取り組みに関心のある方

募集要項（共通事項）

実施期間	8月末〜9月初旬の10日間程度　※予定
募集人数	12名程度
参加費	60万円程度
奨学金	井谷憲次奨学金等
使用言語	日本語および英語
選考方法	書類選考（志望動機、英語スコア、成績等）
募集期間	1次募集-2月頃、2次募集-実施する場合は3月初旬〜中旬
履修基準年度	本学の全学部生（渡航時本学2年生以上）及び大学院生
科目・単位数	グローバルスタディーズ科目4単位
訪問先（予定）	UNICEF, UNDP, UNDESA,UNWOMEN, Columbia大学, JPOセッション, DOS, OHCHR, 国連日本政府代表部　他（2025年度実績） ※訪問先はセミナー直前の調整により年度ごとに異なります

学生体験談

藁科 美有　国際学部　アメリカ（参加時期 2年）

●特に成長したと感じられる点

【チャレンジ精神】以前の私は、興味があることがあっても自分にはできないのではないかと躊躇し、挑戦せずに後悔することが多くありました。しかし国連セミナーには高校生の頃から参加したいと考えていたということもあり、参加を決意しました。事前学習から渡航期間中まで、大変さや困難を感じる場面が多々ありました。しかし、それをバネに変え取り組み続けたことで、渡航後は大変さや不安を遥かに上回る達成感を得られただけでなく、挑戦して本当に良かったと強く感じることができました。困難を恐れず一歩を踏み出す大切さを学び、以前の自分から大きく変わるきっかけとなったことが最大の成長だと感じています。

●これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージを!!



国連セミナーに参加して大変さや難しさを感じる場面は多々ありましたが、だからこそ得られた学びの深さは非常に大きかったです。さらに、様々な人との繋がりができることもこのセミナーの大きな魅力です。関学生だからこそできる貴重な経験なので、ぜひ一歩踏み出してみてください!!

1-6 国連・外交フィールドワーク

Fieldwork on UN and Foreign Affairs Studies

開発途上国における国連諸機関等の役割を知る

プログラム実施期間 2027 2/14-2/19 出発日 2/14 帰国日 2/20

国連・外交フィールドワークは、アジアにおける国連機関、国際NGO、各国大使館、二国間援助機関、農村部等を訪問する仮説検証型フィールド・リサーチプログラムです。本プログラムでは、教員の指導の下、事前研修を通してテーマを決めてリサーチを行い、仮説を立てたうえで現地での仮説検証を行うことで、開発途上国における国連諸機関の役割、NGOや二国間援助機関、国際金融機関などとの連携調整、開発、平和、人権、人道などについて理解を深めます。

募集要項

実施場所	カトマンズ他
募集人数	10名程度
滞在形式	ホテル・ホステルなど
参加資格	渡航期間および、事前研修・帰国報告会の全て出席することができる者 本学学部生であり、英語および日本語で実施される講演、授業などを理解できる語学力を有する者 心身ともに健康状態が良好である者 本科目の実施期間中に他の集中科目（海外プログラムを含む）を履修していない者 参加にあたって保証人の了承を得ている者
外国語要件	上記参加資格を満たす者
選考方法	書類選考（予定）
募集期間	1次募集:9月頃、2次募集:実施する場合9月下旬〜10月頃
参加費（概算）	約28万円程度（予定）
奨学金	井谷憲次奨学金（3万円） ※国際学部生は国際学部留学奨励金（15万円）を選択することも可
実施機関	国連関係機関、国際NGO、各国大使館、JICA、小学校など（予定）
科目/単位	2単位
難易度	初中級者向け

学生体験談

鎌田 夏帆　国際学部　ネパール（参加時期 1年）

●留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください

私はこのプログラムを通して、開発途上国の課題の複雑さを学びました。私の調査分野であった教育では、教育を受ける意義を保護者が理解することが、子どもたちを児童労働や児童婚ではなく、就学へと導く上で不可欠であるものの、理解してもらうことの難しさが課題としてありました。その原因には、修了しても国内に職がないことや、社会で求められるスキルと教育内容のミスマッチがあることを知りました。教育環境やカリキュラムの改善だけでなく、その地域に沿った多様なアプローチが求められていることを学びました。各訪問先では、職員の方々が私たちを温かく迎え入れてくださり、私たちの質問一つ一つに丁寧に答えてくださったことが、強く印象に残っています。ネパールには歓迎の印として「カダ」と呼ばれる布をゲストの首に掛ける慣習があり、私もいくつかの訪問先で実際にその歓迎を受けました。私はうれしくてホテルへ戻るまでずっと身につけていました。いただいたカダは、帰国した今でも大切に保管しています。また、予定していた時間を過ぎても私たちの質問に答えるために話を続けてくださる方も多く、現地の方々の情熱や、私たちの学びを支えようとしてくださる真摯な姿勢に深く感動しました。

●これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージを!!



このプログラムへの参加を迷っている方がいれば、私は間違いなく、まずは挑戦してみることをお勧めします！私にとってネパールという国は未知の世界でしたが、そんな未知の世界にこそ足を踏み入れ、新しい知見を得ることの楽しさを、私はこのプログラムを通して感じることができました。思い切ってチャレンジしたその先には、きっと新しい世界と自分自身の成長が待っているはずです！

募集関連スケジュールはP.11～12「募集説明会・出願・選考スケジュール」をチェック!

1-7

アジアで学び、共に創る 台湾・マレーシア・日本の仲間と挑む、国際共修プログラム

グローバルチャレンジ 国際ボランティア フィールドスタディ

報告書

アジア多文化共修セミナー

Intercultural Co-creative Leadership in Asia (ICLA)

Sustainability and Business in Japan

サステナビリティとビジネスの視点から日本社会を考える

3大学が連携し、毎年ホスト校を交代、実施するジョイントプログラムです。

プログラム実施期間
2027
2/14 - 2/20
※事前、事後研修の期間はシラバスにて確認ください。

参加大学

各大学10名
合計30名
【 使用言語 】
英語

- 関西学院大学 KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY（2026年度ホスト校）
- National Taipei University（台湾）
- Universiti Tunku Abdul Rahman（マレーシア）



こんな人におすすめ!!

- 海外の学生と協働しながら学びたい
- 英語を使って実践的なコミュニケーション力を伸ばしたい
- 異文化理解や国際交流に関心がある
- グローバルな環境で活躍したい
- リーダーシップや課題解決力を身につけたい

ICLAで身につく力

異文化理解力	協働力	課題解決力	リーダーシップ
異なる文化的背景を持つ学生との交流と協働	国籍や価値観の違いを超えたチームワーク	フィールドワークやディスカッションを通じた実践的な学び	グローバル社会で求められる主体性と行動力

プログラム構成

事前学修
（ オンライン ）

▼

オンサイトプログラム 5日間
（ 関西学院大学、フィールドトリップ ）

▼

事後学修
（ オンライン ）



募集要項

実施場所	関西学院大学、他国内フィールドトリップ
募集人数	10名
滞在形式	本学の寮
参加資格	学部生（2026年3月卒業見込み者は本プログラムの単位を卒業に必要な要件に含めることはできません）。 事前・事後研修、本セミナーに全日程参加できる者
外国語要件	なし（ただし、プログラム中、英語でコミュニケーションができること）
選考方法	書類選考および面接選考
参加費（概算）	9万円
奨学金	井谷憲次奨学金（2万円）
科目・単位数	グローバルスタディーズ科目「アジア多文化共修セミナーA」2単位
プログラム期間	1週間
授業担当者	ヘニングス・マティアス教授

募集関連スケジュールはP.11～12「募集説明会・出願・選考スケジュール」をチェック!

1-8

カナダの学生と「協働」で学ぶプログラム

グローバルチャレンジ 融合

グローバルチャレンジ 国際ボランティア フィールドスタディ

詳細はWebをチェック!

Cross-Cultural College（CCC）

クロス・カルチュラル・カレッジ

概要

Cross-Cultural College(CCC)とは、関西学院大学とカナダの4大学が協働で運営するバーチャル・カレッジです。異文化理解やコミュニケーション力を持ち、多文化を共生させながら、グローバル社会の持続的な発展と成長に寄与できる世界市民リーダーズを育成します。

■目的と特徴

- ☑ カナダの学生と寝食をともにしながら「協働」で学ぶ
- ☑ 多国籍な場面で活躍できる実践的な能力を養う
- ☑ プログラムの使用言語はすべて「英語」

このような学生にお勧めです

- グローバル展開している企業が抱える課題について海外の学生とディスカッションしてみたい
- 中期留学や交換留学、国際ボランティアなどから帰国した後も英語力を維持、向上させたい
- 英語を学ぶのではなく、「英語で学ぶ」環境に身を置きたい
- 早期に修了証書を手に入れて、就職活動でアピールしたい

2月実施プログラム募集要項

Global Career Seminar in Canada（GCSC）

プログラム実施期間
2027
2/15 - 2/20
出発日 2/13
帰国日 2/22

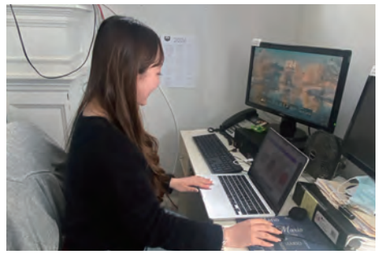
概要	日加の学生混成のグループを組み、企業・団体等から与えられる国際展開等に関する課題について解決策を立案するプログラム。プログラム前半では企業・団体等の事業に精通し、第一線で活躍している方々から直接情報収集を行います。その後、グループ内で解決案を導き出し、最終的にその方々に対してプレゼンテーションを行い講評を得ます。普段なかなかお会いする機会のない企業・団体等の方の考えに触れることにより、ビジネスならではの視点を学びつつ、多国籍な場でのの合意形成を体感します。 ※関西学院大学に在籍する外国人留学生とグループを組むこともあります。
留学期間	約1週間
実施場所	カナダ　トロント大学
募集人数	25名
滞在形式	ホテル（食事:なし）
参加資格	1.学部2年生以上（大学院生を除く）の者　※2027年3月卒業見込者は、本プログラムの単位を卒業に必要な要件に含めることはできません。 2.TOEIC®680点（またはTOEFL ITP®530点、TOEFL iBT®71点、IELTS5.5点、英検準1級、DET105点）以上のスコアを有する者 3.事前講義を含むプログラム全日程に参加できる者
選考方法	書類及び面接選考
参加費（概算）	50万円
奨学金	短期留学奨学金（8万円） ※国際学部留学奨励金の対象です。その他の奨学金との併給はできません。
科目・単位数	グローバルスタディーズ科目「CCC Global Career Seminar in Canada」3単位



Field Study in Canadian Business（FSCB）

プログラム実施期間
2027
2/1 - 2/13
出発日 1/30
帰国日 2/15

概要	関西学院大学の学生でペアを組み、カナダ・トロントにある国際的な事業を展開している企業・団体で10日間の課題解決型のインターンシップを行うプログラム。多文化社会であるカナダ特有のビジネス環境における実践的な課題分析・解決を通じて、カナダでのビジネスマネジメントや文化に対する理解、コミュニケーションスキルを習得することができます。プログラム期間中はホームステイでの滞在となります。 ※関西学院大学に在籍する外国人留学生とペアを組むこともあります。
留学期間	約2週間
実施場所	カナダ　トロント近郊のインターンシップ先およびトロント大学
募集人数	12名
滞在形式	ホームステイ（食事:朝夕）
参加資格	1.学部2年生以上（大学院生を除く）の者　※2027年3月卒業見込者は、本プログラムの単位を卒業に必要な要件に含めることはできません。 2.TOEIC®680点（またはTOEFL ITP®530点、TOEFL iBT®71点、IELTS5.5点、英検準1級、DET105点）以上のスコアを有する者 3.事前講義を含むプログラム全日程に参加できる者
選考方法	書類及び面接選考
参加費（概算）	46万円
奨学金	短期留学奨学金（8万円） ※国際学部留学奨励金の対象です。その他の奨学金との併給はできません。
科目・単位数	グローバルスタディーズ科目「CCC Field Study in Canadian Business」3単位



⚠ 出願に関する注意（重要）

プログラムの期間と重複する集中講義を履修している場合、当該プログラムの出願資格はありませんのでご注意ください。

学生体験談

林 里恵子　国際学部　カナダ / トロント（留学当時 3年）



●留学を実現するまでに、どのような準備をしましたか?

渡航前は、CCC関連の英語開講科目を受講するなどして、実践的なコミュニケーション力を意識した準備を行いました。そうした授業では、ディスカッションやプレゼンテーションの経験を積み、自分の考えを簡潔に伝えることを心掛けました。また、カナダの多文化社会の歴史や現状についても学び、現地での学びを深められるよう情報収集を行いました。語学を鍛えるだけではなく「自分から発言し行動する」という意識を持って準備に臨んだことが、FSCB/GCSCでのより良い経験につながったと感じています。

●留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください

プログラムに参加して、フィードバックを恐れないことの大切さを学びました。現地に行ってみて、業務やアイデアに対してのフィードバックが積極的であると感じました。プログラム開始時は、ネガティブなフィードバックを恐れて意見を述べることに躊躇しましたが、小さなことでも意見やアイデアを述べると、現地の方からは必ず前向きなフィードバックをいただきました。また、私にフィードバックを求められる機会も多く、フィードバックはより良い成果を生み出すための対話だと気付きました。特に、FSCBでは、なぜそう思うのか、どう感じるのかを話し合う機会も多く、自分の考えを深掘りする姿勢が身に付きました。

●留学での経験は、今後の就職・進路選択にどんな影響を与えると思いますか?

CCCでの経験から、将来設計においては、より良い自分を目指して主体性を持って挑戦することができるようになると考えます。本プログラムでは、高い目標を持つ仲間たちと協働することで、積極的に自分の意見を伝えて相手と議論しながらより良い結論を導く姿勢が身につきました。こうした姿勢は、社会で活躍するために欠かす事のできない力だと考えます。今後もFSCB/GCSCでの学びを活かし、主体的に意見を発信し、多様な価値観を尊重しながら、より良い結果のために挑戦することのできる人材を目指したいと考えています。

Global Career Seminar in CanadaおよびField Study in Canadian Businessのセット参加がお得です!

Global Career Seminar in CanadaとField Study in Canadian Business は、両方続けて参加することが可能です。「セミナー形式」「インターンシップ」という異なるアプローチでビジネスを体感できます。「英語+ビジネス」の環境にどっぷりつかってみませんか?
続けて参加する場合、一度の渡航で2つのプログラムに参加でき、短期留学奨学金（8万円）をダブルで受給できるので大変お得です!また、いずれもCP対象科目ですので、早期にCPを修了させたい人にはセット参加がおすすめです。（CPについては下記参照）

各プログラム単独参加　：Global Career Seminar in Canada：50万円
　　：Field Study in Canadian Business：46万円

セット参加の場合の参加費（概算）＝57万円

セット参加なら
短期留学奨学金をダブルで受給
＋
渡航費1回分のみ
＝費用負担が低い!



パターン① 短期留学奨学金（8万円）＋短期留学奨学金（8万円）＝16万円を受給
パターン② 国際学部留学奨励金（15万円）＋短期留学奨学金（8万円）＝23万円を受給（国際学部生のみ）

詳細は国際教育・協力センター（CIEC）ウェブサイトを参照してください。

修了証プログラム（Certificate Program〈CP〉）に挑戦しよう!

「第2回オープンバッジ大賞」でCCCが提供するCertificate Programが、優秀賞（教育機関部門）を受賞しました!

CPはCCCが提供する修了証プログラムで、多文化共生や国際関係など、異文化に関する英語開講科目で構成されています。カナダの学生と寝食を共にしながらビジネス課題に挑戦するCCC Global Career SeminarやCCC Global InternshipもこのCPの必修単位（選択必修3）に含まれており、指定の科目群の中から合計16単位を修得し、所定の英語要件を満たした学生には、修了証書とオープンバッジが授与されます。プログラムに取り組むことで、高い英語運用能力と幅広い国際的視野を身につけることができます。







～プログラム参加前の準備～ カナダの学生との協働学習の前に、カナダについて学ぼう!
CPの対象科目にもなります!詳細は6ページへ!

CCCの出願要件の英語運用能力試験として、Duolingo English Test（DET）を導入!





募集関連スケジュールはP.11～12「募集説明会・出願・選考スケジュール」をチェック!

2-1

協定大学で英語を集中的に学ぶプログラム

グローバルチャレンジ 留学

詳細はWebをチェック!

英語中期留学

Semester Study Abroad Program-English

概要

英語中期留学とは・・・

海外協定校で実施する英語の集中学習と外国での実生活を組み合わせた1学期間（3ヵ月～4ヵ月、最大7ヵ月）のプログラムです。
英語運用能力の向上だけでなく、留学先での経験を通して人間的な成長を図り、世界市民としての感覚を身につけることができます。
帰国時にはTOEIC®の点数で100点以上、TOEFL ITP®で30点以上程度のレベルアップを目標としています。

プログラムの特徴

ビジネス英語やインターンシップに挑戦できるプログラムもあるよ!



★本学に在籍しながら、協定大学で英語を学ぶことができる!
★留学中に取得した単位が、所属学部2年生必修の英語またはその他の科目単位として認定される!（科目の取り扱いは所属学部、留学時の学年等により異なります）
★中期留学奨学金（25万円）、中長期留学チャレンジ奨励金（10万円）（共に返還不要）を申請者全員が受給できる!

こんな人におすすめ!

短期プログラムでは物足りない!
英語を集中的に勉強したい!
交換留学、CCCや国際ボランティアへのステップアップにしたい!
海外での生活を通じて、人間力の向上を目指したい!

■ 参加資格

1.留学時に学部2年生以上であること（大学院生は申込不可）。
2.第1学年度必修の英語の単位をすべて修得済み、または修得見込みであること（2026年度秋学期終了時点ですべて修得できなかった場合は、参加決定が取り消されます）。必修の言語教育科目に英語が指定されていない学生においては、第一学年度選択必修の英語の単位をすべて修得済み、または修得見込みであること。　※英語が必修、選択必修のいずれにもない正規留学生においてはこの限りではない。
3.参加希望大学の英語要件を満たしていること（いずれも2025年4月以降受験分のスコアのみ有効）。
※大学4年生については、参加時に卒業単位を満たしており、履修科目等を確認のうえ卒業時期に影響しない場合のみ参加可能。ただし、オックスフォード大学およびハワイ大学マノア校の7ヵ月コースについては、当該年度卒業予定者の参加不可。

■ 出願書類

1.「中期留学参加申込書」（オンライン出願）
2.2025年度4月以降受験分の英語スコア（JPEG形式）

■ 出願期間

〈春学期出発〉　10月15日（木）～11月3日（火）
〈秋学期出発〉　12月15日（火）～2027年1月12日（火）

全学TOEIC®・総合政策学部TOEFL ITP®でも出願可能!

・TOEIC®500点から出願可能!
・1年生で受験（総合政策学部以外）する全学TOEIC® IPでも出願可能!
・総合政策学部の方はECクラス分けの為のTOEFL® ITPも出願可能!

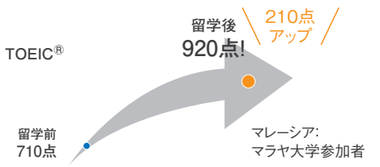


まずは現在の英語力を把握し、計画的に出願に必要なスコアを取得しよう!

英語中期留学で英語スコアを大幅にアップさせよう!

留学前と留学後の英語スコアの伸び（過去参加学生実績）





留学前スコア平均:440～470点

もともと点数が高くてもさらに得点UPが可能!

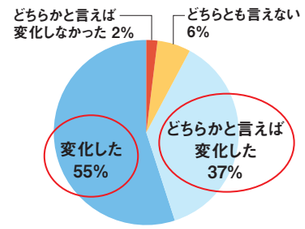
中期留学で習得できるのは単に語学力だけではありません!

Q:中期留学に参加して、性格・行動面で何か変わりましたか?



参加者の92%が変化したと回答

◆グローバルな視点が広がり、国際情勢や海外への関心が高まった。
◆失敗を恐れず、新しいことに挑戦する意欲が高まった。
◆主体的に行動することの大切さを学び、自立心が強くなった。
◆一人でも目標に向かって行動できるようになった。
（2025年度秋学期中期留学参加者アンケート結果）



先輩学生の体験談を聞いてみよう!

学生体験談

福嶋 遼　社会学部　カナダ / トロント大学(参加時期:3年)

●なぜ留学しようと思ったのか?

将来就職を希望する職種で求められる高い英語力と異文化理解力を獲得するため、また、在学中だからこそ挑戦できる貴重な機会に、成長したいと思い留学を決意しました。留学前はTOEICスコアが伸び悩み、英語学習に課題を感じていたので、英語環境に身を置き実践的な英語力を身に付けたいと考えました。また、教科書では学べない現地で使われる英語表現や、価値観、食文化や街並みを肌で感じられることも留学の大きな魅力でした。



●留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください

コミュニティサークルで、さまざまな国の方々と交流したことが最も印象に残っています。そこでは各国の文化や日常生活、宗教観、大切にしている価値観などについて自由に話し合いました。自分が当たり前だと思っていたことや正しいと考えていたことも、国や文化が違えば考え方や価値観が大きく異なることを実感しました。実際に現地の方々との会話を重ねる中で、自分の視野が広がるとともに、これまで当然だと思っていた考え方を見つめ直す貴重な機会となりました。

●特に成長したと感じられる点

【タフネス】留学生活は思い通りにいかないことばかりだったからです。慣れない環境での生活や言葉が通じないことへの煩わしさなど、全てを含めて孤独感を当初感じていました。しかしそこで折れてしまうのではなく、初めてのことは一度きりしか味わえないという気持ちに切り替えることで、少しのことでは落ち込まない強さを身につけました。

●これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージを!!

留学前は、英語は日本でも十分に学べると私自身も考えていました。しかし実際に現地で生活し、出会った友人や経験した出来事、目にした景色は、日本では得られない貴重なものでした。英語力だけでなく、それ以上に多くのことを学び、人として成長できた半年間だったと感じています。留学に迷っている人ほど、ぜひ一歩踏み出して挑戦してほしいです。きっと想像以上に充実した経験が待っていると思います。

学生体験談

大田 早織　生命環境学部　イギリス / オックスフォード大学(参加時期:2年)

●なぜ留学しようと思ったのか?

現在、生命環境学部で地球環境について学んでいます。将来は世界の研究者と協働し、環境問題の解決に貢献できるグローバルな人材を目指しています。そのため、世界有数の名門大学であるオックスフォード大学の学生と交流し、6ヵ月間の英国生活を通じて英語力を向上させたいと考えました。また、異なる文化や価値観を持つ学生と深く交流し、国際的な視野を広げたいという思いも留学を決意した大きな理由です。



●留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください

オックスフォード大学関係者の招待必須のフォーマルディナーに出席の機会があり、社交マナーを学び、多くの人と様々な分野の話が出来ました。また、Oxford University String Ensemble という音楽のSocietyにも参加しました。最初は専門的な音楽用語などで会話が難しかったのですが、参加を重ねるにつれ英語にも慣れ、練習の前後にカフェに行ったり、多くの友達とより一層交流が深まりました。歴史的建造物での演奏会参加の機会にも恵まれ、格調高い雰囲気の中で緊張つつも、感動して胸が熱くなる経験をしました。

●留学の経験は、今後の就職・進路選択にどんな影響を与えると思いますか?

留学で多くの人とコミュニケーションを取ることにより、お互いの文化や考え方を知り、それを理解する上でコミュニケーションの大切さを学びました。今後もいろんなことにチャレンジし、経験を積み、グローバルで活躍できる人材になりたいです。

●特に成長したと感じられる点

【チャレンジ精神】積極的に大学内のSocietyやイベントに参加し、多くの人と交流したことにより友達を作ることが出来たからです。また、音楽のSocietyに入るため、violinを借りる際に、ネットで調べた複数の楽器店に足を運び、レンタルが可能かどうかを聞き、ダメな場合は他のお店を紹介してもらって可能なお店を探し、そこでの貸出費用の交渉や、契約を一人で行いました。これまでしたことのないことを最後までやりきることができ、自信がつきました。

学生体験談

小田 悠貴　人間福祉学部　アメリカ / ハワイ大学(参加時期:3年)

●なぜ留学しようと思ったのか?

私は英語力を向上させるだけでなく、多様なバックグラウンドをもつ人々と関わり、視野を広げたいと考え留学を決意しました。実際に異なる文化や考え方を持つ人々と生活し、学ぶことで、自分自身を成長させたいと思いました。また、将来海外の方と関わる仕事に必要な実践的な英語力やコミュニケーション能力を身に付けることを目的としていました。新たな環境に挑戦することで、自立心や主体性も養いたいと考え、留学を決意しました。



●留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください

最も印象に残っているのは、世界各国から集まった学生とステイしたことです。英語が思うように伝わらず苦労する場面や考え方の違いなどからちょっとした衝突もありましたが、最終的には今でも連絡を取り合うほど仲良くなりました。また、ボランティア活動にも参加し、地域の方々と交流する中で、言葉だけでなく行動や姿勢も信頼関係を築く上で大切だと学びました。異文化を理解し、お互いの違いを尊重する姿勢が身についたことは、留学で得た大きな財産です。

●1日もしくはプログラム全体のスケジュールを教えてください。

平日は午前から午後にかけて英語の授業を受講し、リーディングやライティング、スピーキングを中心に学びました。授業後は課題に取り組んだり、友人と英語で会話をしたりして学習内容を定着させました。また、休日にはボランティア活動や多国籍の友人との交流を通して実践的に英語を使う機会を増やしました。授業だけでなく、日常生活すべてを英語で過ごすことを意識し、毎日学びを積み重ねながら充実した留学生活を送りました。

●特に成長したと感じられる点

【主体性】留学中は誰かが助けてくれる環境ではなく、自分から行動しなければ何も始まりませんでした。授業での発言や友人づくり、ボランティア活動なども積極的に挑戦したことで、自ら考えて行動する力が身につきました。この経験を通して、主体性が最も成長したと実感しています。

先輩学生の体験談全文はこちら▶

派遣先一覧

国　名	大学名	対象 英語スコア ※1 ※2	派遣学期(予定) 日本出発日～日本到着日 ※3	募集人数 ※4	参加費 (概算) ※5	滞在方式 ※6	プログラムの特徴
ニュージーランド	ワイカト大学	以下のいずれか TOEFL ITP®: 420～500点 TOEFL iBT®: 36～61点 TOEIC®: 500～650点 IELTS: 4.0～5.0点	秋学期 2027/8/14(土) ～12/5(日)	20名	約206万円	ホームステイ	①クラスレベルは5段階に分かれ、総合的な英語4技能を学ぶ。 ②落ち着いて学習に集中できる英語初級者・海外初心者向けプログラム。
カナダ	マウント・ アリソン大学		春学期 2027/5/7(金) ～8/2(月)	25名	約215万円	学生寮	①関学生のみで受講するプログラム(レベル別クラスではありません)。TOEICスコアアップや英語プレゼン等多様なクラス。 ②様々なフィールドトリップや現地でのボランティア活動を通じて、学んだ英語を実践する機会あり。 ③現地学生によるConversation partner制度あり。
			秋学期 2027/8/29(日) ～12/6(月)	25名	約220万円		
アメリカ	ハワイ大学 マノア校	以下のいずれか TOEFL ITP®: 420点以上 TOEFL iBT®: 36点以上 TOEIC®: 500点以上 IELTS: 4.0点以上	春学期 2027/3/13(土) ～6/28(月)	20名	約240万円	ホームステイ	①クラスレベルは4段階に分かれ、他国の学生とともに総合的な英語4技能を学ぶ。 ②タームごとに6時間のサービスラーニング(ボランティア)に参加。 ③インターンシップの受講を通じ、職場や社会で必要なコミュニケーション力を高め、キャリア目標を明確にすることが可能(英語要件有。要追加費用)。※秋学期のみ
			秋学期 2027/8/21(土) ～12/20(月)	20名	約263万円		
			秋学期 2027/8/21(土) ～2028/3/6(月) ※中期留学最長 7ヶ月プログラム	20名	約392万円		①約7ヶ月間の長期プログラム ②クラスレベルは4段階に分かれ、他国の学生とともに総合的な英語4技能を学ぶ。 ③タームごとに6時間のサービスラーニング(ボランティア)に参加。 ④インターンシップの受講を通じ、職場や社会で必要なコミュニケーション力を高め、キャリア目標を明確にすることが可能(英語要件有。要追加費用)。
カナダ	トロント大学	以下のいずれか TOEFL ITP®: 450～530点 TOEFL iBT®: 45～71点 TOEIC®: 550～750点 IELTS: 4.0～5.5点	春学期 2027/3/6(土) ～6/27(日)	30名	約244万円	ホームステイ	①クラスレベルは4段階に分かれ、総合的な英語4技能を学ぶ。 ②Term1は「English for Effective Communication」、Term 2・3は「Academic English」を他国の学生とともに学ぶ。 ③Term2・3は②に加え、関学生のみのクラスで「カナダ研究」の講義科目を受講。
			秋学期 2027/8/27(金) ～12/20(月)	35名	約250万円		
	クイーンズ大学		春学期 2027/4/12(月) ～8/8(日)	20名	約245万円	ホームステイ	①Term1ではスピーキングを重視した導入コースを受講。 ②Term2・3はクラスレベルは6段階に分かれ、総合的な英語4技能を学ぶ。 ③教室内外で英語以外の言語使用を禁止するEnglish Only Ruleがある。
			秋学期 2027/8/13(金) ～12/12(日)	20名	約255万円		
イギリス	オックスフォード大学		秋学期 2027/10/3(日) ～2028/3/13(月)	8名	約730万円	学生寮	①日本からの学生向けに開講されるプログラムを他大学の学生とともに受講。 ②総合的な英語4技能のほか、ビジネス英語やTOEIC対策講座、イギリスの文化や歴史について学ぶ。
	レスター大学	以下のいずれか TOEFL ITP®: 450～530点 TOEFL iBT®: 45～71点 TOEIC®: 550～750点 IELTS: 4.5～5.5点	秋学期 2027/8/27(金) ～12/12(日)	32名	約255万円	学生寮	①Term1は関学生のみのクラスで、総合的な英語4技能の向上とイギリス文化を学ぶ。 ②Term2ではクラスレベルは3段階に分かれ、他国の学生とともに「Presessional Programme」を受講する。
マレーシア	マラヤ大学	以下のいずれか TOEFL ITP®: 450点以上 TOEFL iBT®: 45点以上 TOEIC®: 550点以上 IELTS: 4.0点以上	秋学期 2027/9/3(金) ～12/1(水)	15名	約138万円	ホテル	①クラスレベルは4段階に分かれ、総合的な英語4技能を学ぶ。 ②「マレー文化研究」を受講し、マレー語やマレーシアの文化について学ぶ。 ③現地学生によるバディ制度あり。
オーストラリア	クイーンズランド大学		春学期 2027/3/19(金) ～7/12(月)	20名	約205万円	ホームステイ	①クラスレベルは5段階に分かれ、総合的な英語4技能を学ぶ。 ②口語での発表やリサーチスキルを用いた学習など、多岐にわたる学習アプローチを目的としたプログラム。 ③IELTSテスト対策の提供あり。
			秋学期 2027/8/20(金) ～12/13(月)	20名	約208万円		
アメリカ	ネブラスカ大学 オマハ校	以下のいずれか TOEFL ITP®: 490点以上 TOEFL iBT®: 45点以上 TOEIC®: 600点以上 IELTS: 5.0点以上	秋学期 2027/8/19(木) ～12/13(月)	20名	約263万円	学生寮	①プロジェクトベースの授業(PBL)を通じて、実践的な英語4技能に加え、クリティカルシンキングやリサーチ力、プレゼンテーション力を高める。 ②ボランティアやソーシャルネットワークなどの課外活動(オプション)に参加でき、学んだ英語を実践する機会あり。

※1　出願希望大学所定の対象英語スコアを上回っている場合は、国際教育・協力センター(CIEC)まで相談してください。
※2　TOEFL iBT®Special Home Edition、TOEIC®IPオンライン、IELTS Indicatorでの出願も可能です。
※3　日本出発日・到着日は、変更となることがあります。また、2026年度の実績をもとに設定しているプログラムもあります。
※4　参加決定者数が最少催行人数に満たない場合は、渡航先の変更やプログラム中止等の措置が取られることがあります。
※5　参加費には、現地授業料・滞在費・渡航費・海外旅行保険料・危機管理サービス料などが含まれます。また、渡航先によっては査証・電子渡航認証等の取得が必要になる場合があります。申請にかかる費用は別途必要です。また、渡航先や国籍によって異なります。参加費は概算のため為替の影響、プログラム費用の高騰などにより変動する可能性があります。
※6　寮は関学生は日本の他大学からの学生と同じ部屋になることがあります。
　　ホームステイは関学生や日本の他大学からの学生と同じホストファミリーになることがあります。
※注1 世界情勢、査証申請要件の改訂等によって募集中止の判断をする可能性があります。出願開始日までにkwicでお知らせします。
※注2 TOEFL iBT®の新スコアをお持ちの場合は、スコア票に併記の旧スコアに読み替えてご確認ください。

The University of Queensland
クイーンズランド大学
オーストラリア
クイーンズランド州
ブリスベン市

大学創立年	学生数	2027 春学期	2027 秋学期
1981年	約50,000名	3/22－7/9 出発日 3/19 帰国日 7/12	8/23－12/10 出発日 8/20 帰国日 12/13

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
春学期 20名 秋学期 20名	春学期:約205万円　秋学期:約208万円 ※留学査証(e-Visa)の取得が必要です(実費:オーストラリアドル約2,000)。なお、ビザ取得にあたり、追加書類の提出を求められることがあります。	週 約20時間	あり	ホームステイ	平日 朝夕 土日祝 朝昼夕	

プログラムの特徴・授業スケジュール

UQ Collegeが実施する英語学習プログラムを受講します。

《春学期》
Term1：3月22日(月)～4月23日(金)(5週間)
Term2：4月27日(火)～5月28日(金)(5週間)
Term3：6月 7日(月)～7月 9日(金)(5週間)

《秋学期》
Term1： 8月23日(月)～ 9月24日(金)(5週間)
Term2：10月 5日(火)～11月 5日(金)(5週間)
Term3：11月 8日(月)～12月10日(金)(5週間)

- クラスレベルは6段階に分けられ、総合的な英語4技能を他国からの学生とともに学びます。
- 週に1日は選択授業を受講します。IELTS、Business English、Communication Skillsなど。年によって選択科目は変更の可能性あり。
- 毎日アクティビティが実施されており参加可能。
- 200以上のクイーンズランド大学のクラブ・サークルに参加可能。

科目・単位数

【必修英語科目】
Term1：英語科目「英語中期留学クイーンズランド大学Ⅰ」4単位(100時間)
Term2：英語科目「英語中期留学クイーンズランド大学Ⅱ」4単位(100時間)
Term3：英語科目「英語中期留学クイーンズランド大学Ⅲ」4単位(100時間)
★但し、2022年度以前入学の国際学部生については、「英語中期留学科目」12単位。




University of Hawai‘i at Manoa
ハワイ大学マノア校
アメリカ
ハワイ州 ホノルル市

大学創立年	学生数	2027 春学期	2027 秋学期	2027 秋学期 2028
1907年	約20,000人	3/15－6/25 出発日 3/13 帰国日 6/28	8/23－12/17 出発日 8/21 帰国日 12/20	8/23－3/3 出発日 8/21 帰国日 3/6

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
20名	春学期:約240万円　秋学期:約263万円　秋学期(7ヶ月):約392万円 ※留学査証(F-1ビザ)の取得が必要です(実費:アメリカドル約600)。	週 約20時間	あり	ホームステイ	朝夕	

プログラムの特徴・授業スケジュール

Hawai‘i English Language Program（HELP）が提供する英語学習プログラムを受講します。

《春学期》
Term1：3月15日(月)～5月 2日(日)(8週間)
Term2：5月17日(月)～6月25日(金)(6週間)

《秋学期》
Term1： 8月23日(月)～10月15日(金)(8週間)
Term2：10月25日(月)～12月17日(金)(8週間)

- 4段階のレベル分けで、他国からの学生とともに総合的な英語4技能を学習します。初級以外のレベルでは、選択科目やTOEFL ITP®準備科目などを履修します。
- タームごとに6時間のハワイの地域社会でのサービスラーニング（ボランティア）への参加が必須です。
- ハワイ大学の学生活動やクラブ活動に参加することができます。
- インターンシップの受講を通じ、職場で必要なコミュニケーション力を高め、キャリア目標を明確にすることができます。(英語要件有。要追加費用：アメリカドル550 ※秋学期のみ開講
  派遣先例：トロリー会社、ウエディング関連会社等

《秋学期》7ヵ月の長期プログラム
- 通常の秋学期科目に加え、Term3：1月10日(月)～3月3日(金)(8週間)、英語科目「英語中期留学ハワイ大学マノア校Ⅲ」7単位(160時間)を受講します。

※ハワイ大学マノア校への参加が決定した場合、渡航までに必要な予防接種を完了させる必要があります。

科目・単位数

【必修英語科目】
《春学期》
Term1：英語科目「英語中期留学ハワイ大学マノア校Ⅰ」7単位(160時間)
Term2：英語科目「英語中期留学ハワイ大学マノア校Ⅱ」5単位(120時間)
★但し、2022年度以前入学の国際学部生については、「英語中期留学科目」12単位。
《秋学期》
Term1：英語科目「英語中期留学ハワイ大学マノア校Ⅰ」7単位(160時間)
Term2：英語科目「英語中期留学ハワイ大学マノア校Ⅱ」7単位(160時間)
★但し、2022年度以前入学の国際学部生については、「英語中期留学科目」14または21単位。
Term1～2：グローバルスタディーズ科目「海外社会体験実習（ハワイ）」
2単位(45時間) ※インターンシップ受講の場合




University of Toronto
トロント大学
カナダ
オンタリオ州 トロント市

大学創立年	学生数	2027 春学期	2027 秋学期
1827年	約91,000名	3/8－6/25 出発日 3/6 帰国日 6/27	8/30－12/17 出発日 8/27 帰国日 12/20

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
春学期 30名 秋学期 35名	春学期:約244万円　秋学期:約250万円 ※電子渡航認証(eTA)の取得が必要です(実費:カナダドル約7)。 ※多くの学生が通学に必要なメトロパス（定期券）を購入します（1学期あたりカナダドル400ほど）。	週 約23時間	あり	ホームステイ	朝夕	

プログラムの特徴・授業スケジュール

School of Continuing Studiesが提供する英語学習プログラムを受講します。

《春学期》
Term1：3月 8日(月)～4月 2日(金)(4週間)
Term2：4月 5日(月)～5月14日(金)(6週間)
Term3：5月17日(月)～6月25日(金)(6週間)

《秋学期》
Term1： 8月30日(月)～ 9月24日(金)(4週間)
Term2： 9月27日(月)～11月 5日(金)(6週間)
Term3：11月 8日(月)～12月17日(金)(6週間)

- プレイスメントテストにより、初級から上級の約4段階にレベルが分けられ、他国からの学生とともに学びます。
- Term1は「English for Effective Communication」を学びますが、催行があり、希望する場合は、「English for Business Communication」のコースも受講可能です（英語要件あり）。Term2・3は大学で必要な英語力を養う「Academic English」に加え、カナダの社会・文化について学ぶ「Canadian Studies」（関学生のみ）の講義を受講します。
- 「Academic English」の期間には週に1度Project Dayがあり、12週間かけてグループで一つのテーマに沿ったプレゼンテーションを準備します。

科目・単位数

【必修英語科目】
Term1：英語科目「英語中期留学トロント大学スピーキング」3単位(80時間)
Term2：英語科目「英語中期留学トロント大学Ⅰ」5単位(120時間)
Term3：英語科目「英語中期留学トロント大学Ⅱ」5単位(120時間)
★但し、2022年度以前入学の国際学部生については、「英語中期留学科目」13単位。

【必修英語講義科目】
Term2～3：
グローバルスタディーズ科目「カナダ研究トロント大学」3単位(34時間)




Queen's University
クイーンズ大学
カナダ
オンタリオ州 キングストン市

大学創立年	学生数	2027 春学期	2027 秋学期
1942年	約23,000名	4/14－8/5 出発日 4/12 帰国日 8/8	8/16－12/9 出発日 8/13 帰国日 12/12

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
20名 （最少催行人数:12名）	春学期:約245万円　秋学期:約255万円 ※電子渡航認証(eTA)の取得が必要です(実費:カナダドル約7)。 ※テキスト代が別途カナダドル250～500程度必要です(現地で購入)。	週 CASES：約20.5時間 EAP：約22.5時間	あり	ホームステイ	朝昼夕	

プログラムの特徴・授業スケジュール

現代の世界的な課題の解決策を開発するなど世界をリードする大学です。
School of Englishが提供するプログラムを受講します。

《春学期》
Term1：4月14日(水)～5月 5日(水)(3週間)
Term2：5月 6日(木)～6月17日(木)(6週間)
Term3：6月21日(月)～8月 5日(木)(6週間)

《秋学期》
Term1： 8月16日(月)～ 9月 3日(金)(3週間)
Term2： 9月 8日(火)～10月20日(火)(6週間)
Term3：10月26日(月)～12月 3日(木)(6週間)

※ただし、Term2開始前のプレイスメントテスト・オリエンテーションが9月3日・4日に実施される予定です。

- Term1はスピーキングに重点を置いた「Canadian Academic Skills, English and Sustainability（CASES）」を学び、Term2・3は6段階にレベルが分けられたクラスで、総合的な英語4技能を学ぶ「English for Academic Purpose（EAP）」を他国の学生とともに受講します。
- 厳格なEnglish Only Ruleのもと、滞在中は英語以外の言語の使用を禁止されています。
- 渡航前に無料オンライン英語講座を受講することができます。

科目・単位数

【必修英語科目】
Term1：英語科目「英語中期留学クイーンズ大学Ⅰ」3単位(67.5時間)
Term2：英語科目「英語中期留学クイーンズ大学Ⅱ」5単位(130時間)
Term3：英語科目「英語中期留学クイーンズ大学Ⅲ」5単位(130時間)
★但し、2022年度以前入学の国際学部生については、「英語中期留学科目」13単位。




Mount Allison University
マウント・アリソン大学
カナダ
ニュー・ブランズウィック州
サックビル市

大学創立年	学生数	2027 春学期	2027 秋学期
1839年	約2,300名	5/10－7/30 出発日 5/7 帰国日 8/2	9/6－12/3 出発日 8/29 帰国日 12/6

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
25名 （最少催行人数:15名）	春学期:約215万円　秋学期:約220万円 ※電子渡航認証(eTA)の取得が必要です(実費:カナダドル約7)。	週 約24時間	なし	学生寮	春学期 平日 朝昼夕 土日祝 なし	

プログラムの特徴・授業スケジュール

2025年度で25周年を迎えた本学で最も歴史ある中期留学プログラム。
MASSIEが提供するプログラムを受講します。

《春学期》
Term1：5月10日(月)～6月 4日(金)(4週間)
Term2：6月 7日(月)～7月 2日(金)(4週間)
Term3：7月 5日(月)～7月30日(金)(4週間)

《秋学期》
Term1： 9月 6日(月)～10月 1日(金)(4週間)
Term2：10月 4日(月)～10月29日(金)(4週間)
Term3：11月 1日(月)～12月 3日(金)(4週間)

- 関学生のみで受講するプログラム（レベルによるクラス分けはありません）。
- 総合的な英語4技能を学ぶ授業に加えて、TOEIC®のスコアアップにつながる授業を受講します。
- English Only Ruleがあり、英語以外の言語の使用は原則禁止。
- 通常の英語授業に加えて、プレゼンテーションスキルを学ぶ授業や、教員による講義科目（関学生対象）が提供されます。
- Conversation Partner制度があり、現地の学生と交流を図ることができます。
- プログラム期間中に、複数のボランティア活動に参加することができ、身につけた英語力を実践の場で活かすことができます。
- 現地周辺へのフィールドトリップや多種のアクティビティが組み込まれたプログラム。

科目・単位数

【必修英語科目】
Term1：英語科目「英語中期留学マウント・アリソン大学Ⅰ」4単位(90時間)
Term2：英語科目「英語中期留学マウント・アリソン大学Ⅱ」4単位(90時間)
Term3：英語科目「英語中期留学マウント・アリソン大学Ⅲ」4単位(90時間)
★但し、2022年度以前入学の国際学部生については、「英語中期留学科目」12単位。




University of Nebraska, Omaha
ネブラスカ大学オマハ校
アメリカ
ネブラスカ州 オマハ市

大学創立年	学生数	2027 秋学期
1908年	約15,500名	8/23－12/10 出発日 8/19 帰国日 12/13

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
20名	約263万円 ※留学査証(F-1ビザ)の取得が必要です(実費:アメリカドル約600)。	週 約18時間	なし	学生寮 （現地学生または関学生同士の4名ユニット、個室有）	なし	

プログラムの特徴・授業スケジュール

※2027年度は春学期の実施はありません。

《秋学期》
Term1： 8月23日(月)～10月15日(金)(8週間)
Term2：10月18日(月)～12月10日(金)(8週間)

- プロジェクトベースの授業（PBL）を通じて、実践的な英語4技能を養成。
- クリティカルシンキングや協働力、リサーチ力、プレゼンテーション力を強化します。
- ボランティアやソーシャルネットワークなどの課外活動（オプション）に参加でき、学んだ英語を実践の場で活かすことができます。
- “標準アメリカ英語”ともいわれる中西部の発音を現地生活を通して体験することができます。

※ネブラスカ大学オマハ校への参加が決定した場合、渡航までに必要な予防接種を完了させる必要があります。

科目・単位数

【必修英語科目】
Term1：英語科目「英語中期留学ネブラスカ大学Ⅰ」6単位(135時間)
Term2：英語科目「英語中期留学ネブラスカ大学Ⅱ」6単位(135時間)
★但し、2022年度以前入学の国際学部生については、「英語中期留学科目」12単位。




University of Leicester

レスター大学

イギリス
イングランド レスター市

大学創立年	学生数	2027 秋学期
1921年	約18,890名	8/30－12/10 出発日 8/27 帰国日 12/12

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
32名 （最少催行人数:10名）	約255万円 ※電子渡航認証（UKETA）の取得が必要です（実費:イギリスポンド約20）。	週 Term1：約17時間 Term2：約21時間	あり	学生寮 （現地学生または関学生同士の2～4名ユニット、個室有）	なし	

プログラムの特徴・授業スケジュール

The Centre for International Training and Education（CITE）が提供するプログラムを受講します。

《秋学期》
Term1： 8月30日（月）～ 9月24日（金）（4週間）
Term2：10月 4日（月）～12月10日（金）（10週間）

- Term1は関学生のみのクラスで、現地生活に慣れるための準備およびTerm2受講に向けた英語4技能の向上、イギリス文化を学ぶ「English and British Culture Program（EBCP）」を受講します。
- Term2は英語スコアを基にレベル別のクラスで、他国からの学生とともに「Academic English」を受講します。
- プログラム期間中、複数のフィールドトリップが実施されます。

科目・単位数

【必修英語科目】
Term1：英語科目「英語中期留学レスター大学Ⅰ」3単位（68時間）
Term2：英語科目「英語中期留学レスター大学Ⅱ」9単位（210時間）
★但し、2022年度以前入学の国際学部生については、「英語中期留学科目」12単位。




The University of Oxford

オックスフォード大学

イギリス
イングランド オックスフォード市

大学創立年	学生数	2027 秋学期 2028
11世紀	約22,000名	10/6－3/10 出発日 10/3 帰国日 3/13

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
8名	約730万円 ※電子渡航認証（UKETA）の取得が必要です（実費:イギリスポンド約20）。	週 約20時間	あり	学生寮 （日本からの学生向け）	平日 昼夕 土日祝・休暇中 なし	

プログラムの特徴・授業スケジュール

ハートフォードカレッジが日本の学生向けに開講するEnglish Language and British Culture Studiesを受講します。

《秋学期》
Term1：10月6日（水）～12月 9日（木）（10週間）
Term2： 1月3日（月）～ 3月10日（金）（10週間）

- 日本からの学生向けに開講するプログラムを受講します。
- 月～木は授業を受け、金曜日は学習状況の振り返りを中心に行います。
- Term2からは総合英語学習に加えてイギリスの生活文化・TOEIC®対策講座・ビジネス英語を学びます。
- Term1と2の間に長期休暇期間があります。休暇期間中の学生寮への滞在は可能ですが、食事は自炊となります。

科目・単位数

【必修英語科目】
Term1：英語科目「英語中期留学オックスフォード大学Ⅰ」8単位（180時間）
Term2：英語科目「英語中期留学オックスフォード大学Ⅱ」8単位（180時間）
★但し、2022年度以前入学の国際学部生については、「英語中期留学科目」16単位。




University of Waikato

ワイカト大学

ニュージーランド
ハミルトン市

大学創立年	学生数	2027 秋学期
1964年	約13,000名	8/16－12/3 出発日 8/14 帰国日 12/5

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
20名	約206万円 ※留学査証（学生ビザ）の取得が必要です（実費:ニュージーランドドル約100）。	週 約23時間	あり	ホームステイ	朝昼夕	

プログラムの特徴・授業スケジュール

Waikato Pathways Collegeが実施するGeneral Englishプログラムを受講します。

《秋学期》
Term1： 8月16日（月）～ 9月17日（金）（5週間）
Term2： 9月20日（月）～10月22日（金）（5週間）
Term3：11月 1日（月）～12月 3日（金）（5週間）

- クラスレベル別に分けられ、総合的な英語4技能を学ぶ「General English」を他国からの学生とともに受講します。
- Term1～3を通して関学生のために用意された「Newspaper Project」を受講し、説得力のある英語表現などを学びます。
- ワイカト大学生が参加するEnglish Club・スポーツ・その他アクティビティがあります。
- 落ちついて学習に集中できる英語初級者、海外初心者向けのプログラムです。
- プログラム期間中、複数のボランティア活動に参加することができます（自主登録制）。

科目・単位数

【必修英語科目】
Term1：英語科目「英語中期留学ワイカト大学Ⅰ」5単位（125時間）
Term2：英語科目「英語中期留学ワイカト大学Ⅱ」5単位（120時間）
Term3：英語科目「英語中期留学ワイカト大学Ⅲ」5単位（125時間）
★但し、2022年度以前入学の国際学部生については、「英語中期留学科目」15単位。





University of Malaya

マラヤ大学

マレーシア
クアラルンプール市

大学創立年	学生数	2027 秋学期
1905年	約17,580名	9/6－11/29 出発日 9/3 帰国日 12/1

募集人数	参加費（概算）	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
15名 （最少催行人数:10名）	約138万円 ※留学査証（学生ビザ）の取得が必要です。	週 約25時間	なし	ホテル	平日 朝昼（軽食） 土日祝 なし	

プログラムの特徴・授業スケジュール

Faculty of Arts and Social Science（FASS）が提供するプログラムに参加します。

《秋学期》
Term1： 9月 6日（月）～10月 1日（金）（4週間）
Term2：10月 4日（月）～10月29日（金）（4週間）
Term3：11月 1日（月）～11月29日（月）（4週間）

- 総合的な英語4技能を他国の学生とともに学びます。
- Term1～3は英語の授業以外にマレー語、マレーシアの歴史・文化、また多民族国家の社会の成り立ちを通して深い異文化理解を学びます。またフィールドトリップや日系企業を含む現地法人への見学でマレーシアの企業文化を学びます。
- 現地ではグループにバディがつき、様々なアクティビティに一緒に参加したり、留学期間中の日常生活のサポートを行ってくれたりします。

科目・単位数

【必修英語科目】
Term1：英語科目「英語中期留学マラヤ大学Ⅰ」3単位（80時間）
Term2：英語科目「英語中期留学マラヤ大学Ⅱ」3単位（80時間）
Term3：英語科目「英語中期留学マラヤ大学Ⅲ」3単位（80時間）
★但し、2022年度以前入学の国際学部生については、「英語中期留学科目」9単位。

【必修英語講義科目または実習科目】
Term1～3：グローバルスタディーズ科目「マレー文化研究」5単位（66時間）




もらえる奨学金額はどれくらい？

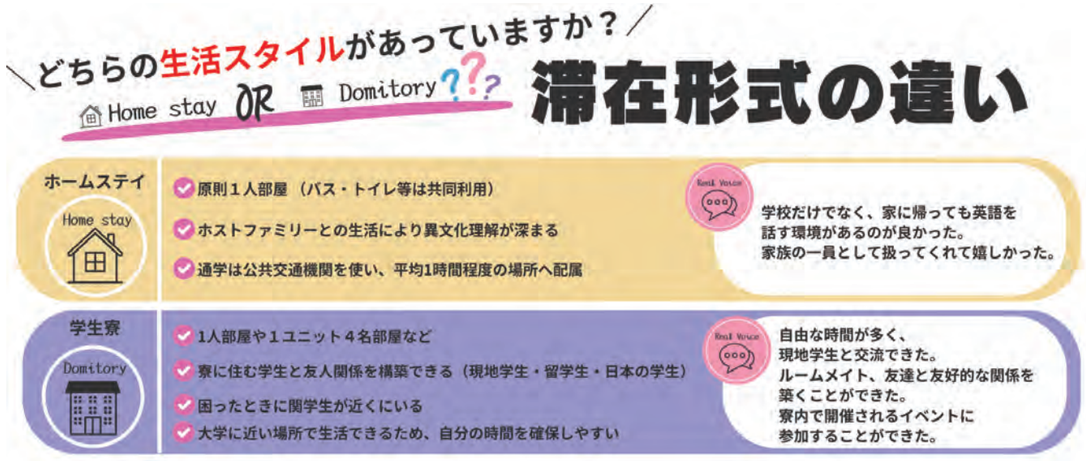
中期留学奨学金
25万円
※国際学部留学奨励金との併用不可。

＋

国際学部留学奨励金
40万円
※国際学部生のみ対象。 ※中期留学奨学金との併用不可。

＋

中長期留学チャレンジ奨励金
10万円
※上記中期留学奨学金および国際学部留学奨励金との併給可。



募集関連スケジュールはP.11～12「募集説明会・出願・選考スケジュール」をチェック!

2-2 集中的に外国語を学ぶ フランス語中期留学

Semester Study Abroad Program-French

グローバルチャレンジ 留学

詳細はWebをチェック!

プログラム実施期間
2027 8/24-12/17
出発日 8/20
帰国日 12/21

募集人数	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	実施場所	大学情報
20名	週/20時間	あり	民間の学生寮	自炊	フランス リヨン市	

プログラムの特徴

- Centre international d'études françaises (CIEF)が提供するインテンシブなフランス語の授業を受講します。CIEFではアジアや北米、ヨーロッパ、中東など世界各国からの留学生がフランス語を学んでいます。
- オリエンテーション期間に実施されるプレースメントテスト(筆記・口頭試験)により、入門～上級までの6レベルに分けられます。
- 同じレベルでもクラスは複数あり、1クラスあたり12～14名の少人数制教育。1クラスの日本人比率は低く、1～3名程度です。

アクティビティ

- 留学期間中には、リヨン市内で様々な国際的なイベント(Salon du chocolat:チョコレートの祭典、Fête des lumières:光の祭典、クリスマスマーケットなど)が開催されます。
- CIEFが企画する交流イベントやフィールドトリップに参加することで、フランス人学生や別のクラスの留学生との交流機会があります。

《アクティビティ例》
一般家庭での晩餐、歴史のあるチーズ屋でのチーズの食べ比べなど

授業スケジュール

Term1： 8月24日(火)～ 9月 3日(金)(約2週間)
プレースメントテスト、オリエンテーション: 2027年9月6日(月)～10日(金)
Term2： 9月13日(月)～10月22日(金)(約7週間)
Term3：11月 1日(月)～12月17日(金)(約6週間)
＊上記は2026年度のスケジュールをもとに設定された仮日程です。
変更が生じる可能性がありますので、ご了承ください。



募集要項

実施場所	リヨン第2大学
参加資格	1.留学時に学部2年生以上であること(大学院生は申込不可)。 2.(文学部フランス文学フランス語学専修生)第1学年度必修科目(フランス語)4単位をすべて修得している者、または修得見込みの者。 (文学部フランス文学フランス語学専修生以外)第1学年度必修科目(フランス語)4単位(フランス語インテンシブを履修している場合は5単位)をすべて修得している者、または修得見込みの者。 (文学部以外)第1学年度選択必修科目(フランス語)、もしくは総合政策学部、理工学部開講の選択科目のフランス語4単位をすべて修得している者、もしくは修得見込みの者。 (全学部共通)申込時は単位修得見込みでも可。ただし2026年度秋学期終了時点ですべて修得できなかった場合は参加決定が取り消されます。 ※大学4年生については、参加時に卒業単位を満たしており、履修科目等を確認のうえ卒業時期に影響しない場合のみ参加可能。 ※留学前までには、実用フランス語技能検定試験(仏検)3級レベル以上であることが望ましい。
奨学金	中期留学奨学金(25万円)・中長期留学チャレンジ奨励金(10万円)(共に返還不要)
科目・単位数	【必修フランス語科目】 Term1:「フランス語中期留学導入」1単位(35時間) Term2:「フランス語中期留学Ⅰ」5単位(120時間) Term3:「フランス語中期留学Ⅱ」5単位(120時間)
参加費(概算)	190万円 ※2026年度実績。為替の影響、プログラム費用の高騰などにより変動する可能性があります。 ※留学査証の取得が必要です。東京のフランス大使館での面接が必要なため、別途申請料・往復交通費・滞在費などが必要です。

中期留学共通の案内についてはP.42を参照してください。

先輩学生の体験談を聞いてみよう! リヨン第2大学参加: 山上 瑞稀 さん



日本でフランス語の授業を受けていたことがきっかけで、純粋に「フランスに行ってみたい」という気持ちがありました。また、教科書で学ぶフランス語だけではなく、実際に日常で使うフランス語や、日本とフランスの文化、文学、習慣などの違いを肌で感じたいと思ったため留学を決断しました。現地で外国の友達をたくさん作りたいという夢もありました。

留学中の初めの2週間は日本人のみのクラスですが、その後はレベル別に分けられた、他の国の留学生との授業に参加します。授業は全てフランス語ですが、先生が1人1人に本当に熱心に指導してくださるので授業についていけるかどうか不安になる必要はないです。放課後は、学校でできた外国人留学生の友達と夜ご飯を食べに行ったり、フランス人に日本語を教える活動に参加したりしていました。学校で出来た友達は一生の宝物になりました。

不安は沢山あると思いますが、挑戦してみると日本では得られない経験や感動があります。そして、帰国後はまたひとつ成長した、別の自分に出会えます。とにかく楽しむことを大切に、色々な文化や人に触れてください!

募集関連スケジュールはP.11～12「募集説明会・出願・選考スケジュール」をチェック!

2-3 集中的に外国語を学ぶ スペイン語中期留学

Semester Study Abroad Program-Spanish

グローバルチャレンジ 留学

詳細はWebをチェック!

プログラム実施期間
2027 春学期 5/3-8/20
出発日 4/29 帰国日 8/23
2027 秋学期 9/1-12/17
出発日 8/29 帰国日 12/20

募集人数	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	実施場所	大学情報
15名	週/20時間	あり	学生寮	朝昼夕	スペイン アリカンテ市	

プログラムの特徴

- アリカンテ大学の語学教育センターが提供するスペイン語コースを他国および日本の他大学の学生とともに受講します。
- 毎日3時間のスペイン語コースと1時間の選択コースを受講します。選択コースは原則「会話」のコースを受講しますが、上級レベルの場合は文化、美術、商業、ツーリズムなどの各テーマから選択科目を受講することができます。
- 希望者はスペイン語検定SIELEを受験することができます。
(別途費用約160ユーロ必要)

授業スケジュール

《春学期》Term1： 5月 3日(月)～ 6月22日(火)(約8週間)
Term2： 6月28日(月)～ 8月20日(金)(約8週間)
《秋学期》Term1： 9月 1日(水)～10月22日(金)(8週間)
Term2：10月25日(月)～12月17日(金)(8週間)
タームごとに、4週間のセッションを2回ずつ受講するため、最大4レベルのクラスで授業を受けることができます。各ターム修了時の「修了試験」の結果により、次に受講するクラスが決まります。

アクティビティ

アリカンテ大学が留学生向けに提供する有料・無料の各種アクティビティ・フィールドトリップに参加可能です。

《アクティビティ例》
スペイン語・日本語の語学交流会、
スペイン料理教室、アウトドアアクティビティ、
サンタ・バルバラ城ツアー、スペイン国内ツアーなど





募集要項

実施場所	アリカンテ大学
参加資格	1.学部2年生以上であること(大学院生は申込不可)。 2.所属学部が指定する第1学年度必修科目、選択必修科目もしくは選択科目のスペイン語4単位以上を修得している者、または修得見込みの者。 申込時は単位修得見込みでも可。ただし2026年度秋学期終了時点ですべて修得できなかった場合は参加決定が取り消されます。 ※大学4年生については、参加時期に卒業単位を満たしており、履修科目等を確認のうえ卒業時期に影響しない場合のみ参加可能。
奨学金	中期留学奨学金(25万円)・中長期留学チャレンジ奨励金(10万円)(共に返還不要)
科目・単位数	Term1:「スペイン語中期留学Ⅰ」7単位(160時間) Term2:「スペイン語中期留学Ⅱ」7単位(160時間)
参加費(概算)	春学期約202万円 秋学期約208万円 ※留学査証の取得が必要です。東京のスペイン大使館での手続きが必要なため、申請料に加え往復交通費、滞在費用などが別途必要です。なお、留学査証申請方法は2026年8月現在の情報です。今後変更になる可能性があります。

中期留学共通の案内についてはP.42を参照してください。

おすすめのポイント!

本学で唯一のスペイン語を1学期間勉強できるプログラム！
初級～上級まで対応できるレベル別クラスが受講可能。



大学寮は個室(シャワー・トイレ付き)の充実した設備。
全室Wi-Fi・食堂・ジム完備。



スペイン語中期留学について、もっと詳しく知りたい！

「アリカンテ大学」ってどんなところ?

- アリカンテ市内には中世イスラム時代の城、地中海に面した白浜のビーチがあります。
- 大学キャンパス、寮はアリカンテ市より約6キロに位置しており生活しやすい環境です。
- 国際色溢れるキャンパスには約50カ国を超える国籍の学生が在籍。現地学生との交流も盛んです。
- 現地語学教育センターのオフィスには日本人スタッフが常駐し、皆さんをサポートします。

参加者の声

- スペイン語の環境に身を置くことは、まだ十分に力がついていない段階でも、基礎を定着させるために役立ちます。そして、重要な気づきを得る貴重な機会にもなると思います。授業はレベル別で行われるため、初心者でもわかりやすく学べるのが魅力です。
- 語学力の向上だけでなく、自分の意見に自信を持ち最後まで諦めない力がつきました。
- 語学力面での成長はもちろん精神面での成長も感じられて、様々な新しいことに挑戦できとても充実した4ヵ月間でした。

多様な言語を
学ぶ良い機会です。
是非挑戦してみてください！

募集関連スケジュールはP.11〜12「募集説明会・出願・選考スケジュール」をチェック!

2-4

海外の企業・組織で課題解決型学習に取り組む

中期グローバル・キャリアPBL（オーストラリア）

グローバルチャレンジ 国際ボランティア/フィールドスタディ

プログラム実施期間 2027 9/6 - 11/26
出発日 9/4
帰国日 11/29

Semester Global Career PBL〈クイーンズランド州政府公認プログラム〉

募集人数	授業時間数	PBL実施時間	レベル別クラス	滞在形式	食事
15名 （最小催行人数:10名）	週/27.5時間	9:00〜17:00 （週30時間） ※業種により異なる	あり	ホームステイ ※2名で1家庭の場合有り	朝夕

プログラムの特徴

ビジネス英語に加え、現地企業等における課題について実践的な学びを得ることを目的とした、課題解決型学習が組み込まれたプログラムです。ビジネス実務に即応できる高い英語コミュニケーション能力と共に、異文化や価値観を理解する力を養成することを目的としています。グローバル化が進む今日の経済社会では、異なる文化や価値観を認め合い共生できる人材が求められています。卒業後は世界を舞台に活躍したいというキャリアプランを持つ学生におすすめのプログラムです。
※旧「中期海外インターンシップ」の後継版として再開

授業スケジュール

オーストラリアでのPBL課題解決型学習に向けて、体系的にステップアップできるプログラムです。

Term	期間	プログラム	実施機関
Ⅰ	9月6日（月）〜10月8日（金）	英語研修、ビジネス英語研修（5週間） ※ビジネス英語は週3回、関学生に特別に準備されたクラスを受講	グリフィス大学
Ⅱ	10月11日（月）〜11月12日（金）	英語研修、ビジネス英語研修（5週間） ※ビジネス英語は週3回、関学生に特別に準備されたクラスを受講	グリフィス大学
Ⅲ	11月15日（月）〜11月26日（金）	課題解決型プログラム（2週間） 出発前に各自興味ある分野を選択し、コーディネーターと面談を経て派遣先を決定 （派遣先により事前面接あり）。 ※希望と適正を考慮しますが、希望する業種以外の派遣先となる場合があります。	現地企業・組織

※上記は2026年度のスケジュールをもとに設定された仮日程です。変更が生じる可能性がございますのでご了承ください。

募集要項

実施場所 オーストラリア　ゴールドコースト市

参加資格
1.学部2年生以上であること（大学院生を除く）。
2.第1学年度必修の英語科目の単位をすべて習得済み、または修得見込みの者（2026年度秋学期終了時点で未修得の場合は参加が取り消されます）。
3.以下のいずれかの英語要件を満たすこと。
TOEFL ITP®510点以上、TOEFL iBT®64点以上、IELTS 5.5点（overall）以上、TOEIC®620点以上。
＊2025年4月以降受験分を有効とする。

選考方法 出願人数が上回った場合、書類選考を行った上で、抽選により参加者を決定します。

奨学金 中期留学奨学金（25万円）・中長期留学チャレンジ奨励金（約10万円）（共に返還不要）

参加費（概算） 約200万円　※為替の影響、プログラム費用の高騰などにより変動する可能性があります。

科目・単位数
Term1:英語科目「英語中期留学グリフィス大学Ⅰ」6単位（137時間）
Term2:英語科目「英語中期留学グリフィス大学Ⅱ」6単位（137時間）
Term3:グローバルスタディーズ科目「海外社会体験実習（オーストラリア）2単位（60時間）

実施機関 本学及びグリフィス大学、SKYUS株式会社の共同運営プログラムです。

派遣先（例） 州政府関連組織、語学学校、専門学校、現地企業など。



先輩学生の体験談を聞いてみよう!

小前 晴雅　経済学部　中期グローバルキャリアPBL（参加時期 2年）

私は将来、海外で働くことやグローバルに活躍したいと思いながらも、その適性や可能性を実体験を通して確かめたいという思いから留学を決意しました。留学に向けては、TOEICやIELTSの学習を通して英語力の向上に努めるとともに、PBLに必要な英語での自己PRや履歴書作成についても事前研修で学びました。留学中は、現地野球クラブでのPBL活動において新規メンバー獲得や練習環境改善に取り組み、選手や保護者との対話を重ねたり、アンケートを実施するなどして、課題分析や改善提案を行いました。また、知り合いのいない環境でも自ら陸上クラブに参加するなど、積極的に交流の機会を広げました。これらの経験を通じて、異文化の中でも主体的に行動し、相手を理解しようとする姿勢や、失敗を恐れず自ら一歩踏み出す大切さを学ぶことができました。私自身、この留学が人生初の海外経験であり、多くの不安を抱えていましたが、それ以上に現地での出会いや交流できる時間を大切にし、一つひとつの機会を積極的に楽しみながら活用することで充実した留学生活を送ることができました。みなさんのチャレンジを応援しています!



先輩学生の体験談全文はこちら▶

英語・フランス語・スペイン語中期留学、中期グローバル・キャリアPBL 全プログラム共通注意事項

必ず確認してください。

募集要項

中期留学科目
- 各プログラムごとに定められた単位が認定されます。ただし、派遣先大学で実施される授業への出席状況不良、課題未提出等で不合格になったTermがあった場合は、残りのTermの授業科目の履修はできません。この場合、直ちに自費での帰国を求めます。
- 所定科目の時間数もしくは科目名が変更される場合があります。
- 国際学部生については、履修する科目や評価方法等が異なる場合があります。国際学部が独自に配布する留学関連資料を必ず確認し、理解しておく必要があります。

履修に関する注意点
- 原則として、中期留学参加者の留学学期（春学期もしくは秋学期）の履修科目については、各プログラムの該当科目のみとなります。履修の取り扱いは学部により異なりますので、所属学部事務室で確認してください。
- 夏季や春季に開講される集中講義で、参加する中期留学科目の研修期間と授業期間が重ならない科目については、履修を認めています。この場合、履修登録期間中にkwicを通して履修手続きをする必要があります。事務室窓口での申込・履修手続きが必要な授業科目の履修はできません。

留学にかかる費用
- 中期留学参加期間中であっても、本学学費の納入が必要です。
- 参加決定後、約2週間以内に申込金（20万円）の納入が必要です（オックスフォード大学は約200万円）。

奨学金 中期留学奨学金（25万円）・中長期留学チャレンジ奨励金（10万円）支給

⚠ 出願に関する注意（重要）

- 参加資格として求められる第1学年度必修の外国語科目の単位を修得できなかった場合には参加を取り消します。
- プログラムにより、参加人数が最少催行人数に満たない場合、プログラムを中止する場合があります。
- アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、マレーシア、フランス、スペインで実施するプログラムは査証の取得が必要です。また、カナダ・イギリスで実施するプログラムでは電子渡航認証の取得が必要です。
  査証申請・電子渡航認証手続きについては本学から申請方法を案内しますが、申請は参加者個人の責任のもと、各自で行う必要があります。
  万一、渡航までに有効な査証・電子渡航認証が取得出来なかった場合はプログラムに参加することはできません。
- 参加者発表後の留学先変更はできません。
- 事前研修および事後研修は全て参加必須です。授業等の公的理由以外での欠席は認められません。
- 参加決定後に安易に参加を取りやめることはできません。またいかなる理由においても辞退をする場合は参加費用の一部または全額のキャンセル料が発生します。

中期留学（FAQ）



Q1 英語スコアが高い方が、選考に有利ですか? また、選考に落ちてどこにも留学できない可能性はありますか?

A1 英語スコアは出願時の選考に影響しません。英語スコアは、現地で提供される授業の対象レベルを示しています。
1大学のみを希望する場合、書類選考や抽選の結果、留学できない場合がありますので、複数の大学を希望しましょう。

Q2 春学期・秋学期実施プログラムの併願はできますか? また、英語中期留学と交換留学の併願はできますか?

A2 いずれもできません。中期留学については、同時期に実施するプログラム間の併願は可能です。出願時に第1〜4希望まで記入できます。
なお、交換留学第2期募集の出願予定者は、12月に交換留学の推薦者が発表されてから、1月締切の秋学期出発の中期留学プログラムに出願することができます。

Q3 中期留学の前後に、外国語研修に参加できますか?

A3 参加できます。ただし、一度帰国する必要があります。また、ビザ等の手続きによっては、参加できるプログラムや渡航できる国・地域が限られる場合がありますので、必ず事前に相談してください。

Q4 4年次秋学期での留学を検討していますが、出願できますか?

A4 出願は可能（オックスフォード大学およびハワイ大学マノア校の7ヵ月コースを除く）ですが、必ず卒業に必要な単位をすべて修得した上で、参加してください。中期留学の参加により、卒業に影響がでないかをまず確認してください。成績証の受け取り日程により、留学で得た単位を卒業単位に含めることができない場合があります。ゼミなどの通年科目の履修がある場合には、必ず事前に学部事務室に相談してください。

Q5 中期留学後に交換留学に参加できますか?

A5 参加できます。ただし2セメスター連続で参加することはできません。

募集関連スケジュールはP.11～12「募集説明会・出願・選考スケジュール」をチェック!

3-1

学生交換協定校：約60ヵ国/地域、約200校の協定大学

交換留学

Exchange Program

グローバルチャレンジ 留学

詳細はWebをチェック!

概要

交換留学は、本学に在籍しながら、休学することなく協定大学へ1学期間または2学期間（1年間）留学できる制度です。協定大学の授業を受講し、専門知識や興味のある学問に関する知識を深め、海外の学生との交流をとおして異文化理解を深めることを目的としています。

交換留学のメリット

- **授業料免除**：留学先大学の授業料は免除されます（本学への学費納入は必要です）。
- **奨学金制度**：学内・学外の奨学金制度が充実しています。
- **単位認定制度**：留学先で修得した単位を本学の単位に認定することが可能です。
  （詳細は、CIECウェブサイトの「単位認定方法・実績」の項目を確認の上、所属学部事務室に問い合わせてください）
- **質の高い協定大学**：本学の協定大学は、どの大学も一定の基準を満たしている質の高い大学です。
  交換留学では、質の高い協定大学で世界中から集まった優秀な学生と一緒に学びあえる環境があります。

募集要項

募集期間・時期

◆第1期募集
翌年2月～4月開始の留学
※一部、1月から交換留学を開始できる協定校があります。

◆第2期募集
翌年8月～10月開始の留学
※一部、翌年7月から交換留学を開始できる協定校があります。

第1期・第2期ともに追加募集を予定しています（詳細は出願者に対して改めてお知らせします）。
※追加募集は、選考通過者のうち派遣先大学が決まらなかった方が対象です。

募集人数・派遣先

◆募集人数・派遣先
kwicキャビネットで公開する「募集人数表」をご確認ください。

出願資格

◆学部生
①留学時に1年以上在学している者（入学年度に、次年度の第1期募集に出願し、入学年度の2月から交換留学を開始することは可能）
※一部の協定校では入学年度の1月から交換留学を開始することが可能
1月開始の大学を希望する場合は、秋学期の履修について、必ず出願時に各学部事務室に相談すること。
②2026年度春学期末までに所属学部が定める必要単位数を修得している者、または修得見込みの者（必要単位数については、CIECウェブサイトを参照）
③2026年度春学期末までの通算GPAが2.30以上である者、または見込みの者
④学業成績が概ね良好の者（通算GPAの学部内順位が上位65%以内であること）※
⑤留学希望の協定校の出願条件を満たしていること。
（英語要件については、第1期は2025年4月受験以降分、第2期は2025年10月受験以降分が有効）
⑥留学前後の学習・進路の計画や各種手続き等を自ら主体的に考え、行動できること。
※学部内順位は非公開情報であるため、個別の問い合わせには対応しない。出願締切後、出願資格を満たした面接試験（適正審査）受験者を発表するので各自で確認すること。

◆大学院生
①留学時に1年以上在学している者
②留学希望の協定校の出願条件を満たしていること。（英語スコアについては、第1期は2025年4月受験以降分、第2期は2025年10月受験以降分が有効）
③留学前後の学習・進路の計画や各種手続き等を所属研究科や指導教員などと詳細に確認の上、自ら主体的に考え、行動できること。
※学部生の出願資格で定めている成績に関する条件②、③、④は適用しない。

留学に掛かる費用

・留学する大学の授業料が免除されます。
（本学への学費納入は必要です）
・ビザ取得費用、往復旅費、生活費、保険料、教科書代等、
その他留学に係る全ての費用は本人負担となります。

奨学金・単位認定

◆奨学金　・井谷憲次奨学金　・笹森四郎奨学金　・交換留学奨学金
・日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）
・その他、学外奨学金
※詳細はCIECウェブサイトの「海外留学を考えている方」を確認してください。

◆単位認定
留学先で取得した単位を所属学部にて本学の単位に認定することが可能です。

⚠ 出願に関する注意（出願前に必ず読んでください。）

- 選考試験当日に出席できない場合は、出願することができません（選考試験日の振り替えはできません）。
- 交換留学は、各海外協定校との協定に基づき募集を行っていますが、稀に協定校への派遣人数、派遣期間、派遣条件の変更により、一旦交換留学への推薦が決定した場合でも予定通り派遣できなくなることがありますので、予めご了承ください。
- 交換留学選考試験で選考された候補者を協定校に推薦しますが、協定校が最終的にその候補者を受け入れるかについての決定をします。したがって、選考試験に合格しても自動的に交換留学が決定するというわけではありません。また、推薦決定後に学業成績（GPA）を下げてしまう等、交換留学生として不適切と判断される場合、協定校に推薦できなくなることがあります。
- 出願後、原則辞退や留学期間の変更をすることはできませんので、よく情報収集したうえで出願してください。自己都合により辞退した場合、次回以降の交換留学には原則出願できません。
- 交換留学に参加する場合、留学出発の前学期は原則として1学期間以上の留学プログラムに参加することはできません。
- 推薦者として決定後は、入学手続き、ビザ取得、滞在先の確保などすべての手続きをご自身で主体的に行う必要があります。
- 交換留学に参加できる期間は、在学期間中に合計1年間（2学期間）までです。
- 出願時に3、4年生の場合（4年生で留学する場合）、卒業に向けての履修や成績取得については自身でよく計画し、不明な点は早めに所属学部事務室に確認してください。
  また、卒業延期制度を利用する場合は必ず制度について確認の上で所属学部事務室に相談してください。卒業延期は最大2学期（1年間）まで可能です。
- 事前研修および事後研修への参加が必須です。
- 本学にて何らかの配慮を受けている場合、同等の配慮が留学決定先の大学で提供されるかどうかは保証できません。配慮の内容によっては、留学先大学で同等の支援が受けられない場合や、留学先に派遣できない場合があります。

選考方法

選考試験の受験言語（英語／英語以外の言語）は出願の際に選択します（言語の併願可）。

［学部生］

出願 ▶ 《全学選考》【英語受験】面接試験（適正審査）【英語以外の受験】面接試験（適正審査）もしくは外国語筆記＋面接試験①（適正審査）＋面接試験②（外国語審査） ＋ 《学部推薦》※内容は学部ごとに異なります。 ▶ 推薦者決定

学部推薦を受け、各大学の受入条件を満たしている者については、下記合計点を基準に選考する。
【合計点算出方法】英語による受験:英語運用能力試験100点満点*1＋面接試験（適正審査）50点満点*2＋学業成績99.9点満点*4＝合計249.9点満点
英語以外の言語による受験:英語以外の外国語運用能力試験100点満点*3＋面接試験（適正検査）50点満点*2＋学業成績99.9点満点*4＝合計249.9点満点

*1. 英語運用能力試験換算表により算出。　*2. 面接試験（適正審査）における評価項目により審査。
*3. 英語以外の外国語運用能力試験換算表により算出。**外国語運用能力試験のスコアを提出できない場合のみ**、学内試験を受験することが可能であり、筆記試験・面接試験は各50点満点。
外部試験と学内試験の換算表は、「外部試験と学内試験の換算表」を使用する。
*4. 春学期末までの通算GPAを学部ごとに99.9点満点で算出。

［大学院生］

出願 ▶ 《全学選考》【英語受験】面接試験（適正審査）【英語以外の受験】面接試験（適正審査）もしくは外国語筆記＋面接試験①（適正審査）＋面接試験②（外国語審査） ＋ 《研究科推薦》※内容は研究科ごとに異なります。 ▶ 推薦者決定

研究科推薦を受け、各大学の受入条件を満たしている者については、下記合計点を基準に選考する。
【合計点算出方法】英語による受験:英語運用能力試験100点満点*1＋面接試験（適正審査）50点満点*2＝合計150点満点
英語以外の言語による受験:英語以外の外国語運用能力試験100点満点*3＋面接試験（適正審査）50点満点*2＝合計150点満点

*1. 英語運用能力試験換算表により算出。　*2. 面接試験（適正審査）における評価項目により審査。
*3. 英語以外の外国語運用能力試験換算表により算出。**外国語運用能力試験のスコアを提出できない場合のみ**、学内試験を受験することが可能であり、筆記試験・面接試験は各50点満点。
外部試験と学内試験の換算表は、「外部試験と学内試験の換算表」を使用する。

（*1）【英語運用能力試験換算表】

TOEFL iBT*	IELTS	TOEFL ITP*	英語運用能力試験の換算
119～120	9.0	670～677	100点
113～118	8.0、8.5	647～669	95点
106～112	7.5	623～646	90点
100～105	7.0	600～622	85点
88～99	6.5	570～599	80点
79～87	6.0	550～569	75点
68～78	5.5	520～549	70点
61～67	5.0	500～519	65点
54～60	4.5	480～499	60点

（*2）【面接試験（適正審査）における評価項目】

（1）出願動機・志望理由
（2）留学目的・学修計画の明確性
（3）留学への準備状況
（希望の留学先大学や国・地域に関する予備知識、情報収集状況等）
（4）留学をふまえたキャリア・進路への意識
（5）留学生活への適応力
（コミュニケーション能力、自立心、柔軟性等）

（*3）【英語以外の外国語運用能力試験換算表】

※ウェブサイトより確認できます。

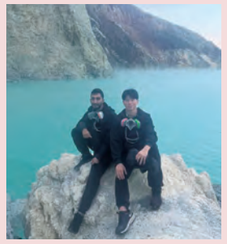
学生体験談

阿部 道志　商学部　マレーシア / テイラーズ大学（参加時期:2年）

●なぜ留学しようと思いましたか?
小学生から高校までラグビーを続けており、大学でも続けるつもりでしたが、怪我などをきっかけに大学入学直前で区切りをつけました。その時に「大学生活で新しく挑戦できることは何か」と考え、漠然と留学に興味を持ちました。最初は海外に対する憧れや思いつきに近いものでしたが、アルバイト先や旅行先、先輩方との出会いを通じて、海外で学ぶことへの関心が強くなり、真剣に留学を目指すようになりました。

●留学を実現するまでに、どのような準備をしましたか?
まずは英語学習に取り組みました。大学入学時のTOEICは500点程度で、留学を目指すには危機感がありました。高校卒業前に個人的には英語を勉強していたつもりだったため、思うように結果が出なかったことにかなり焦りました。そこから授業や自習を通じて英語に触れる時間を増やしました。また、留学費用も自分で準備する必要があったため、アルバイトと並行して奨学金制度や現地で必要な生活費、渡航費などを調べ、現実的に留学を実現するための計画を立てました。

●留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください
自分がマイノリティになる経験をできたことは何よりも大きな収穫です。これまで日本で実家暮らしをしてきた自分にとって、言語や文化が異なる環境で一から人間関係や信頼関係を築くことは多くの学びがありました。特に、自分は好奇心旺盛な性格だと思っていましたが、現地で過ごしていく中で実は内向的で慎重な一面もあると気づくことができ自己理解が深まりました。印象的だったのは、大学で勉強中にInstagramの撮影協力を頼まれたものの、英語でうまく対応できず撮影後に計画が白紙になってしまったことです。悔しさや恥ずかしさはもちろんありましたが、今では自分の成長を感じられる良い思い出です。



●これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージを!!
少しでも迷いや興味があるのであれば、まずは調べてみてほしいです。お金、英語力、一人暮らしへの不安など、私も同じ不安を持っていました。しかし、調べれば奨学金や準備方法など解決策は見つかります。留学は不安以上に、自分の価値観や将来を大きく広げてくれる経験になると思います。

募集関連スケジュールはP.11～12「募集説明会・出願・選考スケジュール」をチェック!

3-2 長期留学（学部科目履修型）

協定大学で学部科目を履修

グローバルチャレンジ 留学

詳細はWebをチェック!

概要

本学の協定大学等で、1学期間または2学期間（1年）留学できる制度です。英語力に応じて、英語集中科目と学部の専門科目を履修することが可能です。本学における学籍上の取り扱い、単位認定、履修上の特例等については原則として交換留学と同様です。

プログラムの特徴

1. 外国語の授業を履修しながら、専門分野の勉強にも打ち込むことができる。
2. 交換留学推薦者の結果発表後に出願できる。
3. 春学期にアメリカに留学が可能。

※今後募集大学が決定すれば、国際教育・協力センター（CIEC）ウェブサイトもしくはkwicでお知らせします。

大学ごとの出願要件、授業料は
2026年11月下旬頃にウェブサイトで公開予定です



募集要項

留学期間	1学期間または2学期間（1年）
募集時期	第1期募集:翌年2月～4月開始の留学 第2期募集:翌年8月～9月開始の留学
募集人数	各大学の募集上限まで
滞在形式	主に派遣先大学が紹介する学生寮またはホームステイでの滞在。
参加資格	①学部2年生以上（入学年度に、次年度の第1期募集に出願し、入学年度の2月から留学を開始することは可能） ②2026年度春学期末までに本学の交換留学で定めている所定の単位数を修得している者、または修得見込みの者。 ③出願時に留学先大学が定めるGPA及び英語スコアの基準を満たしている者。 ※必要単位数及び各大学の出願資格はCIECウェブサイトの長期留学（学部科目履修型）詳細ページを参照
留学にかかる費用	●本学の学費納入と共に留学先大学への授業料納入が必要です。 ●留学査証取得費用、往復旅費、生活費、海外旅行保険、現地大学が指定する保険、教科書代等、その他留学に係る全ての費用は本人負担となります。
奨学金	長期留学奨学金（2学期間:50万円、1学期間:25万円）
単位認定	留学先で修得した単位を所属学部にて本学の単位に認定することが可能です。

＜長期留学（学部科目履修型）、英語中期留学、交換留学を比較してみよう!＞

留学種別	留学期間（いずれも本学に在籍）	内容	英語要件（大学により異なる）	選考方法	現地の授業料
英語中期留学	1学期間	英語を集中的に学ぶ	中級	書類審査	必要
長期留学（学部科目履修型）	1学期間または2学期間	英語、専門分野を学ぶ	中級～上級	所属学部教授会で審査	必要
交換留学	1学期間または2学期間	専門分野を学ぶ	上級	面接試験（適性審査） 学部推薦等	不要

⚠ 出願に関する注意（出願前に必ず読んでください。）

●出願時に3、4年生の場合（4年生で留学する場合）、卒業に向けての履修や成績取得については自身でよく計画し、不明な点は早めに所属学部事務室に確認してください。
また、卒業延期制度を利用する場合は必ず制度について確認の上で所属学部事務室に相談してください。卒業延期は最大2学期（1年間）まで可能です。
●事前研修および事後研修への参加が必須です。
●本学にて何らかの配慮を受けている場合、同等の配慮が留学決定先の大学で提供されるかどうかは保証できません。配慮の内容によっては、留学先大学で同等の支援が受けられない場合や、留学先に派遣できない場合があります。

3-3 認定留学

自分で留学先を決定

グローバルチャレンジ 留学

詳細はWebをチェック!

認定留学とは、本学が募集・実施するプログラムではなく、学生自らが留学する大学を選択・出願（個人手配）をして、海外の大学に留学する制度です。専門分野等の留学計画を立て、本学を通さず自身で留学先（国・大学）を決定し手続きを進めていく必要があります。学籍上の取り扱い、単位認定、履修上の特例等については、交換留学と同じですが学費は留学先と本学の両方に納入する必要があります。詳しくは国際教育・協力センター（CIEC）までお問い合わせください。
また、出発時期によっては、定められた履修方法により必修科目の履修を終えていなければならない学部もあります。必ず検討時点で学部事務室に履修の相談を行うようにしてください。

募集関連スケジュールはP.11～12「募集説明会・出願・選考スケジュール」をチェック!

3-4 国際ボランティア
International Volunteer Program

開発途上国で活動

グローバルチャレンジ 国際ボランティア/フィールドスタディ

詳細はWebをチェック!

国際ボランティアは、「国連ユースボランティア」と「国際社会貢献活動」との2つのプログラムからなります。両プログラムは、関西学院大学のスクールモット一“Mastery for Service”を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育むことを狙いとした、多様な派遣先と活動内容が魅力のプログラムです。
本プログラムは開発途上国に単独で長期間派遣されるため、学内選考においては開発途上国での活動実績や国際ボランティア関連科目などを通じた学習歴が強く求められます。本プログラムへの応募を検討する場合は、事前に国際ボランティア指導教員に学習計画などを相談するようにしてください。
なお、国際ボランティアは、派遣中の「実習」と、帰国後の「課題研究」から構成されます。

国連ユースボランティアと国際社会貢献活動との違い

	国連ユースボランティア	国際社会貢献活動
		
参加校	関西学院大学＋連携校（明治大学・明治学院大学・立教大学）*1	関西学院大学
派遣先	国連ボランティア計画（UNV）をはじめとする国連諸機関 ※UNVを通じて提供されるプログラムです。	国際機関、NGO、教育機関など ※本学が独自に開発したプログラムです。
活動内容	SDGs推進に関する広報活動、プロジェクト運営支援など	学校教育補佐、日本文化紹介、広報活動、フィールド調査、エコツアー開発・実施など
派遣時期	秋学期 ※春学期の派遣はありません。	春学期・秋学期（各5ヵ月間）
選考	●学内選考（書類および面接選考） ●UNVによる選考（書類、オンライン面接、レポートなど）	●学内選考（書類および面接選考） ●派遣先による選考（書類、エッセイ、オンライン面接など）
奨学金・経費	UNVから渡航費・滞在費等の手当支給あり 学費納入要・参加準備に必要な実費は自己負担	国際社会貢献活動奨学金（30万円） 学費納入要・派遣に必要な実費は自己負担

＊1：2026年9月現在

国際ボランティア指導教員によるサポート

国際ボランティアがどのようなプログラムか知りたい方、参加したいが何から準備したらよいか分からない方、国際協力の世界を学んでみたい方を対象に、教員や先輩学生から直接、相談や指導を受けられる場所や機会を設けています。少しでもプログラムに興味をお持ちの方は是非お越しください。



●国際協力事業室
（西宮上ケ原キャンパス　G号館1階）

●コース学習ルーム
（西宮上ケ原キャンパス　G号館1階）

●相談会
（神戸三田キャンパス　アカデミックコモンズ1Fグローバルコーナーほか）
※実施時間が限られていますので、スケジュールなどの最新情報は
CIECのウェブサイトのニュースまたはCIEC掲示板にてご確認ください。

指導教員
◎關谷 武司　国際学部 教授
◎長 英一郎　国際教育・協力センター（CIEC） 教授
◎鈴木　薫　国際教育・協力センター（CIEC） 教授
◎岡村 昭夫　国際教育・協力センター（CIEC） 教授

問い合わせ
※国際協力事業室・コース学習ルームに来室を希望される方は、まずadmin-iv@kwansei.ac.jpにメールで来室可能日時をご連絡いただくか、QRコードからフォームを送信してください。
なお、メールを送る際、必ず本文に「学生番号（8桁）」「学部」「名前」を明記してください。
※面談はオンラインまたはメールでの対応となる場合があります。

国際ボランティアプログラムの派遣準備

国際ボランティアへの参加を目指すためには、「国際ボランティア関連科目」の履修と、開発途上国の現場で調査手法について学ぶ「海外フィールドワーク（FW）」への参加が強く推奨されています。計画的な履修と開発途上国での活動経験が必要となることから、出願に向けて早い段階から計画的に準備することが大切です。また、派遣候補生として決定後、派遣準備科目である国際ボランティアゼミⅠ及びⅡを履修することが必要です。（両科目の単位が取得できない場合は、プログラムに参加することができません）

国際ボランティア関連科目（履修が強く望まれる科目）

以下の科目・プログラムの履修・参加が、国際ボランティアプログラムへの参加を志す学生に対して強く推奨されています。事前申込が必要な科目については、受付期間内に所定の手続きを完了してください。

派遣前					派遣中・派遣後
導入	論理思考	国際共通課題	模擬体験	準備	実践・総括
・SDGsスタディーズ入門 ・グローバル社会の課題と持続可能な未来	・国際情報分析 ・プロジェクトマネジメント	・教育開発論 ・国際平和構築論 ・国際環境論	・海外フィールドワーク ・国連セミナー ・国連・外交フィールドワーク ・インドネシア交流セミナー	・国際ボランティアゼミⅠ* ・国際ボランティアゼミⅡ*	・国連ユースボランティア ・国際社会貢献活動 実習、課題研究

派遣先での活動について発表する帰国報告会もあります。

開発途上国で実施される留学プログラム
・外国語研修（サティヤ・ワチャナ・キリスト教大学、マラヤ大学）
・英語中期留学（マラヤ大学）
・短期海外インターンシップ（ベトナム、マレーシア）
・グローバルPBL（タイ）　※2026年度は調整中

派遣前～派遣後の総括まで、指導教員の下、細やかな指導を受けながら体系的に学ぶことができるのが魅力です!



＊ 国際ボランティアゼミⅠ・Ⅱは、国際社会貢献活動または国連ユースボランティアの派遣候補生のみ履修できる科目です。

履修モデル

大学入学～卒業までの履修モデルは人によって様々です。計画的に履修することで、以下で紹介しているモデルケース（A・B・C）以外にも、様々な複数プログラムと掛け合わせて挑戦することが可能です。

教職との両立を目指す方はこちらもCHECK!



A. 国際社会貢献活動または国連ユースボランティアへ参加したい方

◆国際社会貢献活動に3年春に参加の場合

学年	1年		2年		3年		4年	
学期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
参加プログラム		外国語研修（春休み）			国際社会貢献活動			
準備・履修	SDGsスタディーズ入門	出願 グローバル社会の課題と持続可能な未来	出願 国際ボランティアゼミⅠ	国際情報分析 国際ボランティアゼミⅡ	国際社会貢献実習 国際社会貢献課題研究			

◆国連ユースボランティアに3年秋に参加の場合

学年	1年		2年		3年		4年	
学期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
参加プログラム	海外FW（夏休み）					国連ユースボランティア		
準備・履修	出願 教育開発論		グローバル社会の課題と持続可能な未来	出願 国際ボランティアゼミⅠ	プロジェクトマネジメント 国際ボランティアゼミⅡ	国連ユースボランティア実習 国連ユースボランティア課題研究		

B. 国際社会貢献活動も国連ユースボランティアにも参加したい方

学年	1年		2年		3年		4年	
学期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
参加プログラム	海外FW（夏休み）			国際社会貢献活動				国連ユースボランティア
準備・履修	出願 教育開発論 SDGsスタディーズ入門	出願 国際ボランティアゼミⅠ	国際ボランティアゼミⅡ	国際社会貢献実習 国際社会貢献課題研究	国際情報分析	出願		国連ユースボランティア実習 国連ユースボランティア課題研究

C. 交換留学と国際社会貢献活動または国連ユースボランティアに参加したい方

学年	1年		2年		3年		4年	
学期	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
参加プログラム	海外FW（夏休み）		交換留学			国連ユースボランティア または 国際社会貢献活動		
準備・履修	出願 出願	グローバル社会の課題と持続可能な未来		出願 国際ボランティアゼミⅠ	国際ボランティアゼミⅡ	国連ユースボランティア実習 国連ユースボランティア課題研究 または 国際社会貢献実習 国際社会貢献課題研究		

［備考］ …出願手続き　…留学プログラム　…関連科目履修

国連ユースボランティア 2027年度派遣

「国連ユースボランティア」は、関西学院大学がアジアの大学として初めて国連ボランティア計画（UNV）との協定に基づき、学生を開発途上国にボランティアとして派遣するプログラムです。本学が2004年に開発途上国への学生ボランティア派遣を開始して以来、これまでに100名以上の学生が開発途上国で活動を行ってきました。現在は、プログラム実施の基幹校である関西学院大学以外に、明治大学、明治学院大学、立教大学が連携校として参加しています（2026年9月現在）。
派遣学生は、UNVのコーディネートにより、主に開発途上国の国連諸機関に派遣されます。派遣先国はアジア、アフリカ、欧州、大洋州の各国です。SDGs推進に関する広報活動やプロジェクト運営支援などを通して、教育・保健衛生・環境・ジェンダー・貧困削減などの活動に携わります。

参加資格

1.派遣年の9月1日時点で18歳以上26歳以下かつ学部2年生以上であること（大学院生不可）。
2.学業成績が良好であること。
3.派遣者選考時にTOEFL ITP®500点以上（TOEFL iBT®61点もしくはIELTS5.0点、TOEIC®630点以上）の英語力を有することが望ましい。
4.開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。
5.国際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を発揮できること。
6.派遣前の「国際ボランティアゼミⅠ」及び「国際ボランティアゼミⅡ」を修得すること。
7.派遣後の「国連ユースボランティア課題研究」を履修すること。
※事前研修などの講義及び派遣手続きは日本語で実施されるため、日本語での意思疎通が十分にできることが必須。



奨学金

UNVから渡航費・滞在費等の手当支給あり

派遣先

各国のUNVをはじめとする国連諸機関。
派遣国・派遣機関は派遣される年の3月下旬頃に公開予定です。

科目・単位数

（派遣前）
グローバルスタディーズ科目「国際ボランティアゼミⅠ」（2単位）（素点評価）
グローバルスタディーズ科目「国際ボランティアゼミⅡ」（2単位）（素点評価）計4単位
（派遣中・派遣後）
グローバルスタディーズ科目「国連ユースボランティア実習」12単位（認定評価）
グローバルスタディーズ科目「国連ユースボランティア課題研究」4単位（素点評価）
計16単位
※国際学部生については科目取扱が異なります。詳細は「国際学部留学ガイド」を参照してください。

国際社会貢献活動 2027年度秋学期派遣

「国際社会貢献活動」は、開発途上国でボランティア活動を行う本学独自のプログラムであり、国際協力機構（JICA）の協力先機関、海外の教育機関、NGOなど、さまざまな派遣先があります。
派遣先ごとに活動内容が異なり、その種類は多岐にわたります。派遣学生は教育支援、環境保全、観光開発、平和構築などの幅広い分野で広報活動、フィールド調査、エコツアー開発・実施、学校教育補助など、派遣先のスタッフや現地の人々と共に約5ヵ月間活動します。

参加資格

《学 部 生》1.学部2年生の秋学期以降の参加であること。※応募は1年生秋学期から可。大学院生は以下の「大学院生出願資格」を確認すること。
2.学業成績が良好であること。
3.開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。
4.国際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を発揮できること。
5.現地のスタッフと業務、活動を共に行うための英語力を所持していること。（出願時にTOEFL®、TOEIC®などの英語能力を証明する書類の提出が求められます）
ICRCについてはビジネス英語においてネイティブレベルの英語力が求められます。日越大学についてはIELTS5.5点以上の英語力を有すること。
6.派遣前の「国際ボランティアゼミⅠ」及び「国際ボランティアゼミⅡ」を修得すること。
7.派遣後の「国際社会貢献課題研究」を履修すること。
※事前研修などの講義及び派遣手続きは日本語で実施されるため、日本語での意思疎通が十分にできることが必須です。

《大学院生》大学院生としての派遣希望者は以下の出願資格を有している者に限る。なお、出願予定者（出願時学部生含む）は国際教育・協力センターに出願までに必ず問い合わせること。
1.派遣時までに本学大学院に1学期間以上在籍している者。
2.現在本学学部生で2027年度に本学大学院へ内部進学を予定している者は、次の条件を満たしている場合に限り学部4年生時（早期卒業予定者は3年生時）に出願し、大学院入学後の秋学期より参加することを可能とする。
●本学の学部生で、出願時点で本学大学院入学試験に合格し、入学手続きを完了している者。
●進学予定大学院研究科委員長または研究科長から学長への推薦が得られること。
●予定指導教員が決定している場合は、同教員の了解を得ること。なお、大学院進学後、正式に派遣が決定する。
3.日越大学については、派遣選考時にIELTS6.0点以上に相当する英語力が求められる。
4.ICRCについては、ビジネス英語においてネイティブレベルの英語力が求められます。
5.その他条件、選考試験までの過程は学部生参加資格・選考過程に準ずる。



奨学金

国際社会貢献活動奨学金（30万円）
※国際学部生には原則として上記の奨学金に代わり、国際学部留学奨励金が適用されます。
※時期によってはトビタテ留学JAPANに出願できる可能性があります。

派遣先

開発途上国を中心に本学と協定を結ぶ機関。募集時期により派遣先が異なります。
派遣先についての情報は国際教育・協力センター（CIEC）までお問い合わせください。
※派遣先によって求められる語学力の種類・程度が異なります。

科目・単位数（学部生のみ）※大学院生は別途お問い合わせください。

（派遣前）
グローバルスタディーズ科目「国際ボランティアゼミⅠ」（2単位）（素点評価）
グローバルスタディーズ科目「国際ボランティアゼミⅡ」（2単位）（素点評価）計4単位
（派遣中・派遣後）
グローバルスタディーズ科目「国際社会貢献実習」12単位（認定評価）
グローバルスタディーズ科目「国際社会貢献課題研究」4単位（素点評価）
計16単位
※国際学部生については科目取扱が異なります。詳細は「国際学部留学ガイド」を参照してください。

国際ボランティア よくある質問（FAQ）

Q1 英語力はどの程度必要ですか?

A1 派遣先での業務遂行が可能なレベルの英語力が求められます。派遣先によって求められる英語能力及びその他の外国語能力は異なりますので、詳細について知りたい方は、国際教育・協力センターまでお問い合わせください。なお、国連ユースボランティアと国際社会貢献活動（赤十字国際委員会（ICRC））については、ビジネス英語においてネイティブレベルの英語力が求められます。日越大学についてはIELTS5.5点以上の英語力が求められます。

Q2 事前に「国際ボランティア関連科目」を履修していませんが、応募できますか?

A2 事前の「国際ボランティア関連科目」の履修は、出願にあたっての必須条件ではありませんが、派遣先で活動するにあたって有益です。計画的に履修のうえ、出願することを強くお勧めします。




Q3 開発途上国滞在経験が全くないのですが、参加は可能ですか?

A3 本プログラムでは、1学期間海外へ個人派遣されるため、派遣までに少なくとも2週間程度の開発途上国渡航経験があることが望まれます。開発途上国渡航経験がない方は、「海外フィールドワーク（P.27参照）」「国連・外交フィールドワーク」「外国語研修（サティヤ・ワチャナ・キリスト教大学、マラヤ大学）」「英語中期留学（マラヤ大学）」「短期海外インターンシップ（ベトナム・マレーシア）」「グローバルPBL（タイ）」などの参加をお勧めします。

Q4 大学院生は国際ボランティアプログラムに参加できますか?

A4 「国連ユースボランティア」は対象を学部生に限定しています。「国際社会貢献活動」に参加を希望する場合は、必ず事前に国際教育・協力センターにご相談ください。P.48記載の参加資格も確認してください。

Q5 国連ユースボランティアと国際社会貢献活動の併願は可能ですか?

A5 可能です。出願時にどちらを第一希望、第二希望とするか入力してください。両方に興味をお持ちの場合は、P.46記載の教員へ出願前に相談を行うことを推奨します。

学生体験談

貫 愛依 人間福祉学部 タイ / 泰日経済技術振興協会（TPA）（参加時期 3年）



●留学を実現するまでに、どのような準備をしましたか?

留学を実現するまでに、まず途上国での経験を積み、現場への理解を深めるために10日間の海外フィールドワークに参加しました。また、教職課程も履修していたため、留学との両立ができるよう履修計画を立てました。書類選考では、フィールドワークでお世話になった先生や派遣経験のある先輩方に相談し、自分の関心や目標に合った派遣先を選択しました。面接選考では、3分間の英語プレゼンテーションに向けて、自分が現地で実現したいことを整理し、想いを伝えられるよう準備を重ねました。さらに、選考後も派遣候補生として派遣国や派遣先機関について調査し、他の派遣候補生の仲間と共に留学に向けた準備を続けました。

●留学での経験は、今後の就職・進路選択にどんな影響を与えると思いますか?

国際社会貢献活動では、普段の大学生活では出会えないような、多様な経験や価値観を持つ方々と関わる機会が数多くありました。異なるライフステージにいる方々との対話や派遣期間中の業務を通じて、「自分はどうありたいのか」「何を大切にして生きていきたいのか」を考える機会が増え、自己理解が深まったと感じています。また、慣れない環境での生活や業務の中で、思うようにいかないことや困難を乗り越えた経験は、自分への自信にもつながりました。これらの経験を通じて、自分がどのような形で社会に貢献したいのかをより具体的に考えられるようになり、今後の就職や進路選択における大きな指針になると思います。

●これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージを!!

国際社会貢献活動は、常に「相手のためになることは何か」「自分にできることは何か」を考えながら挑戦するプログラムです。壁にぶつかることもありますが、その分学びも大きく、新しい自分や知らなかった自分に出会うことができます。迷っている方は、まずは話を聞いてみるなど一歩踏み出してみてください!

⚠ 出願に関する注意（出願前に必ず読んでください。）

- 学部科目の履修（通年科目など）に影響が出る可能性がありますので、出願前に卒業までの履修計画を所属学部事務室などに必ず相談してください。
  卒業する学期に派遣される場合、卒業する学期に履修する集中科目（帰国後に履修必須の課題研究など）は卒業に必要な単位に含めることができませんので、注意してください。
- 本プログラムは約1学期間海外で活動をする必要があることを十分理解し、就職活動への影響なども十分に考慮したうえで応募してください。原則として、応募してからの辞退は認められません。
- 次の場合は派遣が中止（取消し）あるいは派遣中でも早期帰国の対象となります。
  ◎生命の危険を生じさせるおそれのある疾病（既往症を含む）がある場合や、派遣中の活動または日常生活に耐えうる健康状態ではないと、医師の診断書等をもとに、本学あるいは受入先機関が判断した場合（受診費用は自己負担）
  ◎派遣開始からプログラム期間完了まで、健康な状態を維持できるか否か不安が払しょくできないと本学が判断した場合
  ◎派遣に向けての事前学習及び事前研修への取り組み（参加状況・習熟度）等から、関西学院大学を代表する一人として派遣することが難しいと判断された場合
  ◎受入機関の要請と派遣候補者の適性が不適合であると判断された場合
  ◎派遣先の治安悪化などにより派遣に危険が伴う可能性があると判断された場合
  ◎その他の事情で派遣が困難であると判断された場合
- 派遣候補者となった後は、査証取得などの渡航準備、オリエンテーションや派遣前の事前研修が予定されています（参加必須）。渡航前は渡航準備への専念が必要であることを承知のうえ、応募してください。原則、出発2ヵ月前の海外渡航は避けてください。
- 休養及び健康状態の観察のため、帰国後2週間の海外渡航は避けてください。また、帰国後速やかに健康診断を受け、受診結果を報告してください。
- 選考時及び本プログラムで派遣される期間の直前・直後に他の留学プログラムへの参加を検討している場合は、出願前に必ず国際教育・協力センターへ相談してください。事前準備や事前事後研修への影響や受入機関によっては手続き上、派遣ができなくなる可能性もあります。
- 事前研修などの講義及び派遣手続きは日本語で実施されるため、日本語での意思疎通が十分にできることが必須です。
- 派遣前の「国際ボランティアゼミⅠ」及び「国際ボランティアゼミⅡ」が修得できない場合、本プログラムへの参加は認められません。
- 原則同じプログラムに2回参加することはできません。
- 査証は自己責任で最新情報を確認し、派遣までに余裕をもって準備・対応すること。

3-5

複数分野専攻（MS）

国連・外交プログラム

UN and Foreign Affairs Studies Program

詳細はWebをチェック!

将来、国際機関や外交・国際協力等、世界の公共の場で活躍するリーダーを目指す学生のためのプログラムです。学部での学びと並行し、国連・外交に関する科目や国際ボランティア等の海外派遣プログラムの履修を通じて、グローバル社会で貢献する力を養うカリキュラム構成です。

複数分野専攻…MS (Multidisciplinary Studies)
所属学部以外の学部やセンター等から提供されたプログラムのもと、学部の枠を越えた学問領域を学ぶことによって、幅広い知見と深い専門性を養う制度。

プログラムのポイント

全学部の学生がチャレンジできるプログラム
「国連・外交プログラム」への応募は全学部、どのキャンパスに所属する学生でも可能です。

ゼミ形式の科目「国連・外交入門」
国連・外交プログラム履修生のみが履修できる入門2科目を通して、国連・外交に関する基礎知識をしっかり身につけます。

少人数で密度の高いプログラム
学生と教員の距離も近く、意識の高い学生同士、切磋琢磨できる環境作りを目指しています。

教員によるメンター制度
プログラム開始時から教員が各学生のメンターとなり、個別にコーチング。関心分野の学びやキャリア設計等についてアドバイスします。

国連・外交の分野で活躍してきた教員陣
国連職員やJICA職員等国際公共の第一線でキャリアを重ねた実務家教員が中心となり、プログラムを構成しています。

海外派遣プログラムと結びついたカリキュラム
学内の国際ボランティアや国連セミナー等のプログラムと有機的に連携し、実践力も養えるカリキュラムです。

キャリアサポート

関西学院大学では、学部プログラムから国連職員等になるまでのキャリア支援を一貫して提供しています。

学部 副専攻 MS 国連・外交プログラム → 大学院（修士） → キャリア支援 → 国連職員 外交官等



カリキュラム

所属学部のカリキュラム ＋ 国連・外交プログラム

32単位修得

- 派遣前導入科目
- 実践科目
- 派遣後応用科目

※詳細は次ページに記載

募集内容

履修申込は学部1学年次秋学期と学部2学年次春学期の2回のみ。学部2学年次秋学期以降は申込できません。

申込時期	第1次（学部1学年次11月）	第2次（学部2学年次5月）
許可者発表	例年1月	例年7月
プログラム開始	学部2学年次春学期	学部2学年次秋学期
定員	30名	
申込方法	オンライン [kwic]キャビネット＞教務機構＞複数分野専攻制(MS)	
選考形態	書類選考（「複数分野専攻願」、成績、英語能力を証明する書類）	

※詳細は入学時に配布される冊子「複数分野専攻制への扉」を参照ください。
※募集内容は変更されることがあります。
※募集説明会を各学期に実施します。日程等は、kwicのお知らせを確認ください。



国連・外交プログラムについて

カリキュラム

派遣前導入科目、実践科目、派遣後履修科目、学部関連科目、自由選択科目から32単位を修得することで修了証が授与されます。

派遣前導入科目

国際ボランティアなどの海外派遣プログラムに向けた準備科目

科目の例
- 国連・外交入門（開発）
- 国連・外交入門（平和・人権・人道）
- 国際情報分析

実践科目

海外での現場実践経験を積み、国際社会で貢献するために必要な力を養う

科目の例
- 国連・外交フィールドワーク
- 国連ユースボランティア
- 国際社会貢献活動
- 国連セミナー

派遣後応用科目

実践経験をベースに、国際公共分野で働くために必要な能力、キャリアパス、準備方法等を学ぶ

科目の例
- SDGs実践特別演習
- グローバルキャリア開発演習
- 国連・外交リサーチプロジェクト

※カリキュラムの内容は変更されることがあります

学部関連科目 自由選択科目 ＋ 32単位修得

Check!

国連・外交入門

国連・外交に特化したゼミ形式の導入科目。開発および平和・人権・人道に関する知識をディスカッションやプレゼンテーションを通じて学びます。「国連・外交プログラム」のコアとなる重要な科目です。

- 春学期:「国連・外交入門（開発）」
- 秋学期:「国連・外交入門（平和・人権・人道）」

国連・外交フィールドワーク

ネパール等開発途上国の国際機関や二国間援助機関、農村部などを訪問し、仮説検証型のフィールド・リサーチを行います。国際協力や開発援助の現場における各機関の役割や連携について理解を深める科目です。



国連セミナー

ニューヨークの国連本部を訪問し、現役国連職員や外交官等による講義・ディスカッションを通じて、国際社会の諸問題に対する国連や国連加盟国、NGOの取組みや役割について、また当該分野のキャリア構築について理解を深めます。



国際機関で働くために必要なことは?

- **学位**：大学院の修士課程を修了して、応募するポストと関連する修士号以上の学歴を有すること
- **語学力**：英語または仏語で職務遂行が可能であること
- **職務経験**：応募するポストと関連する一定期間の職務経験を有すること

履修学生の声

亀井 万里羽 法学部



関西学院大学ならではの国際関係のカリキュラムが凝縮された本プログラムを通じ、学部・学年を超えて志ある仲間に出会いました。高校時代に参加した関西学院明石塾から現在まで一貫して教授陣や事務室の温かなサポートを受けて学びを深めています。国連・外交の基礎を学ぶ「国連・外交入門」や国際機関等でのキャリア展望について考える「グローバルキャリア開発演習」を履修後には、国連ユースボランティア生として、国連ボランティア計画ラオス事務所にて広報担当補佐を経験しました。授業での学びを生かし、ボランティアリズムを通じた国連の平和と開発への貢献を現場で経験できた5カ月間は生涯の財産です。

履修学生の声

安達 侑希 総合政策学部



本プログラムの主要科目はプログラム生限定の少人数構成となっており、授業は履修生と国連機関等で実務経験を積まれた教員との距離が近く活発な議論が行われ、多くの学びを得ることができます。また、同期の仲間たちも積極的に国際ボランティアプログラム等に挑戦しており、国際協力の現場について議論を交わす機会が多く、これが更に視野を広げる刺激となりました。本プログラムでは、学部の講義では得られない貴重な経験を体系的に積むことができるだけでなく、同じ志を持つ仲間たちとの刺激的な学び合いを通じて、さらなる成長を目指すことができると感じました。

主な教員の紹介

元国連職員を中心とする充実した教員陣



西野 桂子
元国連児童基金(UNICEF)
人事部担当官
関西学院大学 特別任期制教授
国連・外交統括センター副長、国際機関人事センター長



村田 俊一
元アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP)事務局次長
元国連開発計画(UNDP)駐日代表
関西学院大学 特別任期制教授、国連・外交統括センター長



三輪 敦子
元国連女性開発基金(現UNWomen)
アジア太平洋地域バンコク事務所
プログラム担当官
関西学院大学 総合政策学部教授



清水 康子
元国連難民高等弁務官事務所
(UNHCR)インド・モルジブ事務所代表
関西学院大学 総合政策学部教授



道券 康充
元国連開発計画(UNDP)
アフガニスタン事務所
プログラムデザインチームリーダー
関西学院大学 総合政策学部教授



国際ボランティア担当教員
關谷 武司
関西学院大学 国際学部教授

MESSAGE

国際的に活躍するには、国際的に通用する知識とセンスが必要です。国連・外交プログラムを通じて、国際機関や外交分野で働くための基礎知識だけでなく、グローバルなキャリアに必要なトランスファラブル・スキルや考え方が自然に身に着くように私たちが指導していきます。プログラム生だけが履修できる授業やメンター制度などを最大限に活用して、学部に関わらず世界に通用する未来にチャレンジしてください。

4-1 学部・センター等で実施する留学プログラム

各学部・センターでも様々な留学プログラムを提供しています!各学部の学びの特色を活かしたプログラムとなっているため、専門的な内容も含んだ一味違う留学プログラムに興味がある学生には大変おすすめです。自分の学部の学びを深めたいという学生はもちろんのこと、中には全学部生を対象としたプログラムもありますので、他学部の学びに興味がある学生も、ぜひ積極的に参加を検討してください。

※最新の情報は、国際教育・協力センター（CIEC）のウェブサイト等から確認してください。

CIEC ウェブサイト

■ 全学部生対象プログラム

海外社会学実習（フィリピン） −NGOの実践の現場を体感し、貧困問題への理解を深める− 社会学部提供

フィリピンの貧困問題に取り組むNGO・International Care Ministries（ICM）を訪問し、現地で実際に活動に触れます。このプログラムでは、フィリピンの貧困問題への理解を深めるとともに、異文化の中で活動するNGOの実践の現場を体感します。また、世界的にも新しい支援モデルの特徴とその効果を学び、家庭訪問やボランティア活動を通じて、地域の方々と直接出会い、対話しながら、持続可能な貧困削減に向けた取り組みについて実践的な知見を得ます。



All photos copyright of and used with the permission of International Care Ministries

実施場所	フィリピン（セブ島など）
募集人数	14名（最小催行人数10名）
滞在形式	ホテル
参加資格	全学部生（1年生から参加可）
外国語要件	なし（英語での学習・交流に積極的に取り組む意欲があること）
選考方法	面接審査（応募者多数の場合、1次：書類審査、2次：面接審査）
参加費（概算）	約25万円　※燃油サーチャージ別、参加人数により変動の可能性あり
奨学金	井谷憲次奨学金（3万円）
留学期間	1月末〜2月の間に1週間程度
実施機関	International Care Ministries（ICM）
科目/単位	「海外社会学実習（フィールドワーク）」2単位
難易度	初級

海外生命環境学プログラムB ~Geoscience Program~ 生命環境学部提供

本プログラムは、台湾の国立台湾師範大学との協定に基づき実施します。現地講師による講義やフィールドワークで、台湾の地質や自然環境について学び、日本との比較や学生とのディスカッションを通じて、地学・環境化学についての知識だけでなく、国際的な教養を身に付ける事を目的としています。



実施場所	台湾
募集人数	10名
滞在形式	ホテル
参加資格	全学部生1〜3年生対象（理・工・生のみ1〜4年生対象） 上ケ原キャンパス・聖和キャンパス所属学生は事前に神戸三田キャンパス事務室までご相談ください
外国語要件	不問
選考方法	書類選考
参加費（概算）	約31万円
奨学金	短期留学奨学金（3万円）を申請可能
留学期間	3月の1週間
実施機関	国立台湾師範大学
科目/単位	「海外生命環境学プログラムB」2単位 成績登録されるのが帰国後になるため、進級または卒業の判定には使用することができません。
難易度	初中級者向け

美学芸術学資料研究7 / イタリア・スタディツアー 文学部提供

イタリア（ローマ・ナポリ）に1週間程度滞在して学びを深めます。授業は事前授業・イタリアでの学び・事後授業の構成です。参加者はイタリアの文化、芸術、音楽、演劇等について主体的に準備をした上で、現地での見学・調査を通じて理解を深めます。滞在中には美術館、博物館での見学、大学等の教育機関や文化施設で交流の機会を設けることを予定しています。



実施場所	イタリア
募集人数	25〜30名程度
滞在形式	現地ホテル
参加資格	●文学部開講の「美学芸術学資料研究7」（履修基準年度2年生）を履修可能な者 ※参加希望者は、人文学総合22の履修を強く推奨する ●2年生以上
外国語要件	不問
選考方法	書類選考
参加費（概算）	45万円程度
奨学金	井谷憲次奨学金（8万円）を申請可能
留学期間	2月中旬（約1週間）
科目/単位	「美学芸術学資料研究7」2単位
難易度	初中級者向け

人文学総合11 / オランダ・フランス・スタディツアー

文学部提供

ヨーロッパのオランダおよびフランスに1週間程度滞在して学びを深めます。授業は事前授業、オランダ・フランスでの研修・調査、事後授業から構成されています。参加者はヨーロッパの歴史、思想、芸術に関する事前調査を踏まえつつ、現地での研修を通して、それぞれのテーマについて理解を深めます。滞在中にはアムステルダムやパリの有名美術館等の訪問に加え、名門ライデン大学での教員・学生との交流も予定しています。



実施場所	オランダ、フランス
募集人数	20～25名程度
滞在形式	現地ホテル
参加資格	●文学部開講の「人文学総合11」(履修基準年度2年生)を履修可能な者 ※既に人文学総合11を履修し単位を取得している者は履修できません ●2年生以上
外国語要件	不問
選考方法	書類選考
参加費(概算)	45万円程度
奨学金	井谷憲次奨学金(8万円)を申請可能
留学期間	3月上旬(約1週間)
実施機関	ライデン大学・ソルボンヌ大学
科目/単位	「人文学総合11」2単位
難易度	初中級者向け

人間福祉グローバル演習E2

人間福祉学部提供

フィリピンの社会的課題解決に取り組む企業・団体への訪問や現地の人たちとの交流を行います。

プログラムの様子はコチラ!



実施場所	フィリピン
募集人数	約15名
滞在形式	ホテル
参加資格	①全学部生1～4年生(当年度3月卒業見込み者は要相談) ②説明会(2026年9月24日(木)開催)へ出席すること。 ③秋学期に実施する事前授業、海外演習(約1週間)、事後研修の全日程に参加できること。
外国語要件	不問。ただし、現地では英語での交流あり。
選考方法	書類選考
参加費(概算)	約30万円程度
奨学金	井谷憲次奨学金(3万円)
留学期間	2027/1/30(土)～2/6(土)の予定
実施機関	(例)ストリートチルドレンのシェルター、スラム地域で活動するNPO訪問、JICAマニラオフィス、JFC(日比国際児)支援団体マリガヤハウス、フェアトレード団体HABI、フィリピン大学、スラム地域の幼稚園・学童保育
科目/単位	「人間福祉グローバル演習E」2単位
難易度	初中級者向け

欧州のスポーツビジネス

経済学部提供

フランクフルトの日系企業(日本人)が受け入れ先であるため、海外が初めての者や語学に自信がない者でも「海外で就業体験ができる」プログラムです。語学学校(ドイツ語orビジネス英語)に通いながら、サッカーチームの試合帯同やチーム・会社運営、子どもたちへのサッカー指導などの業務を担います。ブンデスリーガの試合観戦、ベルギー・ブリュッセルへの出張、ショート・トリップもあります。



プログラムの様子はコチラ!

実施場所	ドイツ
募集人数	10名程度
滞在形式	アパートメントハウス
参加資格	参加にあたって学部は問いません。
外国語要件	なし
選考方法	1次:書類審査、2次:面接審査(オンラインで実施)
参加費(概算)	約50万円(航空運賃除く)
奨学金	井谷憲次奨学金(8万円)
留学期間	2027年2月～3月の間の3週間
実施機関	KM Sports GmbH(ドイツ・フランクフルトに拠点を置くスポーツ・観光事業を行う企業)
科目/単位	「海外学習活動(欧州のスポーツビジネス)」4単位
難易度	初級

欧州の観光ビジネス

経済学部提供

フランクフルトの日系企業(日本人)が受け入れ先であるため、海外が初めての者や語学に自信がない者でも「海外で就業体験ができる」プログラムです。地中海クルーズや北海クルーズをはじめとする観光商材のプロモーション企画、添乗によるガイディング、旅程管理、動画作成、HP更新などをおこない、実際に豪華クルーズ船に1週間乗船します。クルーズ船で周回する国々は、毎回、異なります。



プログラムの様子はコチラ!

実施場所	ドイツ
募集人数	10名程度
滞在形式	ホテル+クルーズ船内
参加資格	参加にあたって学部は問いません。
外国語要件	なし
選考方法	1次:書類審査、2次:面接審査(オンラインで実施)
参加費(概算)	約50万円(航空運賃除く)
奨学金	井谷憲次奨学金(8万円)
留学期間	2027年2月～3月の間の3週間
実施機関	KM Sports GmbH(ドイツ・フランクフルトに拠点を置くスポーツ・観光事業を行う企業)
科目/単位	「海外学習活動(欧州の観光ビジネス)」4単位
難易度	初級

建築学国際プログラム / アデレード大学

建築学部提供

オーストラリアの名門・アデレード大学で学ぶ、約2週間の建築×英語の実践プログラム。建築分野に特化した英語、都市デザインや都市政策について学びます。建築事務所の視察や植物園などの現地施設訪問に加え、街歩きを通して、美しいアデレードの都市空間を体感します。最終日には英語でのプレゼンテーションに挑戦。滞在はホームステイで、多文化環境の中、リアルな海外生活も経験できます。

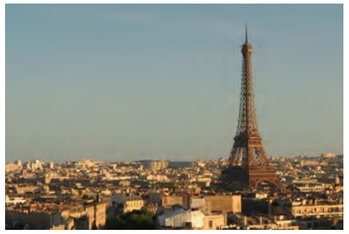


実施場所	オーストラリア
募集人数	15名
滞在形式	ホームステイ
参加資格	2年生以上の全学部生対象 上ケ原キャンパス・聖和キャンパス所属学生は事前に神戸三田キャンパス事務室までご相談ください
外国語要件	不問
選考方法	書類選考
参加費(概算)	約60万円
奨学金	短期留学奨学金(8万円)を申請可能
留学期間	2月～3月の間の約2週間
実施機関	アデレード大学(オーストラリア)
科目/単位	「建築学国際プログラム」2単位
難易度	初中級者向け

フランス語海外研修

言語教育研究センター提供

ブザンソン市にある本学との協定校のマリー&ルイ・パスツール大学で実施される、外国人のための外国語研修プログラムです。このプログラムの集中した授業により、フランス語運用能力の向上を図るとともに、学生寮での生活体験を通してフランス語の応用と実践を学習することが期待できます。



実施場所	フランス
募集人数	30名(最少催行人数13名)
滞在形式	現地大学が提供する寮
参加資格	全学部生(学年不問)　言語教育科目のフランス語を履修していることが望ましい
外国語要件	不問
選考方法	書類選考
参加費(概算)	約66万円
奨学金	短期留学奨学金(8万円)を申請可能
留学期間	8月の約4週間
実施機関	マリー&ルイ・パスツール大学応用言語センター(C.L.A.) (ブザンソン市／ブルゴーニュ=フランシュ=コンテ地域)
科目/単位	「外国大学科目」4単位(予定)
難易度	初級者・初中級者向け(レベル別クラス設置有)

ドイツ語海外研修

言語教育研究センター提供

ドイツ・ブレーメン州大学が実施する、4週間のドイツ語海外研修プログラムです。世界各国からの学生とともに集中的にドイツ語を学びます。また、現地での生活を通じて、ドイツ語だけでなく現地の文化に触れることができます。



実施場所	ドイツ
募集人数	15名程度(最少催行人数13名)
滞在形式	現地大学が提供するホームステイあるいは宿泊施設
参加資格	全学部生(学年不問)　言語教育科目のドイツ語を履修していることが望ましい
外国語要件	不問
選考方法	書類選考・面接選考
参加費(概算)	約53万円
奨学金	短期留学奨学金(8万円)を申請可能
留学期間	8月の約4週間
実施機関	ブレーメン州大学共通言語センター(ドイツ・ブレーメン市)
科目/単位	「外国大学科目」3単位(予定)
難易度	初級者・初中級者向け(レベル別クラス設置有)

ハワイ大学マノア校英語研修&フィールドワーク　総合政策学部提供

本学の海外協定校であるハワイ大学マノア校が主催する、5週間のフィールドワークおよび英語研修プログラムです。学生は島内各地を訪れ、ハワイの文化・歴史・生態系や自然保護活動について学びます。あわせて、集中的な語学研修を通じて英語力やリサーチ力、プレゼンテーション能力を養います。さらに、ホームステイ（1日2食付き）により現地の生活も体験できます。



実施場所　アメリカ
募集人数　12名
滞在形式　ホームステイ
参加資格　全学部生（学年不問）
　　上ケ原・聖和キャンパス所属学生は事前に神戸三田キャンパス事務室までご相談ください
外国語要件　申込の際英語のテストのスコアを提出
選考方法　書類選考
参加費（概算）　約95万円
奨学金　短期留学奨学金（8万円）を申請可能
　　要件を満たした学業成績優秀者はJASSO奨学金（24万円）の申請が可能
留学期間　2027/2/21（日）～3/27（土）
実施機関　ハワイ大学マノア校
科目／単位　「外国大学科目」2単位・「フィールドワーク（海外短期）」1単位
難易度　初中級者向け

EUフィールド・スタディー　国際学部提供

EUの航空宇宙産業の中心地であるフランス・トゥールーズを訪問し、大手航空機メーカーエアバス社の大型機最終組立ラインの見学や現地協定校の訪問などその取り組みについて学ぶ約1週間の短期プログラムです。



実施場所　ヨーロッパ（数カ国）
募集人数　20名程度
滞在形式　ホテル
参加資格　全学部生（学年不問）（大学院生は除く）
外国語要件　英語で行われる渡航プログラムの内容を理解できる英語能力を有していること
選考方法　書類選考および面接選考
参加費（概算）　約60万円
奨学金　井谷憲次奨学金（8万円）または国際学部留学奨励金（15万円・受給実績のない国際学部生のみ）
留学期間　2月～3月の約1週間
実施機関　トゥールーズビジネススクール
科目／単位　「EUフィールド・スタディー」2単位
難易度　初中級者向け

■ 所属学部生対象プログラム

提供学部	プログラム名	実施国・地域	協定大学名または実施機関名	開催時期・期間	参加費	募集定員	プログラム概要	単位	募集時期	難易度 初級者向け/初中級者向け/中上級者向け
法学部	中国人民大学法学院交換留学プログラム	中国	中国人民大学法学院	①9月～1月	留学する大学の授業料以外で留学に係る全ての費用	2名～4名	半年～1年間の交換留学プログラム、世界各国からの留学生と共に法制度や政治を学ぶ。	単位認定	春学期	
				②2月～6月					秋学期	
経済学部	海外学習活動（グローバルリーダーの養成）	タイ、ラオス、中国	チュラロンコーン大学、香港中文大学、中国人民大学	3～4月（約1週間）	約25万円	20名	各大学の学生達や工場団地で働くビジネスマンとの交流を通じて、海外での大学生活、社会経済活動の実態を見学し、グローバルに活躍するリーダーを育成するための特別派遣プログラム。	2	秋学期	グローバルリーダー所属学生のみ
商学部	ビジネスに活かせる海外短期研修プログラム6カ国交流（スペインまたはルーマニア）：International Sustainable Management and Reporting	スペインまたはルーマニア	サラゴサ大学またはアレクサンドル・イワン・クザ大学	2月（約2週間）	約45万円	約20名	日本を含む6カ国からの大学生が終結し、対面による企業訪問、講義、グループワークなどを行い、具体的な企業の問題解決策をビジネス・プランとして作成する。	4予定（単位認定）	秋学期	所属学部生のみ
人間福祉学部	人間福祉フィールドスタディ	ニュージーランド他	社会的企業、NPO、NGO、他	受入機関による	受入機関による	なし	海外における様々な社会的課題に取り組む機関および体育、スポーツに取り組む組織において実習を行い、各自が設定した学習目標を達成する。	6	秋学期	所属学部生のみ
	社会起業英語中期留学	カナダ	クイーンズ大学	5月～8月	約180万円	なし	12週間集中的にアカデミックな英語を学ぶプログラム。	16	秋学期	社会起業学科生のみ
	社会起業フィールドワーク（海外）	ルワンダ	ルワンダ・プロテスタント大学、他	2月（約2週間）	約60万円	約15名	開発途上国の社会問題や開発の多様な側面を理解すると同時に、フィールドワークの技法と実践を学ぶ。	2	秋学期	社会起業学科生のみ
国際学部	中国語中期留学	中国・蘇州	蘇州大学	2月～7月	約60万円	16名	中国・蘇州で学ぶ6ヵ月の中国語集中学習。	11	秋学期	所属学部生のみ

提供学部	プログラム名	実施国・地域	協定大学名または実施機関名	開催時期・期間	参加費	募集定員	プログラム概要	単位	募集時期	難易度 初級者向け/初中級者向け/中上級者向け
総合政策学部	海外インターンシップ	アジアの新興国等、南米、アフリカなど	ベンチャー企業やNPO・NGO他	8月～9月または2月～3月（約2～8週間）	約35万円～	なし	現地企業での就業体験、ベンチャー企業やNGO・NPO等が抱える様々な分野の課題への挑戦を通じて、実践的スキルとグローバルな視野を養うプログラム。	最大8	春・秋学期	所属学部生のみ
	海外フィールドワーク	フィリピンなどアジアの国、南米、アフリカ、ヨーロッパなど	総合政策学部が提携するプログラム提供企業	8月～9月または2月～3月（約2～8週間）	約35万円～	なし	東南アジアでのPBL研修（現地学生との交流やNGO・NPO等からの課題解決グループワークを含む）や、医療、教育等分野におけるプロジェクトに参画。現地でのフィールドワークを通して、多様な価値観に触れながら社会課題について学ぶ。	最大8	春・秋学期	所属学部生のみ
教育学部	US"アシスタントティーチャー"ボランティア	アメリカ・ロサンゼルス	トーランス周辺学校区の教育機関・カリフォルニア州立大学ロングビーチ校	2月～3月（約2週間）	約66万円	15～30名程度	教育支援のボランティアを通じて多様な教育のあり方を理解する。派遣先の学校での子供たちの勉強のお手伝い、資料配布やお掃除などの教員補助業務など。	2	秋学期	所属学部生のみ
	オーストラリア幼児教育プログラム	オーストラリア・シドニー	シドニー郊外幼稚園　他	2月～3月（約2週間）	約66万円	10～30名程度	多文化共生社会の幼児教育現場に参加し、個性を尊重する保育や人権教育を学ぶ。子供たちの学びサポート、クラスルーム準備、ランチタイムのお手伝いなど。	2	秋学期	所属学部生のみ
	セブ島職業体験ボランティア	フィリピン・セブ島	現地教育機関、NGO法人　他	2月～3月（約2週間）	約44万円	10～40名程度	現地語学学校で習熟度に合わせた英語学習で、英語力を伸ばすだけでなく、セブ島における教育について、実習を通して学ぶ。	2	秋学期	所属学部生のみ
生命環境学部	海外生命環境学プログラムB～Coral & Forest Study in Tropical Area～	インドネシア・バリ島	ウダヤナ大学	3月（約2週間）	約39万円	10名	南方海域の海浜生物の生態を通じて生物の多様性獲得と環境保全の重要性について学ぶ。また、ウダヤナ大学の学生との交流や、バリ島独特の自然環境・文化に触れることで、異文化の理解を深める。	2	秋学期	理学部、工学部、生命環境学部生のみ
社会学部	海外社会学実習（フィールドワーク）タイ	タイ（バンコク、カンチャナブリ）	Friends of Children's Village Thailand	2027/1/31（日）～2/7（日）	約31万円（燃油等諸税・為替・人数等により変動の可能性あり）	10名程度	カンチャナブリで、孤児や被虐待児150人ほどが生活する居住型オルタナティブスクール Moo Baan Dek（子どもの村）を訪問し、運営主体である Friends of Children's Village Thailand の協力を得て、ボランティア活動・文化交流・調査を行う。また、バンコク近郊にある関連施設の乳児院を訪問し、子どもたちとの交流を通じて、タイの貧困や社会問題について学ぶ。さらに、欧米では中産階級向けの教育機関とされてきたオルタナティブスクールの新たな可能性についても理解を深める。	2	秋学期	所属学部生のみ

■ 融合（フュージョン）プログラム　全学部生対象プログラム

提供学部	プログラム名	実施国・地域	協定大学名または実施機関名	開催時期・期間	参加費	募集定員	プログラム概要	単位	募集時期
神学部	Theology in Dialogue	上ケ原及び関西圏フィールドワークあり	日本キリスト教協議会（NCC）宗教研究所	秋学期	約2万円	約5名	ドイツ・スイスの学生と共にフィールドワーク等を通じて「宗教間対話」について学ぶ（対面実施の可能性あり）。	2	秋学期
商学部	オンライン・インターナショナル・ラーニングA（国際ビジネス002）【Future of Work】	上ケ原	ハーグ応用科学大学	秋学期	なし	40名	受講生がビジネスや仕事の未来について考察するためのフレームワークなどを示すこと、またそれらを用いてオランダのThe Hague University of Applied Sciences（THUAS）の学生と最終成果物を作成し、テーマについての理解を深める。	2	秋学期
	オンライン・インターナショナル・ラーニングA（国際ビジネス003）【Crisis and Resilience】	上ケ原	ハーグ応用科学大学	秋学期	なし	40名	受講生が、危機に直面した組織と個人がいかに困難を乗り越えるかについて理解できるようになることを目的とする。オランダのThe Hague University of Applied Sciences（THUAS）の学生と最終成果物を作成し、テーマについての理解を深めてもらう。	2	秋学期
人間福祉学部	グローバル化社会と福祉	上ケ原	ー	秋学期	なし	なし	This course focuses on cross-national comparisons of social welfare policies and social development theories and policies.	2	秋学期
国際学部	Japanese Corporate Governance	上ケ原	ダッカ大学	秋学期前半	なし	なし	バングラデシュの大学院生とのセッションなどを通じて、日本とバングラデシュのコーポレートガバナンスについて、ケーススタディを通じて取締役会の構成、所有構造、監査構造などを学ぶ。	2	秋学期
生命環境学部	海外生命環境学プログラムB～水と環境を考える～	三田	国立台湾師範大学	秋学期	なし	30名	「水と環境」をテーマに、国立台湾師範大学の学生とオンラインでディスカッションを行い、共同でプロジェクトに取り組む。英語による発表練習や海外の学生との交流などもあり。	2	秋学期

4-2 語学力アップ! 英語無料講座

詳細はWebをチェック!

①はじめてのIELTS

この講座では、新入生やIELTSを受験したことがない方を対象に、テスト構成の説明に加え、スコアアップのためのより効果的な学習方法について、練習問題を使いながら解説します。4月は対面、5月は同内容をオンラインで実施します。

- 講座時間：9時15分から12時15分まで(3時間)
- 募集人数：30名程度

※日程、時間、実施形態などが変更される場合がありますので、国際教育・協力センター(CIEC)のウェブサイトやkwic等で確認するようにしてください。
※受講決定者にのみkwicその他のお知らせで発表します。

	4月	5月(オンライン)
募集期間	4月1日(水)～4月7日(火)	4月22日(水)～5月5日(火)
受講者発表	4月9日(木)	5月14日(木)
講座日	4月18日(土)	5月23日(土)

②IELTS Speaking & Writing 対策講座

この講座は、とくに独学が難しいとされるSpeakingとWritingの対策クラスです。練習問題を使いながら出題傾向と解き方のポイントを解説します。

- 講座時間：9時15分から12時15分まで(3時間)
- 募集人数：30名程度

※日程、時間、実施形態などが変更される場合がありますので、国際教育・協力センター(CIEC)のウェブサイトやkwic等で確認するようにしてください。
※受講決定者にのみkwicその他のお知らせで発表します。

	6月
募集期間	5月20日(水)～5月27日(水)
受講者発表	5月28日(木)
講座日	6月6日(土)



③IELTS 2日間集中講座

この講座では、Listening、Reading、Writing、Speaking各セクションの問題演習とその解説を行い、2日間で4技能を伸ばせるように取り組みます。講座後には添削付きの課題もあり大変人気の講座です。
交換留学や長期留学等の留学プログラムへの出願を目指している方はもちろん、夏休み・春休みに改めて英語学習に向きおうと考えている方は、是非活用してください。

■ 8月(基礎クラス6.0目標)
- 講座時間：9時30分～ 16時30分(6時間)
- 募集人数：30名程度

■ 9月(基礎プラスクラス6.0 ～ 6.5目標)
- 講座時間：9時30分～ 16時30分(6時間)
- 募集人数：30名程度

■ 2月(基礎クラス6.0目標)
- 講座時間：9時30分～ 16時30分(6時間)
- 募集人数：30名程度

■ 3月(基礎プラスクラス6.0 ～ 6.5目標)
- 講座時間：9時30分～ 16時30分(6時間)
- 募集人数：30名程度

	8月	9月	2月	3月
募集期間	7月1日(水)～7月(火)	7月28(火)～8月4日(火)	1月19日(火)～1月26日(火)	2月9日(火)～16日(火)
受講者発表	7月9日(木)	8月6日(木)	1月28日(木)	2月18日(木)
講座日	8月5日(水)・6日(木)	9月8日(火)・9日(水)	2月9日(火)・10日(水)	3月10日(水)・11日(木)

※日程、時間、実施形態などが変更される場合がありますので、国際教育・協力センター(CIEC)のウェブサイトやkwic等で確認するようにしてください。
※受講決定者にのみkwicその他のお知らせで発表します。

受講者体験談

IELTS 2日間集中講座　総合政策学部 2年(受講時)　江上 大知さん

IELTS2日間集中講座の授業は、IELTSの問題構成について説明して頂ける他、出題される問題がどのようなものか、それらの問題の解法について講師の方がサンプル問題を使い、説明してくださり、その後演習、解説という流れで進められます。IELTSはWritingの問題以外は多肢選択式の試験なので、サンプル問題を解いた後の解説の際に、なぜその答えが成立するのか、他の選択肢のどこが間違いなのかについても説明してくださることに加え、事後課題として出されるライティングの問題の添削もしていただけます。私は、交換留学プログラムに出願する際に一定以上のIELTSのスコアが必要だったため、受講しました。その結果、IELTSについて全く無知の状態であったにも関わらずIELTSの対策方法が分かり、その後の受験で基準スコアに到達し、無事交換留学に行くことができました。

どうやったらTOEFL®やIELTSの点数を伸ばせますか？



個人それぞれに適した方法がありますが、外国語能力試験のスコアを伸ばすためには、テストの構成についてよく理解し、問題集を解く、単語を覚えるなどの対策が必要です。
その他の英語スキルについても、毎日英語に触れる、言語教育研究センターが実施する英語プログラムを履修するなど、個々の努力が欠かせません。
学内には大学図書館のほか、言語教育研究センター視聴覚室(西宮上ケ原キャンパスG号館1階)で、外国語能力試験対策用の問題集の貸出を行っています(無料)。
国際教育・協力センター(CIEC)では、TOEFL® iBT/IELTSの無料対策講座を提供しています。プロの講師から効率的なスコアアップのコツを学べる絶好の機会です。
エクステンションプログラム(教務機構提供)では、IELTS、TOEFL ITP®、TOEFL iBT®、それぞれのテスト対策講座を開講しています。
学内の様々なプログラムや施設、講座を積極的に活用し、英語力アップをめざしましょう!

4-3 返済不要の奨学金がこんなに充実! 奨学金・奨励金(支給型)

詳細はWebをチェック!

プログラムへの参加決定後、以下の奨学金に申請することができます。詳細は、派遣留学決定後または派遣留学推薦決定後に案内します。

【学内奨学金】対象:全学部、取扱窓口:国際教育・協力センター(CIEC)、またはプログラム提供学部・センター

〈短期留学・融合プログラム〉

プログラム名	奨学金	形態
海外異文化体験セミナー、外国語研修、CCC(カナダ開催時)、海外フィールドワーク、インドネシア交流セミナー(インドネシア開催時) アジア多文化共修セミナー(台湾またはマレーシア開催時) 学部・センター主催短期プログラム	短期留学奨学金(アジア3万円、アジア以外8万円)	参加者全員
短期留学奨学金対象外プログラムのうち特別に指定されたプログラム	井谷憲次奨学金(アジア3万円、アジア以外8万円)	
融合プログラムのうち特別に指定されたプログラム	井谷憲次奨学金 2万円	

〈中長期留学〉

プログラム名		奨学金・中長期留学チャレンジ奨励金	形態
交換留学(1年)	〈アジア〉	45万円(内訳:交換留学奨学金35万円、中長期留学チャレンジ奨励金10万円)	参加者全員
	〈アジア以外〉	55万円(内訳:交換留学奨学金35万円、中長期留学チャレンジ奨励金20万円)	
	〈アジア〉	110万円(内訳:井谷憲次奨学金　または　笹森四郎奨学金　100万円、中長期留学チャレンジ奨励金10万円)	選考型
	〈アジア以外〉	120万円(内訳:井谷憲次奨学金　または　笹森四郎奨学金　100万円、中長期留学チャレンジ奨励金20万円)	
交換留学(1学期)	〈アジア〉	22.5万円(内訳:交換留学奨学金17.5万円、中長期留学チャレンジ奨励金5万円)	参加者全員
	〈アジア以外〉	27.5万円(内訳:交換留学奨学金17.5万円、中長期留学チャレンジ奨励金10万円)	
	〈アジア〉	55万円(内訳:井谷憲次奨学金　または　笹森四郎奨学金　50万円、中長期留学チャレンジ奨励金5万円)	選考型
	〈アジア以外〉	60万円(内訳:井谷憲次奨学金　または　笹森四郎奨学金　50万円、中長期留学チャレンジ奨励金10万円)	
長期留学:学部科目履修型(1年)		75万円(内訳:長期留学奨学金50万円、中長期留学チャレンジ奨励金25万円)	参加者全員
長期留学:学部科目履修型(1学期)		37.5万円(内訳:長期留学奨学金25万円、中長期留学チャレンジ奨励金12.5万円)	
ダブルディグリー留学		月額10万円、ただし留学先大学と本学の学費が相殺される場合月額3万円(大学院は月額7万円)、中長期留学チャレンジ奨励金15万円(※本奨励金はプログラム開始時に1回のみ交付)	参加者全員
中期留学、中期グローバル・キャリアPBL		35万円(内訳:中期留学奨学金25万円、中長期留学チャレンジ奨励金10万円)	参加者全員
国際社会貢献活動		35万円(内訳:国際社会貢献活動奨学金30万円、中長期留学チャレンジ奨励金5万円)	
国連ユースボランティア		国連ボランティア計画(UNV)の規定により渡航費・滞在費等の手当が支給される	
認定留学(1年)		アジア:10万円、アジア以外:20万円(いずれも、中長期留学チャレンジ奨励金)	
認定留学(1学期)		アジア:5万円、アジア以外:10万円(いずれも、中長期留学チャレンジ奨励金)	

※中長期留学チャレンジ奨励金は、2026年度以降プログラムの参加者が給付対象となり、所定の手続きを経て支給されます。複数の中長期留学プログラムに参加する場合、各プログラムごとに本奨励金を受給することができます。P.10中長期留学チャレンジ奨励金も併せてご参照ください。
※短期留学奨学金、交換留学奨学金、中期留学奨学金、井谷憲次奨学金(交換留学除く)について、金額改定を行います。上記改定後の該当奨学金額は、短期留学においては2026年度参加者から対象、交換留学および中期留学については2027年度参加者から対象となります。
※中長期留学チャレンジ奨励金は、各種学内留学奨学金との併給が可能です(外部奨学金との併給については、当該奨学金規定による)。
※短期留学奨学金、中期留学奨学金は、井谷憲次奨学金として支給される場合があります。

【学内奨学金】対象:所属学部生、取扱窓口:奨学金を所轄する各学部事務室

対象学部	プログラム名	奨学金	取扱窓口
神学部生対象	Theology in Dialogue、Mission in Dialogue A・B	神学部国際交流奨学金(上限5万円)	神学部事務室
社会学部生対象	交換留学	社会学部杉山貞夫交換留学奨学金(2学期間:40万円、1学期間:20万円)	社会学部事務室
人間福祉学部社会起業学科生対象	社会起業英語中期留学	人間福祉学部海外語学研修奨学金(20万円)	人間福祉学部事務室

対象学部	プログラム名	国際学部留学奨励金(全員支給型)	国際学部留学奨励金(全員支給型・オンライン)	留学奨学金(選考型)	取扱窓口
国際学部生対象	外国語研修、インドネシア交流セミナー(インドネシア開催時) アジア多文化共修セミナー(台湾またはマレーシア開催時) CCC(カナダ開催)、短期海外インターンシップ、海外フィールドワーク グローバルPBL(海外開催時のみ、かつ国際学部で承認されたプログラムに限る) 海外研修、国連セミナー、国連・外交フィールドワーク EUフィールド・スタディ、Introduction to Business in Asia: Innovation, Leadership and Strategy, Global Seminar in South Asia A ハワイ大学マノア校英語研修&フィールドワーク	15万円	10万円		国際学部事務室
	中期留学(英語・フランス語・ドイツ語・スペイン語) 中期グローバル・キャリアPBL 国際学部生対象中期留学(中国語・朝鮮語) 国際社会貢献活動	40万円	—		
	国際学部生対象中期留学プラス(現在休止中)	60万円	—		
	交換留学、認定留学、長期留学(学部科目履修型)(2学期間) ※	60万円	10万円	40万円	
	交換留学、認定留学、長期留学(学部科目履修型)(1学期間) ※	30万円	5万円	20万円	

※中長期留学チャレンジ奨励金の対象プログラム参加時には、上記奨学金との併給が可能です。P.10中長期留学チャレンジ奨励金も併せてご参照ください。
※オンラインプログラム参加時の奨励金の取り扱いについては、国際学部発行の留学の手引きを参照してください。

【学外奨学金(選考型)】対象:全学部、取扱窓口:国際教育・協力センター(CIEC)

交換留学を対象に以下の奨学金があります(一部抜粋)。詳細はCIECウェブサイト、kwicキャビネットを参照してください。

- 日本学生支援機構海外留学支援制度(協定派遣)奨学金(月額8～12万円(派遣国・地域による)、上限12ヵ月)
- 寺浦さよ子記念奨学金(月額10万円、支度一時金60万円×留学月数/12)
- フクシマグローバル人材支援奨学金(月額15万円、渡航準備金20万円 ※秋学期派遣のみ)
- 業務スーパージャパンドリーム財団派遣留学奨学金(月額15万円または20万円、留学一時金15万円または25万円 ※派遣先国・地域による ※秋学期派遣のみ)
- 阪和育英会(月額7万円、留学渡航準備金35万円 ※秋学期派遣のみ)
- 公益財団法人大林財団海外留学奨学金(月額20万円 ※秋学期派遣のみ)
- 一般財団法人村井シークス財団奨学金(月額10万円 ※秋学期派遣のみ)